

八潮市地域公共交通計画



—まちのコミュニティをつなぐ公共交通網の未来—



令和3年10月



八潮市

はじめに

本市の地域公共交通は、平成17年8月に開業したつくばエクスプレス八潮駅を中心に、近隣市区へのネットワークが形成され、市内の一部地域においても、八潮市コミュニティバスを運行し、運送サービスを提供しております。



国では、人口減少の本格化や運転手不足の深刻化等で、地域公共交通の経営環境が悪化し、路線廃止等が相次いでいることから、令和2年11月27日に改正した「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」を施行し、地方公共団体による「地域公共交通計画」の策定を努力義務化し、地域における輸送資源を総動員することで持続可能な地域旅客運送サービスの提供の確保を目指しております。

そのため、本市では、交通事業者や大学教授、国、県、市民などで構成する「八潮市地域公共交通協議会」を設置し、「八潮市地域公共交通計画」の策定に向けて協議を重ねてまいりました。

本計画は、令和元年度に実施した市民ニーズ調査や利用実態調査などで抽出した公共交通の課題・問題点を整理し、更に新型コロナウイルス感染症の影響などによる公共交通を取り巻く社会情勢の変化にも対応しつつ、世界的な取組である「カーボンニュートラル」や「SDGs」にも貢献できる、本市にとって望ましい公共交通網の姿を明らかにするマスタープランとなっております。

今後は、「持続可能なまちづくり」、そして「住みやすさナンバー1のまち八潮」を目指して、交通事業者や関係団体、市民の皆様と連携し、本計画の基本理念である「まちのコミュニティをつなぐ利用しやすい公共交通網の構築」の実現に向け、各事業を推進してまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたり、貴重なご意見、ご提案をいただきました多くの市民の皆様や八潮市地域公共交通協議会委員の皆様にご心から厚くお礼申し上げます。

令和3年10月

八潮市長 大山 忍

【 目 次 】

頁

第1編

序 計画策定の目的と位置付け	1
1 公共交通の問題点・課題の整理	3
2 目指すべき公共交通の方向性	8
3 計画の目標及び実施事業	12
3-1 計画の目標	12
3-2 取り組むべき実施事業	13
3-3 計画目標の達成状況を評価するための評価指標	23
4 計画の達成状況の評価	24

第2編

5 八潮市コミュニティバス再編計画	26
5-1 見直しの基本的な考え方	26
5-2 サービス水準の検討	26
5-3 運行ルート・バス停の検討	28
5-4 運行評価（継続・見直し（再編・廃止））の手順	31

参考資料編

6 八潮市の地域特性と公共交通の現状把握	32
6-1 上位・関連計画の整理	32
6-2 八潮市の現況把握	36
6-3 公共交通に関する現状	43
7 ニーズ調査	57
7-1 市民アンケート調査	57
7-2 利用実態調査	64
7-3 運行事業者・関係団体アンケート調査	67
7-4 民生委員・児童委員アンケート調査	70
7-5 地域会議の開催	71
8 八潮市コミュニティバス利用実態・ニーズ調査	72
8-1 GPS乗降カウンター調査	72
8-2 八潮市コミュニティバスOD調査	79
8-3 高校生アンケート調査	84
9 実施事業に関する参考資料及び参考事例	86

付録

付録1 八潮市地域公共交通協議会	91
付録2 用語集	93

序 計画策定の目的と位置付け

(1) 計画策定の目的

八潮市は、「大都市地域における宅地開発及び鉄道整備の一体的推進に関する特別措置法」により、土地区画整理事業と併せて鉄道用地を確保する手法で、平成 17 年に市内で初めての鉄道駅であるつくばエクスプレス八潮駅が開業した。開業を契機に、駅を中心とした開発が進み、集合住宅や戸建て住宅、商業施設等が建築され、子育て世代や単身者を中心に転入が多く人口が増加している。一方で、北部地域は市街化調整区域が多く、宅地や商業施設等の開発が制限されていることから人口が減少しており、商業・サービス業などの立地状況にも差異が生じている。

高齢化率は 22.7%（令和 3 年 4 月 1 日現在）と埼玉県平均の 26.2%（令和 2 年 1 月 1 日時点）より低くなっているが、高齢者数は確実に増加しており、一部地域では高齢化率が高くなっている。

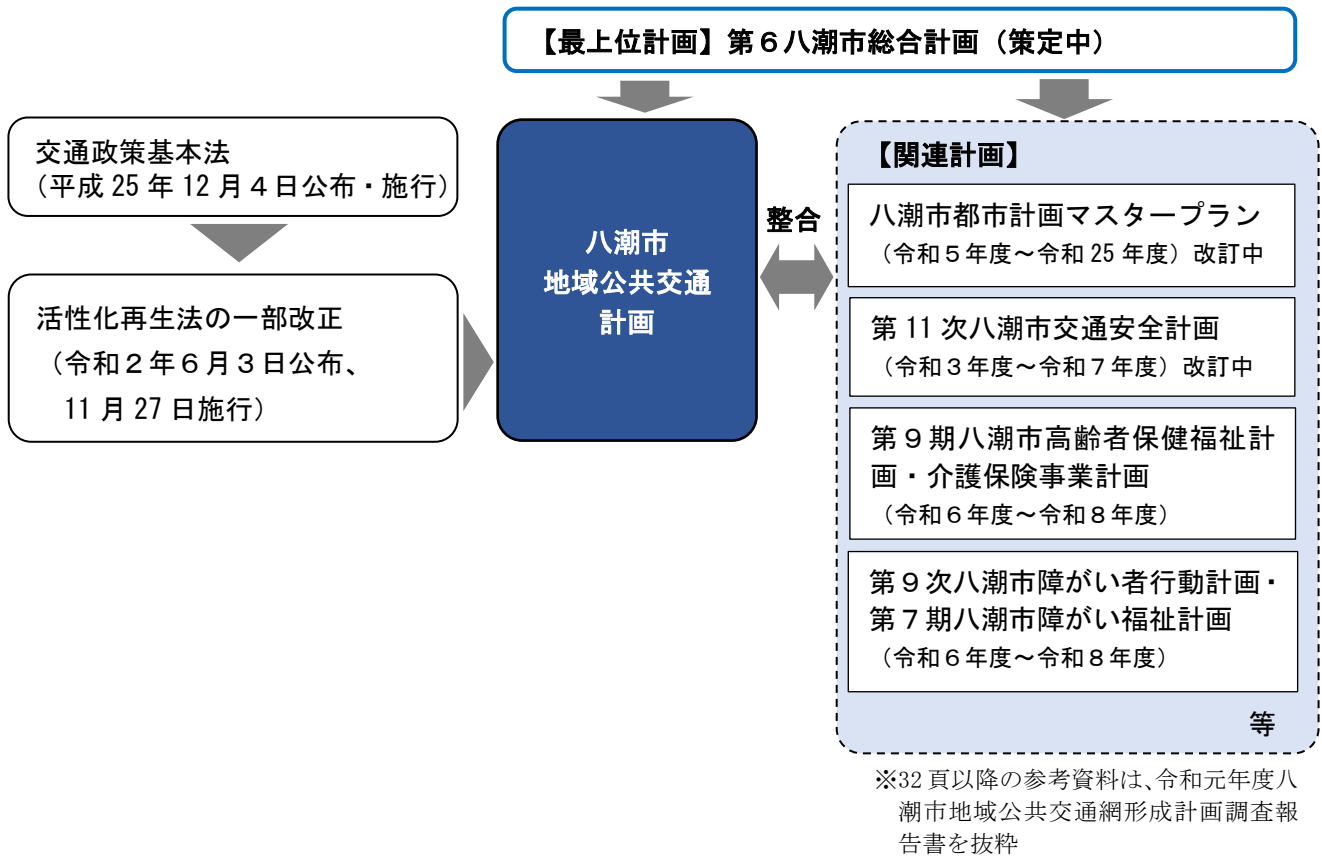
市内の公共交通は、八潮駅と草加駅などの近隣市区の鉄道駅を中心とした交通ネットワークが形成されているものの、河川に囲まれた地形であることや、広域幹線道路が横断している等の影響により、一部地域において交通空白もしくは交通不便な状況が生じている。

こうした中、全国的にも人口減少の本格化、運転手不足の深刻化、公的負担額の増加等により、公共交通の維持・確保が厳しさを増す一方で、高齢者の運転免許の返納増加などにより地域の移動手段の確保がますます重要となっていることから、国では、令和 2 年 11 月に「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（以下、「活性化再生法」という。）」の一部を改正し、交通事業者、市民（地域）などの多様な関係者が連携し、輸送資源の総動員により、地域旅客運送サービスの持続可能な提供の確保を目指すとしている。

本計画は、活性化再生法改正の趣旨等を踏まえつつ、新型コロナウイルス感染症の拡大などによる公共交通を取り巻く社会情勢の変化や令和 3 年 4 月の「ゼロカーボンシティ*」宣言による持続可能な脱炭素社会にも対応し、更には、世界的な取組である SDGs*（持続可能な開発目標）達成に貢献できる、利用しやすい公共交通網を構築するために、「八潮市地域公共交通協議会」での協議を経て、目指すべき公共交通の方向性や計画の目標等を定め、八潮市にとって望ましい公共交通網の姿を明らかにするマスタープランとして策定するものである。

(2) 計画の位置付け

本計画は、「活性化再生法」第5条に規定する法定計画として、最上位計画である「第5次八潮市総合計画」に即し、「八潮市都市計画マスタープラン」等との整合を図り、総合的なまちづくりの一環として公共交通に係る事項を位置付ける計画とする。



(3) 計画区域

本計画の区域は、八潮市全域とする。ただし、日常的な交通行動は市域を跨っているため、周辺市区も考慮する。

(4) 計画期間

本計画の計画期間は、「第5次八潮市総合計画」や「八潮市都市計画マスタープラン」等の改訂に伴い、各計画との整合を図るため、令和3年度から令和10年度までの8年間とする。

なお、計画の期間内においても、今後の社会情勢等の変化や関連計画の見直し等に適応するよう必要に応じて計画の見直し・修正を行う。

■本計画と主な関連計画の計画期間

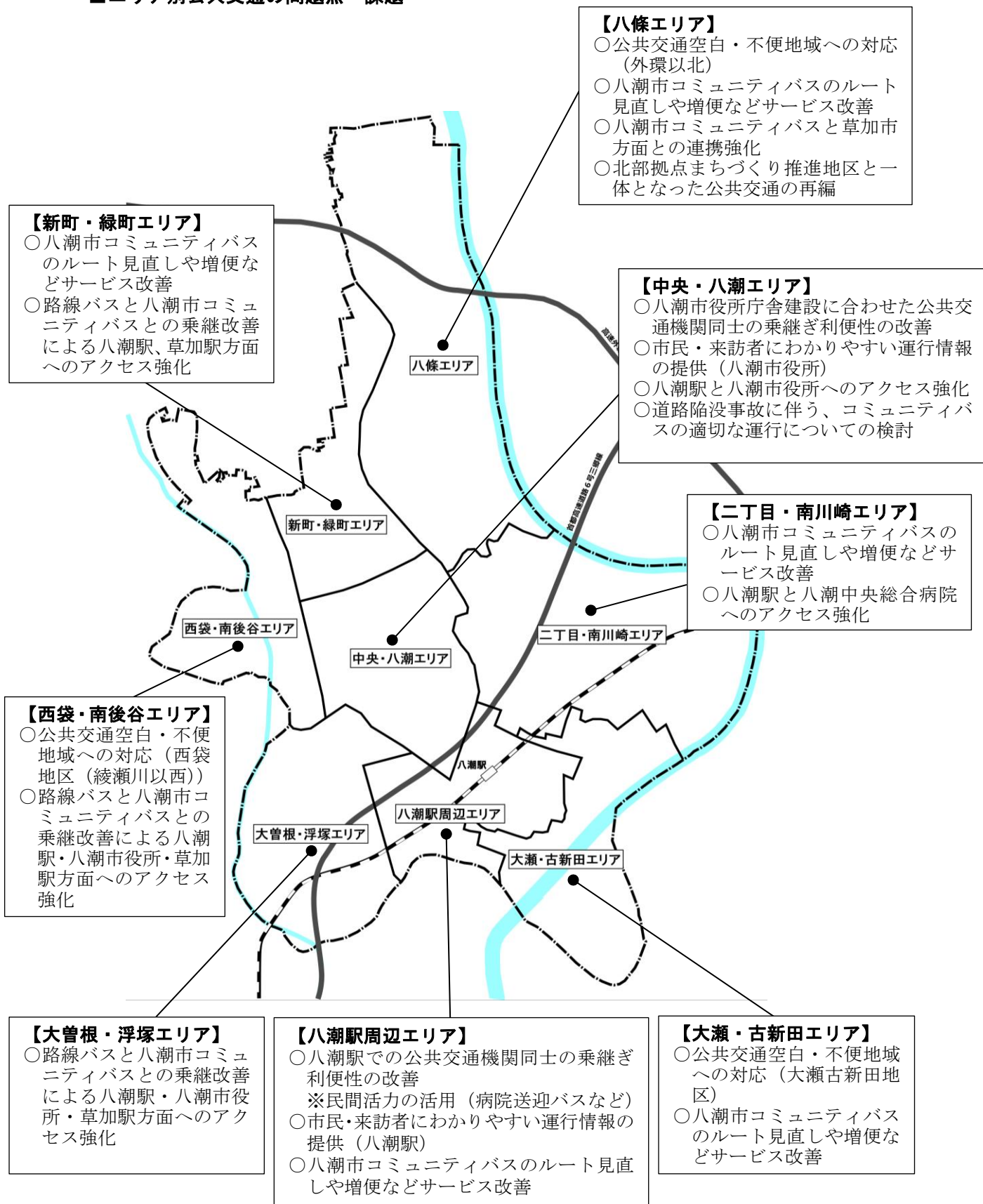
(年度)

年度	～R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11～	
八潮市総合計画	第5次計画 (H28～R7)					第6次計画 (R8～)				
八潮市都市計画 マスタープラン	H21～R4		R5～R25							
八潮市地域公共交通 計画	計画策定	R3～R10 (8年間)							第2次計画	

1 公共交通の問題点・課題の整理

八潮市の地域特性や公共交通の現状把握、公共交通利用者等ニーズ調査結果などを踏まえ、公共交通の問題点及び課題を整理する。

■エリア別公共交通の問題点・課題



【八潮市の地域特性及び公共交通の現状】

《地域特性》

- 令和2年4月1日現在、総人口は92,262人で、平成17年のつくばエクスプレスの開通以降増加しており、「第5次八潮市総合計画（平成28年3月）」で令和7年の将来目標人口は10万人と設定。
- 高齢化率は平成27年が22.1%に対し、令和3年が22.7%とゆるやかに上昇しており、全国（28.4%）、埼玉県（26.7%）（令和元年10月1日時点、令和2年度高齢者白書）と比べ低いものの、高齢化している。
- 八潮駅周辺や市の中央部の市役所周辺などに商業施設や公共施設などが集積しているものの、市全域に分散しており、これら施設へ公共交通で移動する際、乗継ぎが発生。
- 土地区画整理事業（5地区）や、八潮市役所新庁舎建設、北部拠点まちづくり推進地区など新たなまちづくりが推進。

《公共交通の現状》

- 鉄道（八潮駅）の利用者数は増加傾向で、つくばエクスプレスの混雑緩和対策として、朝ラッシュ時の増便（令和2年春）や8両編成化事業（2030年代前半）を今後実施予定。
- 路線バスと八潮市コミュニティバスの利用者数は横ばい傾向。
- 八潮市コミュニティバスの赤字額は約2,400万円で、直近5年間の収支率は5割前後で横ばい状態。
- 北部地域（八條）や西袋、古新田など一部地域で公共交通空白・不便地域が複数箇所存在。

【ニーズ調査】

《市民アンケート調査》

- 「買い物」や「遊び・趣味・習い事など」、「通院」目的で外出する際、3人に1人（35.3%）が困っており、八條エリアや新町・緑町エリア、二丁目・南川崎エリアで困り具合が高い。
- 運行サービスに対する満足度は、鉄道が「乗継ぎのしやすさ」、路線バスが「運行本数」と「運行時間帯」で不満度が高い。
- 公共交通機関が運行された場合、「越谷レイクタウン《越谷市》」や「ららぽーと新三郷《三郷市》」、「ピアラシティ《三郷市》」、「草加駅方面《草加市》」など市外への移動ニーズが高い。その利用目的は買い物、金融機関利用及び公共施設利用で、利用頻度は「月に2～3日程度」、「年に数日程度」と低頻度が多い。
- 公共交通の利用促進は、「公共交通マップの作成・配布」（42.9%）や「自動車運転免許証返納者への公共交通割引制度などの導入」（42.4%）に対する回答が多い。

《公共交通利用者実態調査》

- 路線バスは「運行ルート（行き先）」で満足率が高いものの、「運行本数」、「運行時間帯」で不満率が高い。コミュニティバスは不満率より満足率の方が高い。
- 路線バス、八潮市コミュニティバスともに「運行本数」や「運行時間帯」に対する改善要望が多く、路線バス利用者からは「バス停の待合環境（ベンチ、屋根）の設置」や、「路線バス同士の乗継ぎ時間の短縮や運賃割引の導入」に対する回答も多い。

《主要施設利用者アンケート調査（医療施設：3箇所、大規模店舗：2箇所、公共施設：4箇所）》

- 施設への交通手段は、「車（自分で運転）」や「自転車」が多いが、医療施設で「車（家族等の送迎・同乗）」割合が約2割と多い。
- 施設への不便度は、八潮中央総合病院、八潮市役所・メセナ、すえひろ荘で3割を超えて高く、運転免許証が有る方より無い方の方が高い。
- 公共交通の改善点は、「特になし」と回答した方の割合は商業施設2店舗で多いものの、すえひろ荘、八潮市役所・メセナ、八潮中央総合病院では少なく、改善に対する意見が多い。

《交通事業者・関係団体アンケート調査》

- 鉄道事業者で、利用者等から運行本数の増便や混雑緩和、ラッシュ時間帯の遅延等の意見・要望が多い。混雑緩和対策として企業の時差通勤*の推進を期待。
- 路線バスやタクシーで乗務員不足が課題。乗務員不足の改善に向け、合同企業説明会の開催や行政からの紹介等を期待されている。通勤・通学時間帯の橋梁部等で渋滞により遅延発生。
- 関係団体より、コミュニティバスのルート拡大や増便、運行経路の分かりにくさの改善、市役所やレイクタウン方面へのアクセス改善、乗継ぎの改善などの意見が寄せられている。

《民生委員・児童委員アンケート調査》

- 運行本数の増便や、市役所や八潮中央総合病院、草加駅等へのアクセス改善、コミュニティバスの見直し（ダイヤ、ルートなど）、高齢者運賃割引などの意見が多い。
- 八條、鶴ヶ曾根、古新田、南川崎、大曾根など市境部分や市の中央などで困っている方・不便を感じている方が多い。

《地域会議（八條地区、潮止地区、八幡地区、市内全域）》

- つくばエクスプレスに対する朝の混雑対策や快速運行、料金の低廉化などや、地下鉄8号線の早期実現といった意見が多い。
- 路線バスに対してはルート再編（草加駅、越谷レイクタウン等）や増便など、コミュニティバスに対してはルートの再検討（駅へ最短ルート等）や増便（午前中）、ルートの分かりにくさなどが、タクシーに対しては高齢者割引運賃、タクシーチケットや乗合タクシー*の導入といった意見が多い。

新型コロナウイルス感染症の拡大

公共交通の問題点及び課題

① 高齢者・障がいのある人など交通弱者への対応

② 公共交通機関同士の乗継ぎ利便性の改善

③ 広域アクセスに留意し、需要の変化に対応した移動手手段の確保

④ 八潮駅と主要施設へのアクセス強化

⑤ 公共交通空白・不便地域への対応

⑥ 八潮市コミュニティバスの見直し・改善

⑦ 市民・来訪者に分かりやすい運行情報の提供や利用促進に向けた市民意識の醸成

⑧ 多様な主体の連携による持続可能性の確保

⑨ 新型コロナウイルス感染症への対応

①高齢者・障がいのある人など交通弱者への対応【市全域】

八潮市は、鉄道駅の開業以降、総人口が年々増加しており、今後もその傾向は継続する見込みであるが、高齢化率は、令和3年4月1日時点で20,958人、総人口の22.7%となっており、平成27年4月の18,949人と比べて、2,009人増加している。

障がいのある人（手帳所持者）は、令和3年4月1日時点で3,761人、総人口の約4.0%となっており、平成27年の3,200人と比べて、561人増加している。

市内の人身事故件数は減少傾向（平成26年：528件→令和2年：239件）にあり、県内で発生している65歳以上の高齢者ドライバーによる交通事故も減少傾向にあるものの全事故に占める割合は増加（平成26年：件数5,273件、構成比17.1%→令和2年：3,686件、構成比：21.5%）しており、交通事故防止が重要課題となっている。また、市民アンケート調査では、公共交通の利用促進策として「自動車運転免許証返納者への公共交通割引制度などの導入」が42.4%と二番目に高くなっている。

地域公共交通は、通勤、通学、通院、買い物及び公共施設利用などといった日常生活及び社会生活に不可欠な「地域の足」としての役割だけでなく、高齢者や障がいのある人などの交通弱者に対する交通事故防止及び外出機会の増加などの役割を担う必要がある。また、円滑に移動できるようにバリアフリー*化の推進など公共交通の環境整備が必要である。

②公共交通機関同士の乗継ぎ利便性の改善【八潮駅周辺エリア、中央・八潮エリア】

八潮市内の公共交通機関は鉄道、路線バス、八潮市コミュニティバス、タクシー及び高速バスのほか、民間企業送迎バス、社会福祉協議会で実施中の送迎サービスなど多様な公共交通システムが運行されている。しかしながら、「八潮駅」に一極集中した公共交通ネットワークのため、市民の主な目的地である商業施設や医療機関などへ移動する場合、地域により八潮駅で乗換えが必要となっている。市民アンケート調査では、鉄道や路線バスの「乗継ぎのしやすさ」に対する満足度で不満度が高くなっており、民生委員・児童委員アンケート調査では市役所などが立地する市の中央へのアクセス改善に対する意見が多くあった。

現在運行中の公共交通機関全体の満足度を高めるためには、現存する公共交通機関や民間活力を活用しつつ、それぞれの交通機関の機能を最大限に発揮できるよう、交通資源同士の利用のしやすい接続や乗継ぎに関する負担の軽減、運行情報案内の充実、待合環境の改善など交通結節点の機能強化により、利便性の高い公共交通ネットワークを構築することが必要である。

③広域アクセスに留意し、需要の変化に対応した移動手段の確保【市全域】

八潮市では平成17年に八潮駅が開業し、都心方面へのアクセスの良さや、駅周辺の開発事業により商業施設などが進出するなどしたことから、人口は増加している。今後、シビックセンターとしての拠点形成に寄与する八潮市役所新庁舎建設や、北部拠点まちづくりの推進など新たな交流と賑わいの創出が期待されるため、需要の変化に対応した移動手段の確保が重要である。

しかしながら、路線バスや八潮市コミュニティバス、タクシーの担い手である運転手の不足や高齢化は各事業者とも深刻で、現行のサービスを維持するのが精一杯の状況である。

そのため、市民ニーズが高い越谷市や三郷市、草加市など近隣市への広域アクセスに留意しつつ、人口動態やまちづくりの変化を捉え、需要の変化や利用ニーズに対応した公共交通ネットワークの構築が必要である。

④八潮駅と主要施設へのアクセス強化【八潮駅周辺エリア】

駅や公共施設、商業施設、病院などの主要施設は、八潮駅周辺や市役所周辺以外にも市全域に分散している。それらの施設を繋ぐように公共交通網は構築されているが、地域によっては、遠回りする運行ルートや乗換えが必要となっている。

市民アンケート調査では、市内の行きたい場所として八潮駅、八潮中央総合病院、市役所の順となっており、民生委員・児童委員アンケート調査や地域会議でも同様の意見が挙がっている。

そのため、公共交通ネットワークの交通結節点である八潮駅と市役所などの主要施設へのアクセス改善を図るよう、公共交通ネットワークの改善（ルート再編や交通モード同士の接続強化など）が必要である。

⑤公共交通空白・不便地域への対応【八条エリア、大瀬・古新田エリア、西袋・南後谷エリア】

八潮市内の公共交通は、つくばエクスプレスの開業に合わせて、八潮駅を起終点とした路線バスの再編や八潮市コミュニティバスの運行開始などが行われた。

しかしながら、北部地域（八条）や西袋、古新田など一部地域で公共交通空白地域（鉄道駅より半径1km以遠、バス停より半径300m以遠）や公共交通不便地域が複数箇所存在しており、これらの地域について民生委員・児童委員アンケート調査や地域会議において、路線バス及び八潮市コミュニティバスの運行本数の増便やルート変更といった意見が多数寄せられている。

そのため、これらの地域で移動手段の確保を図り、公共交通空白・不便地域の解消に向けた取組が必要である。

⑥八潮市コミュニティバスの見直し・改善【市全域】

八潮市コミュニティバスの利用者数は、通勤・通学が中心で、平日の朝・夕時間帯が最も多くなっている。それ以外の時間帯では、1便平均利用者数で1人未満のダイヤもあり、土日祝も利用者数が少ない傾向となっている。

八潮市コミュニティバス利用者実態調査では、運行本数や運行時間帯、運行ルートで不満度が高く、民生委員・児童委員アンケート調査及び地域会議でも運行本数が少ない八条地区（外環以北）や大瀬古新田地区などで同様の意見が多数寄せられている。

そのため、運行開始以降10年以上経過した八潮市コミュニティバスについて、改めて担うべき役割や対象者を明確化した上で、草加市など広域アクセスに留意しつつ、運行ルート、運行時間帯・便数などの見直し・改善を検討していく必要がある。

また、県道松戸草加線の中央一丁目交差点において発生した道路陥没事故に伴い、コミュニティバスの適切な運行についても検討していく必要がある。

⑦市民・来訪者に分かりやすい運行情報の提供や利用促進に向けた市民意識の醸成【市全域】

市内を運行中の路線バスや八潮市コミュニティバスは、バス事業者や市ホームページ上に運行情報案内を掲載しているが、普段路線バスを使わない人や初めて来訪する人にとって行き先や乗り場などが分かりにくい状況である。

また、市民アンケート調査では、公共交通の利用促進策で「路線バスや八潮市コミュニティバスなどのルートや時刻表などを掲載した公共交通マップの作成・配布」が42.9%と一番目に高く、関係団

体アンケート調査や民生委員・児童委員アンケート調査でも運行ルートが分かりにくいといった意見が寄せられている。

公共交通を次世代に繋ぐためには、市民の協力や利用促進による新たな利用者の獲得が不可欠なため、利用者目線に立った分かりやすい情報の提供・充実や、公共交通の利用者に対するより一層の意識の醸成が必要である。

⑧多様な主体の連携による持続可能性の確保【市全域】

交通事業者アンケート調査では、路線バス、八潮市コミュニティバス及びタクシー事業者で運転手の不足や高齢化が課題として挙がっており、公共交通を担う人材の確保が難しい状況にある。

一方で、市民アンケート調査では、公共交通に対する財政負担の考え方で「市が財政負担をし、主になって公共交通を充実していくことに加え、住民、企業などが協力し合って維持していくべきだ」が4割弱と高くなっている。

そのため、市民（地域）、交通事業者、行政が役割分担を図りながら、移動利便性の高い都市として八潮市のポテンシャルを最大限引き出すよう、課題①から⑦までの解決に取り組むとともに、多様な主体が連携するため市の公共交通の現状について理解を深めることにより、各地域に適した持続可能な仕組みづくりを構築することが必要である。

⑨新型コロナウイルス感染症への対応【市全域】

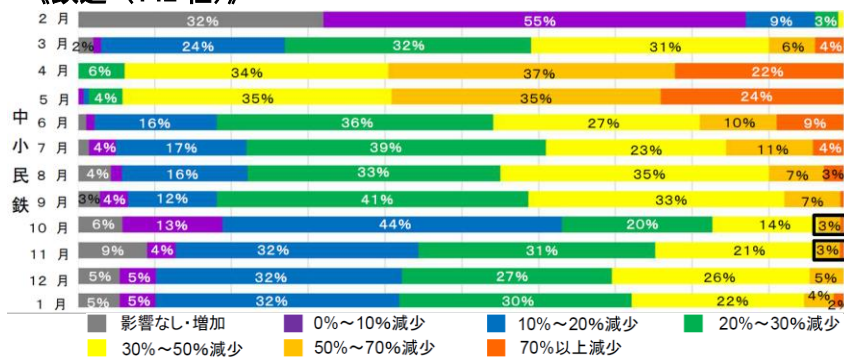
令和2年4月の緊急事態宣言以降、公共交通機関の輸送人員は前年同月比で大きく減少していたところだが、令和5年5月8日から感染症法において、「5類感染症」に遷移した。

令和6年度末においては、市内に停車駅を持つ鉄道事業者の年間乗車人数が当該感染症の感染拡大以前の水準に回復している。

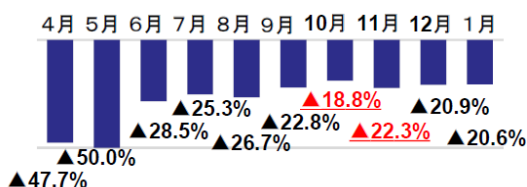
今後は、引き続き「新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」に基づき、様々な感染予防対策に取り組み、その他公共交通の利用者数の回復と同様の事態に対し、柔軟に対応できるような体制を整える必要がある。

（参考）令和2年月別全国の鉄道・一般路線バス・タクシーの輸送人員（前年同月比、12・1月は見込み）

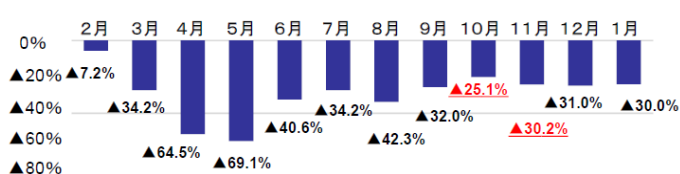
《鉄道（142社）》



《一般路線バス（167社）》



《タクシー（回答：235社）》



出典：新型コロナウイルス感染症による関係業界への影響について（令和2年12月、国土交通省）

2 目指すべき公共交通の方向性

(1) 公共交通の構築に係る基本的な方針

八潮市における公共交通は、次の4つの基本方針により、公共交通を必要とする人のための持続可能な公共交通網の構築を目指す。

【公共交通の基本理念】

まちのコミュニティをつなぐ 利用しやすい公共交通網の構築

【公共交通の問題点及び課題】

①高齢者・障がいのある人など交通弱者への対応

②公共交通機関同士の乗継ぎ利便性の改善

③広域アクセスに留意し、需要の変化に対応した移動手段の確保

④八潮駅と主要施設へのアクセス強化

⑤公共交通空白・不便地域への対応

⑥八潮市コミュニティバスの見直し・改善

①高齢者・障がいのある人など交通弱者への対応
(再掲)

⑦市民・来訪者に分かりやすい運行情報の提供や
利用促進に向けた市民意識の醸成

⑧多様な主体の連携による持続可能性の確保

⑨新型コロナウイルス感染症への対応

【公共交通の基本方針】

基本方針 1

：広域アクセスやまちづくりとの連携を図った利便性の高い公共交通網の構築を目指す

基本方針 2

：八潮市コミュニティバスの再編等により公共交通空白・不便地域の改善を目指す

基本方針 3

：市民や来訪者等誰もが利用しやすい公共交通環境の充実を目指す

基本方針 4

：多様な主体との連携によるまちづくりと一体となった持続可能な公共交通を目指す

基本方針 1

広域アクセスやまちづくりとの連携を図った利便性の高い公共交通網の構築を目指す

鉄道、路線バス、八潮市コミュニティバス、タクシーの各公共交通機関や民間企業送迎バスが機能分担し、拠点間と周辺都市を結び、市内外の活発な交流促進を目指した公共交通ネットワークの構築を目指すことが重要である。

このことから、現在施行中の土地区画整理事業や、八潮市役所新庁舎建設及び北部拠点まちづくり推進地区などのまちづくりと連携を図りながら、需要やニーズに対応し、有機的かつ効率的に機能する公共交通ネットワークの実現を目指す。

なお、市民ニーズが高い越谷市や三郷市にある大規模店舗へのアクセスについては、需要面や運行の効率性等を見極めながら、民間主体を基本に、運行の可能性を検討していく。

基本方針 2

八潮市コミュニティバスの再編等により公共交通空白・不便地域の改善を目指す

八潮市コミュニティバスの再編に向けては、鉄道や路線バスとの役割分担を図りつつ、時間帯毎や曜日毎の需要変動、運行の効率性（1運行当り所要時間（最大）…北ルート：70分、西ルート：67分）、財政負担などを考慮し、さらに草加市など周辺都市で運行中の路線バスやコミュニティバスとの連携強化など広域アクセスにも配慮して、公共交通空白・不便地域の改善を図る。

基本方針 3

市民や来訪者等誰もが利用しやすい公共交通環境の充実を目指す

各公共交通機関同士を有機的に接続させ、乗継ぎに対する負担や抵抗が最小限となるよう、交通結節点での乗継ぎ環境（ダイヤ、待合環境、料金等）の整備を進めるとともに、市民だけでなく、多くの来訪者や観光客にも分かりやすい利用者目線に立った情報提供の充実を目指す。

さらに、高齢者や障がいのある人など誰もが無理なく移動できるようにするため、公共交通に関連する施設や車両のバリアフリー*化等、円滑に公共交通が利用できる環境整備に取り組む。

基本方針 4

多様な主体との連携によるまちづくりと一体となった持続可能な公共交通を目指す

公共交通事業者は、運転手不足や新型コロナウイルス感染症の拡大による利用者数の減少など、厳しい状況にある。このような中、持続可能な公共交通ネットワークを確保するためには、従来の行政、交通事業者に頼った公共交通の維持・確保ではなく、これまで以上に地域自らが「公共交通はみんなで『つくり・守り・育てる』」という意識を持って関わっていくことが重要である。

公助、共助による支え合いを大切にし、商工会、観光協会、社会福祉協議会、企業など様々な団体等との連携による地域ぐるみの利用促進の展開などにより、まちづくりと一体となった持続可能な公共交通を目指す。

さらに、自動運転技術等の導入や限られた交通手段の有効利用により安全で利便性の高い公共交通を目指す。

(2) 公共交通網のあり方

①公共交通再編の基本的な考え方

八潮市の公共交通ネットワークは、基本理念である「まちのコミュニティをつなぐ利用しやすい公共交通網の構築」に向けて、広域アクセスに留意し、次の観点から「八潮駅～八潮市役所～草加駅を基軸とした多方面に行きやすいネットワーク」の構築を目指す。

- 八潮駅と八潮市役所、草加駅を基軸に、他公共交通と連携し、効率的で効果的な公共交通ネットワークの構築
- 路線バスと八潮市コミュニティバス、民間企業送迎バス等とが有効活用できる組合せ及び輸送効率の向上の実現
- 交通結節点の機能強化による公共交通機関同士の相互連携の実現

②各公共交通機関の役割

八潮市は東西に約 5.23 km、南北に約 7.45 kmと南北に長い市域となっており、目的地・外出パターンに合った直行性を追求した公共交通網では、路線長が長大となるため、利便性や効率性などの低下が懸念される。

そのため、各公共交通機関が提供するサービスの特徴を最大限に発揮し、適切な役割分担のもと緊密に連携しながら、利便性向上と効率的な運行を目指した公共交通網の構築を目指す。

■各公共交通機関の機能分担

分類		交通機関	位置付け・役割	移動距離※	
				都市間	市内
幹線	広域公共交通	鉄道、高速バス	・都市間を連絡し、広域的な移動を担う交通	◎	×
	基幹公共交通	路線バス	・八潮駅と八潮市役所、草加駅を連絡し、骨格的な移動を担う交通	○	○
	地域間公共交通	路線バス	・草加市、周辺都市の各地や、八潮駅と市内各地を結ぶ移動を担う交通	○	○
支線	地域内公共交通	八潮市コミュニティバス (新たな交通モードの導入検討含む)	・主に地域内の移動と交通不便地域の解消を担う交通	×	◎
補完公共交通		タクシー	・ドア・ツー・ドア*の少量個別輸送を担う移動手段で、個別のニーズに機動的や柔軟的に対応可能な交通	△	○
その他		民間企業送迎バス	・病院など特定の利用者等の移動を担う交通	×	△

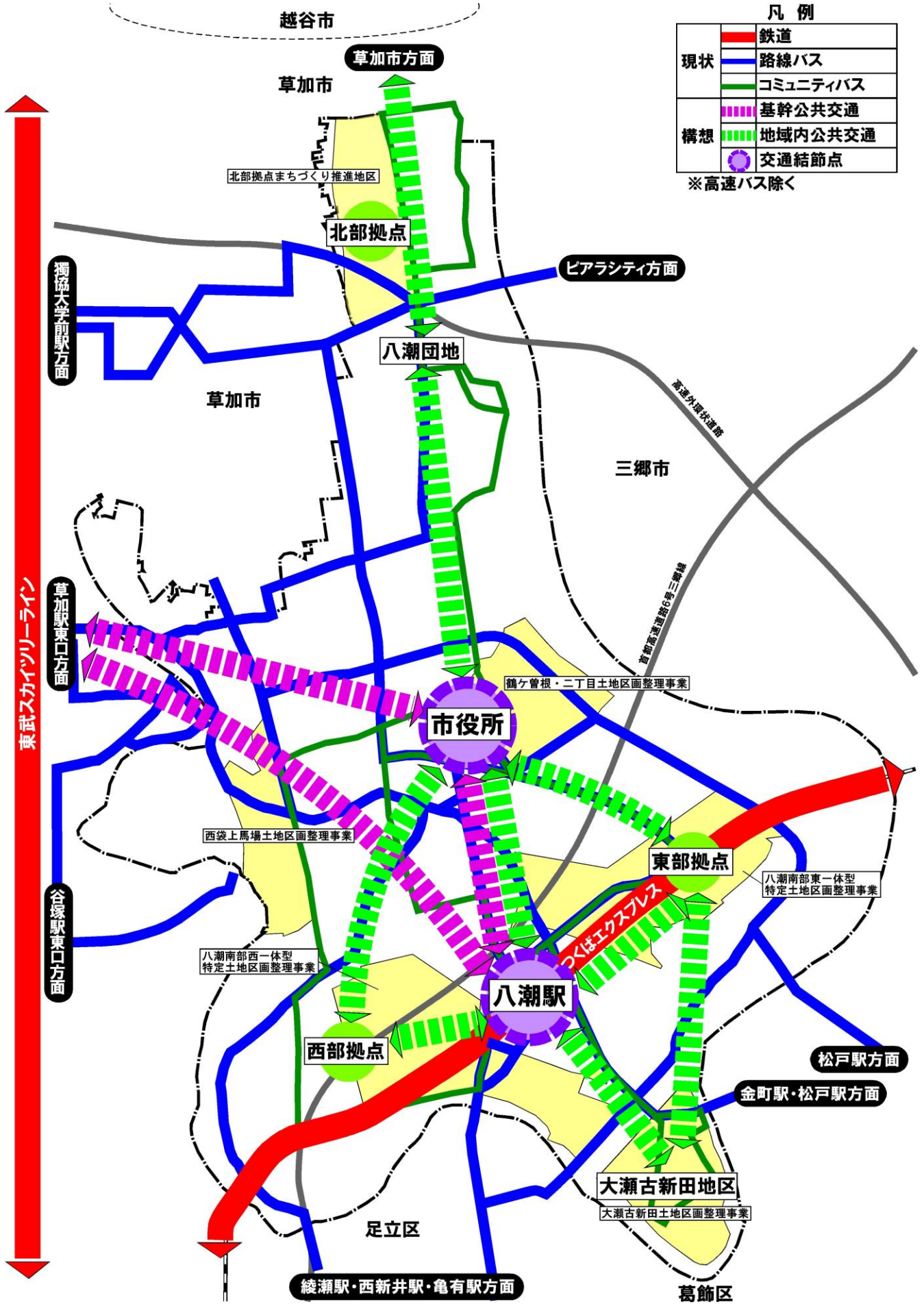
※移動距離（利用者の移動）…◎：多い、○：やや多い、△：少ない、×：無い

③交通結節点のあり方

効率的で効果的な地域公共交通網の構築を目指す上で、交通結節点は、幹線、支線、補完公共交通の接続性を高める重要な役割を担う。そのため、情報提供、乗継ぎ負担の軽減などを考慮する必要がある。

交通結節点は、幹線同士、あるいは幹線・支線の乗継ぎが可能な場所で、「八潮市都市計画マスタープラン」の将来都市構造で「都市核」に位置付けられている「八潮駅」と「八潮市役所」とする。

■公共交通骨格形成イメージ



凡例

現状		鉄道
		路線バス
		コミュニティバス
構想		基幹公共交通
		地域内公共交通
		交通結節点

※高速バス除く

3 計画の目標及び実施事業

3-1 計画の目標

4つの「公共交通の基本的な方針」を実現するため、達成すべき計画の目標を下記のとおり定める。

【公共交通の基本的な方針】

基本方針1
：広域アクセスやまちづくりとの連携を図った利便性の高い公共交通網の構築を目指す

基本方針2
：八潮市コミュニティバスの再編等により公共交通空白・不便地域の改善を目指す

基本方針3
：市民や来訪者等誰もが利用しやすい公共交通環境の充実を目指す

基本方針4
：多様な主体との連携によるまちづくりと一体となった持続可能な公共交通を目指す

【計画の目標】

目標①
：拠点間と周辺都市を結ぶ公共交通網の構築

目標②
：公共交通空白・不便地域の解消

目標③
：利用しやすい公共交通環境の整備

目標④
：地域全体で支える公共交通の構築

3-2 取り組むべき実施事業

(1) 実施事業

4つの「計画の目標」の実現に向けて、下記のとおり事業を実施する。

【計画の目標】

【実施事業】

目標①

：拠点間と周辺都市を結ぶ公共交通網の構築

目標②

：公共交通空白・不便地域の解消

目標③

：利用しやすい公共交通環境の整備

目標④

：地域全体で支える公共交通の構築

《事業1》 八潮市役所新庁舎建設に合わせた路線バスの再編

《事業2》 八潮市コミュニティバスの再編

《事業3》 タクシーの利用促進

《事業4》 まちづくりと連動した周辺都市との連携強化

《事業5》 新たな交通システムの導入検討

《事業6》 交通結節点（八潮駅、八潮市役所）の機能強化

《事業7》 公共交通に関する情報提供の充実

《事業8》 バス停の待合環境の改善

《事業9》 高齢者・障がいのある人等に配慮した公共交通環境の充実

《事業10》 公共交通と自転車を活用した連携事業の充実

《事業11》 MaaS*による「新たな移動」サービスの導入検討

《事業12》 運転免許自主返納等のため高齢者の移動支援の充実

《事業13》 バスの乗り方教室の開催

《事業14》 意識啓発や醸成を促す利用促進活動（モビリティマネジメント*）の展開

《事業15》 八潮市コミュニティバスの収支改善に関する取組

《事業16》 運転手の確保策の実施

《事業17》 商業施設等と連携した公共交通の利用促進

《事業18》 民間企業送迎バス等の活用と公共交通との連携強化

《事業19》 重大事案発生時の相互協力の体制確保

(2) 実施事業の実施時期

前項で掲げた 18 の実施事業について、本計画の計画期間である令和 3 年度から令和 10 年度までの 8 年間の実施時期は、下記の通りである。

実施事業	計画期間	
	令和 3 年度～令和 1 0 年度（8 年間）	
《事業 1》 八潮市役所新庁舎建設に合わせた路線バスの再編		
《事業 2》 八潮市コミュニティバスの再編		
《事業 3》 タクシーの利用促進		
《事業 4》 まちづくりと連動した周辺都市との連携強化		
《事業 5》 新たな交通システムの導入検討		
《事業 6》 交通結節点（八潮駅、八潮市役所）の機能強化	デジタルサイネージの導入	
	乗継割引運賃制度の導入等	
《事業 7》 公共交通に関する情報提供の充実		
《事業 8》 バス停の待合環境の改善		
《事業 9》 高齢者・障がいのある人等に配慮した公共交通環境の充実		
《事業 10》 公共交通と自転車を活用した連携事業の充実	サイクル&バスライドの整備	
	コミュニティサイクルの導入	
《事業 11》 MaaS による「新たな移動」サービスの導入検討		
《事業 12》 運転免許自主返納等のため高齢者の移動支援の充実		
《事業 13》 バスの乗り方教室の開催		
《事業 14》 意識啓発や醸成を促す利用促進活動（モビリティマネジメント）の展開		
《事業 15》 八潮市コミュニティバスの収支改善に関する取組		
《事業 16》 運転手の確保策の実施		
《事業 17》 商業施設等と連携した公共交通の利用促進		
《事業 18》 民間企業送迎バス等の活用と公共交通との連携強化		
《事業 19》 重大事案発生時の相互協力の体勢構築		

凡例

: 事業の検討・協議期間（合意形成、手続き、協議・周知等）

: 事業の展開期間（事業実施等）

(3) 実施事業の概要

実施事業について、目標ごとに事業概要や実施主体を整理する。

目標① 拠点間と周辺都市を結ぶ公共交通網の構築

目標② 公共交通空白・不便地域の解消

【事業1】八潮市役所新庁舎建設に合わせた路線バスの再編

現在取り組んでいる八潮市役所新庁舎建設は、令和5年度に新庁舎が完成し、敷地内に整備するバスロータリーは、現庁舎解体後の令和8年度に完成予定となっている。

そのため、バスロータリー整備による交通結節点機能を有効活用し、八潮駅と八潮市役所間及び周辺都市間のアクセス強化に資する利便性の高い路線の再編について、バス事業者と検討・協議する。

【実施主体】 バス事業者、八潮市

【実施時期】 事業の検討・協議期間：令和3年度から令和7年度まで
事業の展開期間：令和8年度まで

【事業2】八潮市コミュニティバスの再編

八潮市コミュニティバスについては、事業1にある路線バスの再編を考慮しつつ、市民ニーズや利用実績等を踏まえ、利便性向上と効率的な運行となるよう再編を検討・実施する。

具体的な再編内容については、第2編 26頁「5 八潮市コミュニティバス再編計画」の通りで、運行評価の手順（27頁参照）に基づき、継続的に評価・検証しながら再編を行う。

【実施主体】 八潮市、バス事業者、地域

【実施時期】 事業の検討・協議期間：令和3年度から令和10年度まで

【事業3】タクシーの利用促進

タクシーは、自宅から目的地まで移動できるため、きめ細かな対応が可能であり、鉄道駅やバス停留所などまで歩くことが困難な高齢者等にとって重要な交通手段となっている。

このような中、タクシー事業者は、タクシーの適正化・活性化を図るため、「埼玉県南東部交通圏タクシー準特定地域協議会準特定地域計画」に基づき、各種事業に取り組んでおり、今後も、タクシーサービスの活性化や良質なサービスの提供、事業経営の活性化・効率化などに向けた取組を積極的に実施する。

また、タクシーの利用促進を図るため、新庁舎整備に当たっては、庁舎敷地内にタクシープールを整備するとともに、市ホームページなどでタクシーサービスの周知や情報提供を行う。

【実施主体】 タクシー事業者、八潮市、地域

【実施時期】 事業の展開期間：令和3年度から令和10年度まで

【事業4】まちづくりと連動した周辺都市との連携強化

土地区画整理事業や北部拠点まちづくり推進地区などのまちづくりと連携を図りつつ、需要面や運行の効率性等を見極めながら、周辺都市との連携に資するバス路線について検討する。

【実施主体】 八潮市、バス事業者

【実施時期】 事業の検討・協議期間：令和3年度から令和10年度まで

【事業5】新たな交通システムの導入検討

地域公共交通を取り巻く情勢が大きく変革している中で、超小型モビリティやグリーンスローモビリティ*、自動運転バス及びAIを活用したデマンド交通*など、新しい技術を用いた「人の動き」に関する実証実験が全国で進められている。

これら技術革新等の動向を踏まえつつ、既存公共交通システムを補完する新たな交通システムや短距離移動を支援する新たな交通手段の導入を検討する。

【実施主体】 八潮市、バス事業者、タクシー事業者、その他団体等

【実施時期】 事業の検討・協議期間：令和3年度から令和10年度まで

目標③ 利用しやすい公共交通環境の整備

【事業6】交通結節点（八潮駅、八潮市役所）の機能強化

交通結節点に位置付けている「八潮駅」と「八潮市役所」については、鉄道、路線バス、八潮市コミュニティバス及びタクシーなど多様な公共交通機関が乗り入れており、市民や来訪者、観光客に分かりやすい情報提供の充実が重要である。

そのため、公共交通の乗り場や出発ダイヤ、ウィズコロナ*時代を見据えた公共交通機関の混雑度などの情報が分かりやすい案内板（デジタルサイネージの設置、多言語表記など）を検討する。

また、八潮市コミュニティバス同士や、八潮市コミュニティバスと路線バスとの乗継割引運賃制度の導入や、鉄道、路線バス、八潮市コミュニティバスを円滑に乗り継ぐためのダイヤ等について検討する。

【実施主体】 ○デジタルサイネージの導入…八潮市、交通事業者、広告事業者

○乗継割引運賃制度の導入等…八潮市、交通事業者

【実施時期】 ○デジタルサイネージの導入

事業の検討・協議期間：令和3年度から令和7年度

事業の展開期間：令和8年度

○乗継割引運賃制度の導入等

事業の展開期間：令和3年度から令和10年度まで



▲八潮駅南口バス乗り場案内

【事業7】公共交通に関する情報提供の充実（86頁参照）

鉄道や路線バスなどの運行情報は、交通事業者やインターネット上にある一般の経路検索サイト等で情報提供されており、運行経路・乗換案内・時刻表などの検索が可能である。

一方で、インターネットを使用しない市民や来訪者は、公共交通の情報を把握することが難しいことから、公共交通の情報を掲載した「公共交通マップ」を作成・配布し、公共交通の利用促進を図る。

また、鉄道事業者は、車内の混雑状況等をホームページなどで公表していることから、新型コロナウイルス感染症予防や混雑緩和のため、これらの情報を市ホームページ等で周知し、オフピーク時間帯の利用促進を図る。

このほか、国土交通省で進めている「G T F S - J P（標準的なバス情報フォーマット）」について、活用の可能性を検討する。

【実施主体】 八潮市、交通事業者、その他団体等

【実施時期】 事業の展開期間：令和3年度から令和4年度、令和7年度、令和10年度

【事業8】バス停の待合環境の改善（86・87頁参照）

誰もが安全で快適にバスを利用するためには、公共交通に関連する施設やバスの乗り降りに係る施設（段差の解消、道路の狭さ等）など、バス停の待合環境を改善する必要がある。

しかしながら、バス停の待合環境の整備には、道路環境により整備が困難な状況があることや維持管理にコストが掛かることなどから、医療機関や商業施設など利用が多いバス停を中心に、計画的に整備を進める。

また、公共施設や民間施設を活用した拠点スポットの整備（「バスまちスポット」「まち愛スポット」登録制度の活用など）について、施設管理者と連携・協力し、利用者が安全で快適にバスを待つことができる環境づくりを進める。

【実施主体】 八潮市、地域、埼玉県、バス事業者

【実施時期】 事業の展開期間：令和3年度から令和10年度まで

【事業9】高齢者・障がいのある人等に配慮した公共交通環境の充実

路線バス、タクシー車両について、国や埼玉県の補助制度を活用し、乗り降りが容易なノンステップバス*やユニバーサルデザインタクシー*など、利用しやすい車両の導入を促進する。

また、高齢者・障がいのある人等の特性に対する理解やヘルプカード等の周知により心のバリアフリー*化を推進し、誰もが安心して利用できる公共交通環境の醸成を図る。

【実施主体】 交通事業者、埼玉県、八潮市

【実施時期】 事業の展開期間：令和3年度から令和10年度まで

【事業 10】公共交通と自転車を活用した連携事業の充実

八潮市は、平坦な地形のため自転車利用者が多い地域特性となっている。この特性を活かして、自転車からバスに乗継ぎをするサイクル&バスライド*の促進に向けて、バス停付近の自転車駐車場等の乗継ぎ環境の整備について、関係機関と協議・調整を図りながら検討する。

また、駅やバス停等への移動にあたり、利用に即した組合せを選択出来るようにするため、公共交通を補完する移動手段となるコミュニティサイクル*の導入を検討する。

導入に当たっては、「第12次八潮市交通安全計画」等と整合を図りながら、安全な自転車利用環境の創出を検討する。



▲中馬場バス停・自転車駐車場

【実施主体】

○サイクル&バスライド*の整備…八潮市、バス事業者、地域

○コミュニティサイクル*の導入…八潮市、自転車事業者、地域

【実施時期】

○サイクル&バスライド*の整備

事業の展開期間：令和3年度から令和10年度まで

○コミュニティサイクル*の導入

事業の検討・協議期間：令和3年度から令和8年度

事業の展開期間：令和9年度、令和10年度まで

【事業 11】MaaS*による「新たな移動」サービスの導入検討（87頁参照）

令和元年度より八潮市及び周辺都市と協力・連携し、あらゆる人がシームレスに移動できることを目的に、MaaS*による「新たな移動」サービスの検討を進めている。

八潮市では、鉄道や路線バス、八潮市コミュニティバス、タクシーなど既存公共交通機関に加え、【事業5】新たな交通システムや現在別途検討中のコミュニティサイクル*など多様な移動手段をつなぐため、交通結節点の機能強化や周辺市区と連携したMaaS*の導入について検討を進める。

【実施主体】 八潮市、交通事業者、近隣市、その他関係者

【実施時期】 事業の展開期間：令和3年度から令和10年度まで

目標④ 地域全体で支える公共交通の構築

【事業 12】 運転免許自主返納等のための高齢者の移動支援の充実（87～89 頁参照）

高齢者の交通事故防止と公共交通の利用促進を図るため、埼玉県や路線バス事業者で実施中の自動車運転免許自主返納者への支援措置について、市ホームページや広報紙、「公共交通マップ」などの情報媒体を活用したPR活動を積極的に行う。

また、市独自の自動車運転免許自主返納者への支援策について検討する。

【実施主体】 交通事業者、警察署、八潮市

【実施時期】 事業の検討・協議期間：令和3年度から令和10年度

【事業 13】 バスの乗り方教室の開催（89 頁参照）

高齢者や将来的な利用者となる小学生等を対象に、バスの乗り方教室や公共交通の経路検索方法等の周知を行い、市民意識の醸成と利用促進を図る。

※バスの乗り方教室…バス車両等を使用してバスの乗り方や運賃の支払い方法、乗車マナー等を学習する体験型学習。

【実施主体】 バス事業者、地域、八潮市

【実施時期】 事業の検討・協議期間：令和4年度から令和6年度

事業の展開期間：令和7年度から令和10年度まで

【事業 14】 意識啓発や醸成を促す利用促進活動（モビリティマネジメント*）の展開

過度な自家用車利用から公共交通利用への転換を促すため、広報紙などの多様な情報媒体による周知や利用促進活動などのモビリティマネジメント*活動を展開し、公共交通に対する意識の転換や市民意識の醸成を図る。

また、鉄道、バス及びタクシー事業者では、公共交通を安心して利用いただくために、業種別に策定している「新型コロナウイルス感染症予防対策ガイドライン」に基づき、様々な感染症対策の取組を実施しており、これらの情報を周知するとともに、利用者の安全な利用を促進する。

【実施主体】 八潮市、交通事業者、地域、その他関係者

【実施時期】 事業の展開期間：令和3年度から令和10年度まで

公共交通あんしん利用
鉄道を安心してご利用いただくための
お客様への3つのお願い
For everyone's safety, passengers are requested to take the following precautions.

- ✓ マスクを着用し、会話は控えめに
Please wear a mask and refrain from talking while inside the car.
- ✓ 車内換気のご理解・ご協力を
換気装置や空調装置、窓でのドア開放、窓開けにより、車内換気を実施しております。
Fresh air inside the car by using ventilators, air conditioners and opening doors and windows.
- ✓ 混雑を避けた時間帯・車両でのご利用を
テレワーク、在宅勤務等へのご協力をお願いします。
Please travel during non-peak hours by teleworking and staggering work hours.

新型コロナウイルスの感染拡大防止にご理解とご協力をお願いします
Thank you for your cooperation in helping to stop the spread of COVID-19.

鉄道連絡会
埼玉県・千葉県・群馬県・栃木県・埼玉県・茨城県・東京都
関東圏一帯の主要鉄道事業者一帯の鉄道事業者
（一社）日本地下鉄連合会（一社）東京交通事業連合会
（一社）関東鉄道連合会（一社）東武鉄道連合会
（一社）東武鉄道連合会（一社）東武鉄道連合会

公共交通あんしん利用
バスを安心してご利用いただくための
お客様へのお願い
お客さまへのお願い
公共交通あんしん利用

マスクの着用・
会話は控えめに
時差出勤

車内換気 3分、5分

爽

窓を開けなくても、3分（軽光バスは5分）で空気が入れ替わります。
窓開けは乗りの人に配慮しましょう。

新型コロナウイルスの感染拡大防止にご理解とご協力をお願いします
公益社団法人日本バス協会 国土交通省

国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Press Release
令和3年8月10日
自動車部 発表

タクシーを安心してご利用いただくために
～利用者の皆様へ～

タクシーは、国民生活・国民経済の安定確保に不可欠な公共交通機関であり、今般の新型コロナウイルス感染症が拡大する中において、最低限の事業の継続が求められております。
その一方で、新型コロナウイルスの感染リスクを軽減し、安心してタクシーをご利用いただけるよう、国土交通省とタクシー事業者とが協力して対策に取り組んでいるところであります。国土交通省から以下の点について、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、ご理解・ご協力をお願い致します。

～国土交通省から利用者への皆様へ～

- マスクを着用し、会話は控えめにしてください
- 後部座席に着席が可能である場合、できる限り助手席のご利用は控えてください
- 換気のため走行中の窓開けにご理解・ご協力をいただく

【問い合わせ先】
自動車部 企画課 付属、主幹
TEL: 03-5223-8111 (FAX: 03-5242-4124)
www.mlit.go.jp

国土交通省
全国ハイヤー・タクシー連合会

【事業 15】八潮市コミュニティバスの収支改善に関する取組

八潮市コミュニティバスの収支改善を図るため、運賃収入以外の財源の確保として企業広告（車体・車内等）などの導入について可能性を検討する。

【実施主体】 八潮市、地域

【実施時期】 事業の検討・協議期間：令和3年度から令和10年度まで

【事業 16】運転手の確保策の実施（89頁参照）

新型コロナウイルス感染症の拡大により、公共交通事業は厳しい経営状況にあるが、路線バス・タクシーのサービスを維持する上で、運転手の確保は必要不可欠である。

交通事業者アンケート調査では、路線バス、タクシー運転手の高齢化や不足が課題として挙げられており、交通事業者では運転手の求人を継続的に行っているが、運転手確保に非常に苦慮している状況となっている。

そのため、社会情勢や需給バランスを見極めた上で、多様な主体が連携した合同就職面接・企業説明会や、バス・タクシー運転手に特化した就職イベントなど、運転手の確保策を検討し、実施する。

【実施主体】

交通事業者、バス協会、タクシー協会、八潮市、ハローワーク

【実施時期】 事業の検討・協議期間：令和3年度から令和5年度まで

事業の展開期間：令和6年度から令和10年度まで



【事業 17】商業施設等と連携した公共交通の利用促進（90頁参照）

公共交通に乗り慣れていない市民や来訪者が、公共交通を利用して安心して円滑に目的地に移動できるようにするため、公共交通を利用した「おでかけモデルプラン」を作成し、市ホームページなどで周知を図り、まちの賑わいの創出や需要の掘り起こしを図る。

【実施主体】 交通事業者、企業、商工会、観光協会、八潮市

【実施時期】 事業の検討・協議期間：令和3年度から令和6年度まで

事業の展開期間：令和7年度から令和10年度まで

【事業 18】民間企業送迎バス等の活用と公共交通との連携強化

八潮中央総合病院、広瀬病院、八潮病院、草加八潮工業団地の一部企業などの民間企業及び老人福祉センターなどで送迎バスを運行中である。

公共交通を補完するため、民間企業送迎バス等の様々な移動手段の活用と公共交通との連携強化について、企業などと協議・調整を図りながら検討を進める。

【実施主体】 八潮市、民間企業等

【実施時期】 事業の検討・協議期間：令和3年度から令和10年度まで

【事業 19】 重大事案発生時の相互協力の体制確保

道路陥没事故や新型コロナウイルスの感染症拡大等の公共交通に重大な影響を与えうる事案の発生時において迅速かつ的確な初期対応を実施するための体制確保について検討する。

【実施主体】 交通事業者、バス協会、タクシー協会、八潮市、埼玉県草加警察署

【実施時期】 事業の検討・協議期間：令和7年度から令和10年度

(4) 事業推進に向けた実施体制

前項で掲げた事業の円滑な推進に当たっては、地域公共交通を支える「市民」、「交通事業者」、「行政」の三者がそれぞれの役割を認識し、連携を強化しながら、持続可能な地域公共交通の確保に努める。

①市民（地域、民間企業等）

公共交通の利用者として、また将来自らが利用者となる可能性があることを踏まえ、利用促進に関する取組への主体的な参画により、公共交通の利便性の向上と将来にわたり持続させることに協力する。

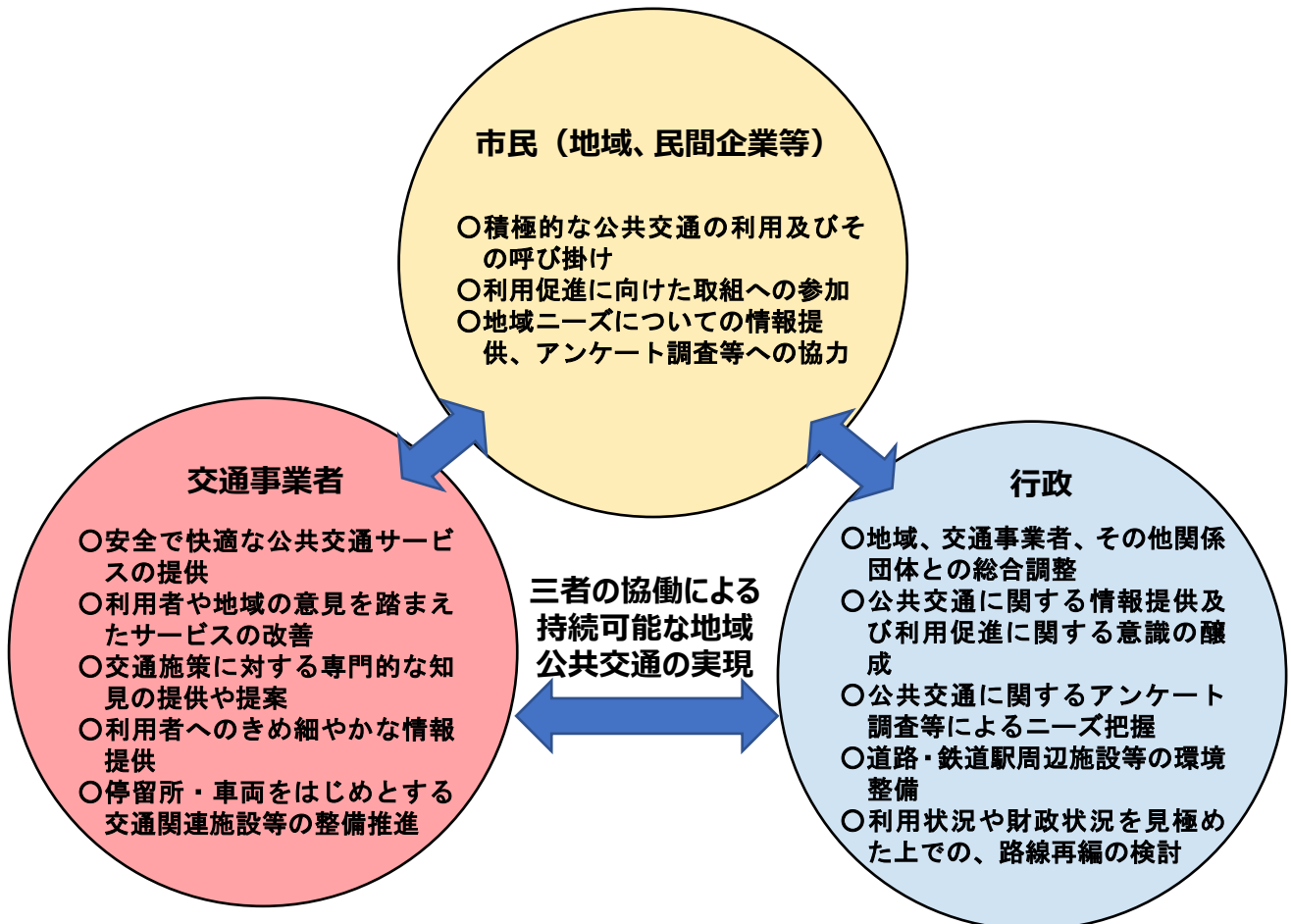
②交通事業者

地域の公共交通を担う責任のもと、安全性の確保及び快適性の提供が両立した公共交通サービスの維持・充実に努める。

③行政

限られた輸送資源の中で効率的な運行となるように、関係者意見を調整し、持続可能な地域公共交通の維持・確保、充実に向けて総合的な支援を行う。

■市民・交通事業者・行政の役割分担



3-3 計画目標の達成状況を評価するための評価指標

計画の達成状況を評価するため、各目標に対し、以下のように評価指標を設定する。なお、ポストコロナ*時代に向けた急速な社会構造の変化により、地域公共交通を取り巻く環境が不透明なため、適宜目標値を見直す場合がある。

基本方針	計画の目標	実施事業	評価指標	現状値時点	現状値	目標値	備考
1 広域アクセスやまちづくりとの連携を図った利便性の高い公共交通網の構築 2 八潮市コミュニティバスの再編等により公共交通空白・不便地域の改善	①拠点間と周辺都市を結ぶ公共交通網の構築	《1》八潮市役所新庁舎建設に合わせた路線バスの再編	—				
		《2》八潮市コミュニティバスの再編	コミュニティバス利用者満足度	令和元年10月	48.1%	55.0%	※1
			コミュニティバス年間利用者数	令和元年度	108,475人	95,208人	※2
			コミュニティバス行政負担額	令和3年度予算額	2,420万円以下	2,421万円	
	②公共交通空白・不便地域の解消	《3》タクシーの利用促進	タクシー利用者満足度	令和元年9月	52.6%	60.0%	※4
		《4》まちづくりと連動した周辺都市との連携強化	—				
		《5》新たな交通システムの導入検討	—				
3 市民や来訪者等誰もが利用しやすい公共交通環境の充実	③利用しやすい公共交通環境の整備	《6》交通結節点（八潮駅、八潮市役所）の機能強化	交通結節点での機能強化の整備箇所数		—	2箇所	※5
			乗り継ぎのしやすさの市民の満足度	令和元年9月	38.1%	45.0%	※6
		《7》公共交通に関する情報提供の充実	公共交通マップ配布数		—	45,000部	※7
		《8》バス停の待合環境の改善	拠点スポットの整備箇所数		—	5箇所以上	※8
		《9》高齢者・障がいのある人等に配慮した公共交通環境の充実	—				
		《10》公共交通と自転車を活用した連携事業の充実	自転車活用拠点整備箇所数		4箇所	8箇所	※9
		《11》MaaSによる「新たな移動」サービスの導入検討	—				
4 多様な主体との連携による持続可能な公共交通の構築	④地域全体で支える公共交通の構築	《12》運転免許自主返納等のため高齢者の移動支援の充実	65歳以上運転免許返納者数	令和元年度	325人	516人	※10
		《13》バスの乗り方教室の開催	乗り方教室開催数		—	4回	※11
		《14》意識啓発や醸成を促す利用促進活動（Eビリティマネジメント）の展開	広報紙等による啓発回数		—	5回	※12
		《15》八潮市コミュニティバスの収支改善に関する事項	—				
		《16》運転手の確保策の実施	運転手確保策の実施回数		—	3回	※13
		《17》商業施設等と連携した公共交通の利用促進	—				
		《18》民間企業送迎バス等の活用と公共交通との連携強化	—				
		《19》重大事案発生時の相互協力の体制確保	—				

- ※1 八潮市コミュニティバス利用者実態調査（令和元年10月）による運行サービス満足度のうち、各項目における「満足」＋「やや満足」の割合の平均値を年に1%のペースで向上
- ※2 令和元年度年間利用者数108,475人×コロナ禍における路線バス利用者数の令和2年度減少率20%（全国平均）×総人口（100,000人÷91,148人）
- ※3 コミュニティバス年間利用者数（目標値）による収入（18,938,067円）÷直近3年間平均運行経費（43,067,904円）＝44.0%
- ※4 市民アンケート調査（令和元年9月）によるタクシーの運行サービス満足度のうち、各項目における「満足」＋「やや満足」の割合の平均値を年に1%のペースで向上
- ※5 交通結節点として位置付けた八潮駅、八潮市役所の2箇所
- ※6 市民アンケート調査（令和元年9月）による路線バス（八潮市コミュニティバス含む）の運行サービス満足度のうち、他のバスや鉄道との乗り継ぎのしやすさで「満足」＋「やや満足」の割合の平均値を年に1%のペースで向上
- ※7 令和4年度に公共交通マップ45,000部を作成及び配布
- ※8 八潮中央総合病院など利用が多いバス停（「バスまちスポット」「まち愛スポット」）
- ※9 八潮市役所など拠点に設置
- ※10 直近5年間（平成27年～令和元年）の65歳以上運転免許返納者数の増加（134人→325人：191人）より設定
- ※11 令和4年度から年1回、延べ4回実施
- ※12 令和3年度から広報紙やホームページ等への掲載を年1回程度、延べ5回実施
- ※13 令和5年度から説明会や就職イベント等の実施について年1回程度、延べ3回実施

4 計画の達成状況の評価

(1) 目標の達成状況や社会情勢の変化に伴う計画の見直し

「八潮市地域公共交通計画」の推進にあたり、目標の達成状況や利用状況などを評価・検証し、必要に応じて見直しを行い、改善するため「PDCAサイクル*」による進行管理を実施する。

なお、新型コロナウイルス収束後のポストコロナ*時代に向けた急速な社会構造の変化により、地域公共交通を取り巻く環境が不透明となっていることや、自動運転等の新しい技術など「人の移動」は大きく変革することが予想されたため、社会情勢を踏まえ必要に応じて、柔軟に実施事業や目標値など計画の見直し等を検討する。

(2) 進行管理体制

本計画のPDCAサイクル*の実行は、「八潮市地域公共交通協議会」において実施し、施策に係る全ての関係者（市民、交通事業者、行政など）が施策効果の検証結果を共有する。

なお、評価・検証については、「毎年実施するPDCA」と、「計画の最終年度に実施する目標達成度に対するPDCA」による二重の組み合わせで進行管理を行う。

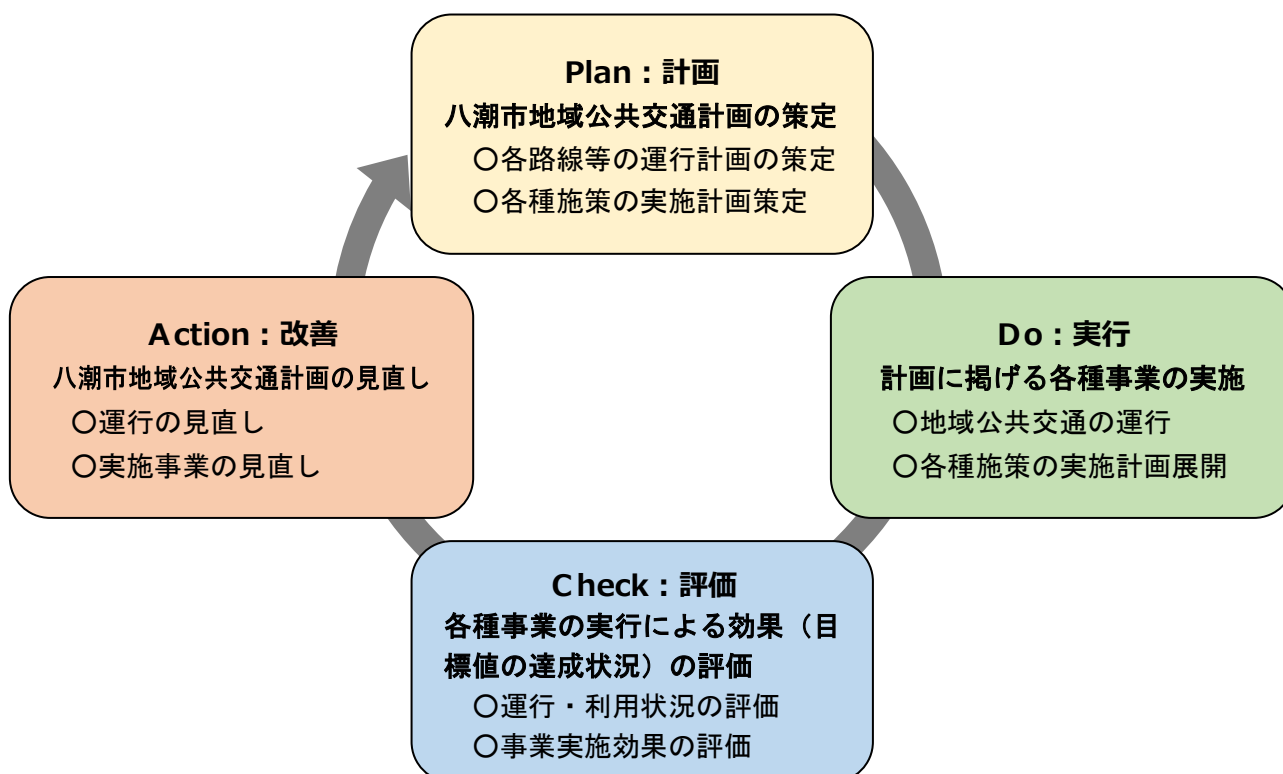
○事業実施状況の評価（年に1回実施）

公共交通への取組や運行状況について、事業の実施状況の評価を毎年度実施する。

○目標達成度の評価（計画期間最終年度に実施）

計画の目標値との比較により、事業の達成状況を検証する。ただし、公共交通の利用ニーズや利便性は、主な目的地である商業施設・病院等の整備、道路改良などのハード整備による周辺状況の変化に影響を受けやすいため、利用状況やニーズなどを把握・分析し、必要に応じて見直し・改善を図る。

■各PDCAサイクル*の概要



(3) 評価の方法及びスケジュール

計画期間におけるP D C Aサイクル*の具体的なスケジュールは次の通りとする。

本計画の評価は、最終年度（令和 10 年度）に事業者から提供された利用実績や各種アンケート調査等から、計画及び公共交通網の評価を実施し、実施事業の見直し及び新たな事業の追加を検討し、次期計画を策定する。

公共交通機関の利用状況や本計画に定めた事業の実施結果に関する評価については、毎年度実施するものとする。

■評価スケジュール

(年度)

項目		令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10
関連調査 評価方法	利用者数実績・整理	○	○	○	○	○	○	○	
	市民アンケート調査						○		
	利用者アンケート調査						○		
事業実施状況の評価		○	○	○	○	○	○	○	○
目標達成度の評価									○
計画・目標値の見直し									○
八潮市地域公共交通協議会の開催		○	○	○	○	○	○	○	○

5 八潮市コミュニティバス再編計画

実施事業の1つである「事業2 八潮市コミュニティバスの再編」は、交通不便地域の解消に向けた重要な計画であり、市民からも強い要望があることから、第2編として具体的に検討するものである。

5-1 見直しの基本的な考え方

(1) 公共交通再編の基本的な考え方である「八潮駅～八潮市役所～草加駅を基軸とした多方面に行きやすいネットワーク」の実現を図るため、現行運行ルート・バス停を基本に、次の観点から見直しを検討する

利便性が高く、持続可能な公共交通システムとなるよう、再編後も運行評価の手順（32頁参照）に基づき、継続的に評価・検証しながら再編を行う。

なお、高校生の通学利用については、令和元年度に行った八潮市コミュニティバス利用者実態調査において、通学目的（平日）が1.6%と低くなっており、さらに、令和2年度に行った高校生アンケート調査では、登下校の交通手段は約9割が自転車で、八潮市コミュニティバスの利用は0.4%と低くなっている。そのため、高校生の通学利用については、八潮市コミュニティバスの需要として考えないものとするが、下校時間帯などで運行ダイヤが合った場合には利用が増えるよう、八潮市コミュニティバスのPR活動を行う。

(2) 八條エリア（外環以北）と大瀬・古新田エリア（大瀬古新田地区）の利便性向上を検討する

ニーズ調査で市民からの要望が多くあった八條エリア（外環以北）と大瀬・古新田エリア（大瀬古新田地区）に対応するため、現行ルート・バス停を基本にバス運行を見直す。

(3) 草加市コミュニティバス・路線バスとの接続を検討する

八潮市コミュニティバス（北ルート）を延長し、草加市コミュニティバス（北東ルート）の市民温水プール入口バス停又はそうか公園バス停への接続強化を検討する。

また、八潮市コミュニティバスと草加市コミュニティバスとの乗継割引運賃制度の導入や、円滑に乗継ぐためのダイヤ等について検討する。

5-2 サービス水準の検討

八潮市コミュニティバスのサービス水準は、現行のサービス水準を基本に、乗降調査の結果や事業収支（補助額）等の観点から検討する。

(1) 運行日

運行日は、現行通り毎日運行とする。

(2) 運行時間帯・運行便数

現行の運行時間帯は、北ルートが6:10～21:02、西ルートが7:05～21:30で、毎日同じ運行ダイヤとなっている。再編に当たっては、平日・休日別の利用実績や事業収支（補助額）などを考慮した運行時間帯を検討する。

運行便数については、運行ルート（1運行当り所要時間）や運行車両数等を基に検討する。

(3) 運行ダイヤ

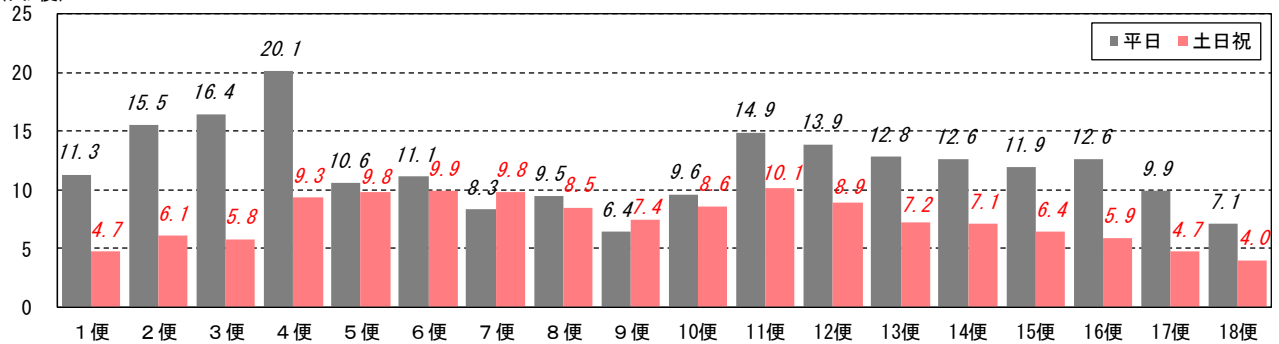
- 北ルート of 温水プール循環（外環以北）は、日中に2時間以上の間隔が空く時間帯があるため、間隔を縮めた運行ダイヤを検討する。
- 西ルート of 大瀬古新田地区は、午前中の診療時間に間に合う時間帯のダイヤが要望されているため、現行より早い時間での運行ダイヤを検討する。

■北ルート・ダイヤ別平均利用者数（平成30年度）

単位：人/便

	1便八潮団地行	2便プール循環	3便八潮団地行	4便プール循環	5便八潮団地行	6便プール循環	7便プール循環	8便八潮団地行	9便八潮団地行	10便プール循環	11便プール循環	12便八潮団地行	13便八潮団地行	14便プール循環	15便八潮団地行	16便プール循環	17便八潮団地行	18便団地往路のみ	平均
時間	6:10	7:10	7:40	8:30	9:20	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	16:40	17:15	17:45	18:45	19:40	20:37	
平日	11.3	15.5	16.4	20.1	10.6	11.1	8.3	9.5	6.4	9.6	14.9	13.9	12.8	12.6	11.9	12.6	9.9	7.1	11.9
土日祝	4.7	6.1	5.8	9.3	9.8	9.9	9.8	8.5	7.4	8.6	10.1	8.9	7.2	7.1	6.4	5.9	4.7	4.0	7.5
全日	9.1	12.4	12.9	16.5	10.3	10.7	8.8	9.2	6.7	9.3	13.3	12.2	11.0	10.8	10.1	10.4	8.2	6.1	10.4

(人/便)

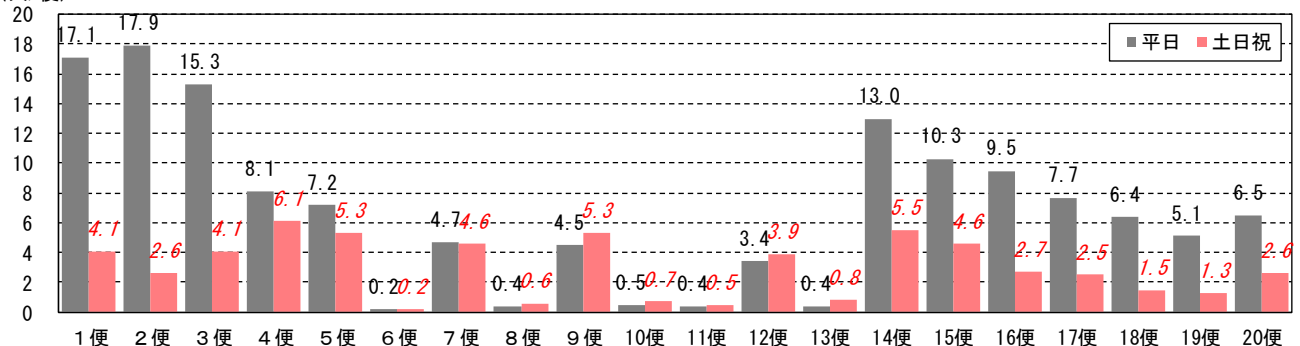


■西ルート・ダイヤ別平均利用者数（平成30年度）

単位：人/便

	1便	2便	3便	4便	5便	6便古新田行	7便中川小学校行	8便八潮駅	9便中川小学校行	10便八潮駅	11便古新田行	12便中川小学校行	13便八潮駅	14便	15便	16便	17便	18便	19便	20便	平均
時間	7:05	7:45	8:25	9:15	10:15	11:15	11:33	12:43	13:10	14:20	14:53	15:11	16:21	17:00	17:40	18:25	19:05	19:50	20:25	21:00	
平日	17.1	17.9	15.3	8.1	7.2	0.2	4.7	0.4	4.5	0.5	0.4	3.4	0.4	13.0	10.3	9.5	7.7	6.4	5.1	6.5	9.2
土日祝	4.1	2.6	4.1	6.1	5.3	0.2	4.6	0.6	5.3	0.7	0.5	3.9	0.8	5.5	4.6	2.7	2.5	1.5	1.3	2.6	4.0
全日	12.8	12.8	11.6	7.5	6.6	0.2	4.6	0.5	4.8	0.6	0.4	3.6	0.5	10.5	8.4	7.3	6.0	4.8	3.8	5.2	7.5

(人/便)



(4) 運賃

運賃は、現行通り 対キロ制（現金：180～270円） とする。

(5) 運行車両

運行車両は、現行通り バス車両3台 とする。

5-3 運行ルート・バス停の検討

八潮市コミュニティバスの再編は、乗降調査の結果等を踏まえ、次のように設定する。

(1) 北ルート

○北ルートは原則現行通りの運行ルート・バス停を基本とする。

○八潮駅～八潮団地区間は、利用者数が多いことから現行のままとする。

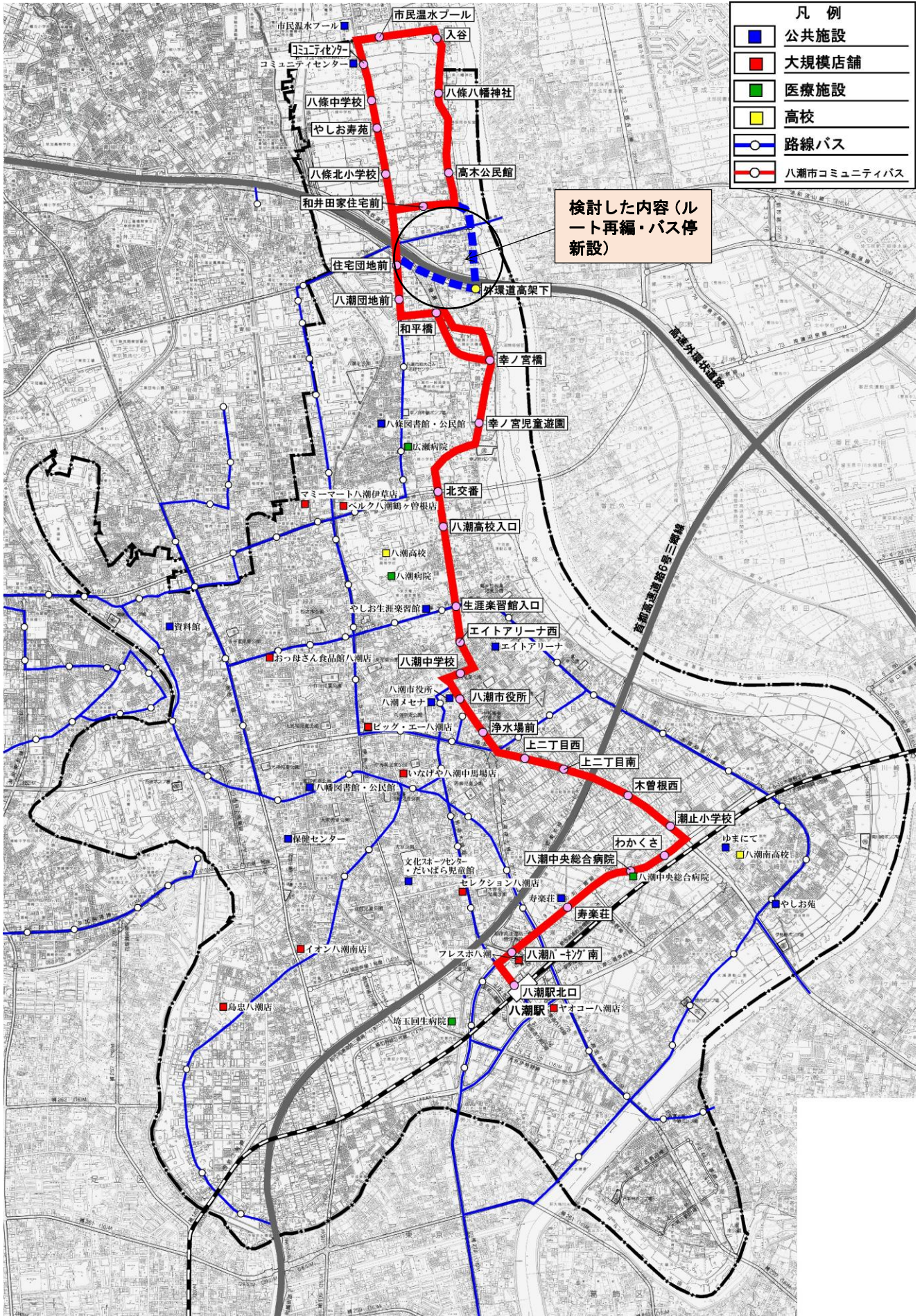
<p>《運行ルートの検討経緯》</p> <p>○八潮団地以北区間（住宅団地前～和井田家住宅前）は、全体として利用が少ないうえ、八潮八条交差点の渋滞により遅延することがあるため、利用が最も少なかった和井田家住宅前（16人/月）を廃止したルート（八条橋西詰交差点南側エリア）を検討した。</p> <p>○しかしながら、ルート変更にあたり道路状況（混雑状況）を調査したところ、八条橋西詰交差点で渋滞が発生して、現行ルートよりも定時制の確保が難しい状況であった。</p> <p>○今後の課題として、(仮称)外環道高架下の新規バス停を設置した場合の需要の有無を調査し、運行時間を調整することが可能であるかを改めて検討する。</p>	
--	--

(2) 西ルート

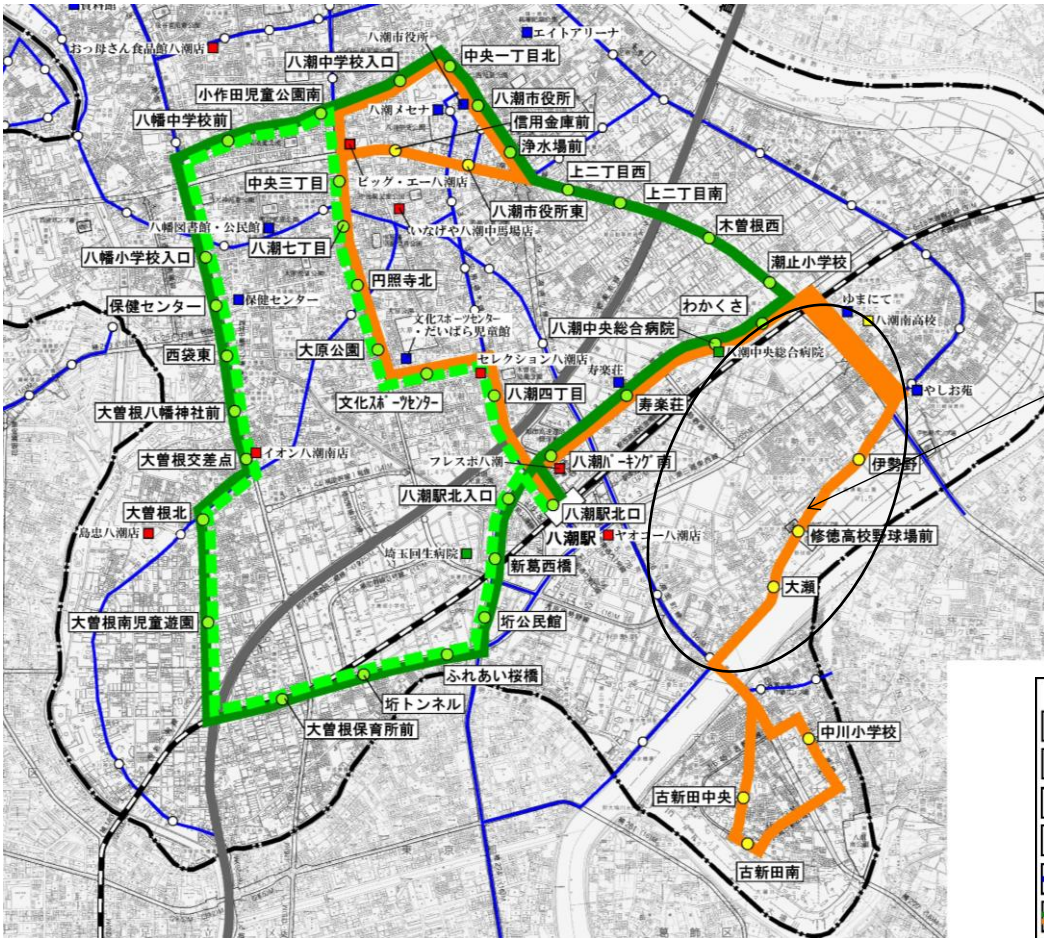
西ルートは北ルートと比較し、利用が少ないため、抜本的なルート変更を検討する。

A案	<p>○八潮駅北口エリアで東西市街地（西部拠点～八潮駅～東部拠点）の連携強化に資するよう、「八潮駅北口～大曾根保育所～八潮市役所～八潮中央総合病院～八潮駅北口」を連絡する両回りの循環型ルートを検討する。</p> <p>○朝時間帯（点線のルート）は、通勤需要に対応するため、市役所周辺のバス停（八潮中学校入口～浄水場前）は経由しないで、八潮駅への速達性を高める。</p> <p>○利用が少ない大正通り入口と潮止橋北のバス停を廃止し、大瀬古新田地区の八潮中央総合病院へのアクセス強化と大瀬地区の新規需要の獲得を図るため、「大瀬古新田地区～八潮中央総合病院～八潮駅北口～八潮市役所」を連絡するルートを検討する。</p>
B案	<p>○現行の西ルートを基本に、新たに大原中学校、埼玉回生病院を經由しつつ、「八潮駅北口～大曾根保育所前～八潮市役所～大原公園～八潮駅北口」を連絡する両回りの循環型ルートを検討する。</p> <p>○朝時間帯（点線のルート）は、通勤需要に対応するため、市役所周辺のバス停（八潮中学校入口～浄水場前）は経由しないで、八潮駅への速達性を高める。</p> <p>○A案と同様に、利用が少ない大正通り入口と潮止橋北のバス停を廃止し、大瀬古新田地区の八潮中央総合病院へのアクセス強化と八潮駅～八潮市役所間の接続強化を図るよう、「大瀬古新田地区～八潮中央総合病院～八潮駅北口～八潮市役所」を連絡するルートを検討する。</p>

【北ルート見直し案】



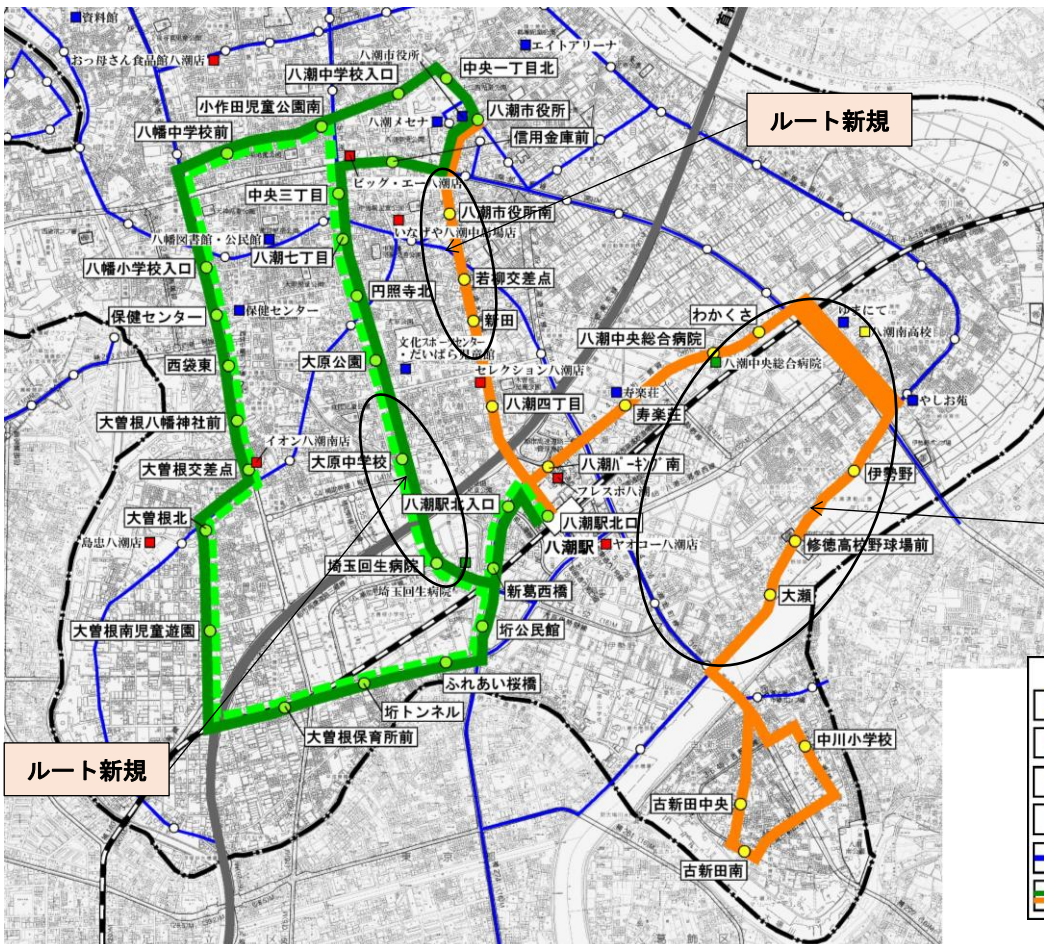
【西ルート・見直しA案】



ルート新規

凡例	
	公共施設
	大規模店舗
	医療施設
	高校
	路線バス
	八潮市コミュニティバス

【西ルート・見直しB案】



ルート新規

ルート新規

ルート新規

凡例	
	公共施設
	大規模店舗
	医療施設
	高校
	路線バス
	八潮市コミュニティバス

5-4 運行評価（継続・見直し（再編・廃止））の手順

八潮市地域公共交通協議会は、八潮市コミュニティバスの毎年度の利用状況・収支状況（計画最終年度に行う八潮市コミュニティバス利用者アンケート調査結果も含む）に基づき、八潮市コミュニティバスの運行評価を行い、継続・見直し（再編・廃止）の判断をする。

持続可能な八潮市コミュニティバスを実現するためには、市民、交通事業者、行政の三者がそれぞれの役割を認識しつつ、市民（地域、民間企業等）が「自分たちのための交通」と考え、積極的に利用することが重要であるため、運行継続条件の達成に向けて連携・協働により取り組む。

なお、運行ルート上のバス停移設や、便数の変更がないダイヤ調整など軽微な変更については、関係者と調整し実施する。

●運行評価の方法

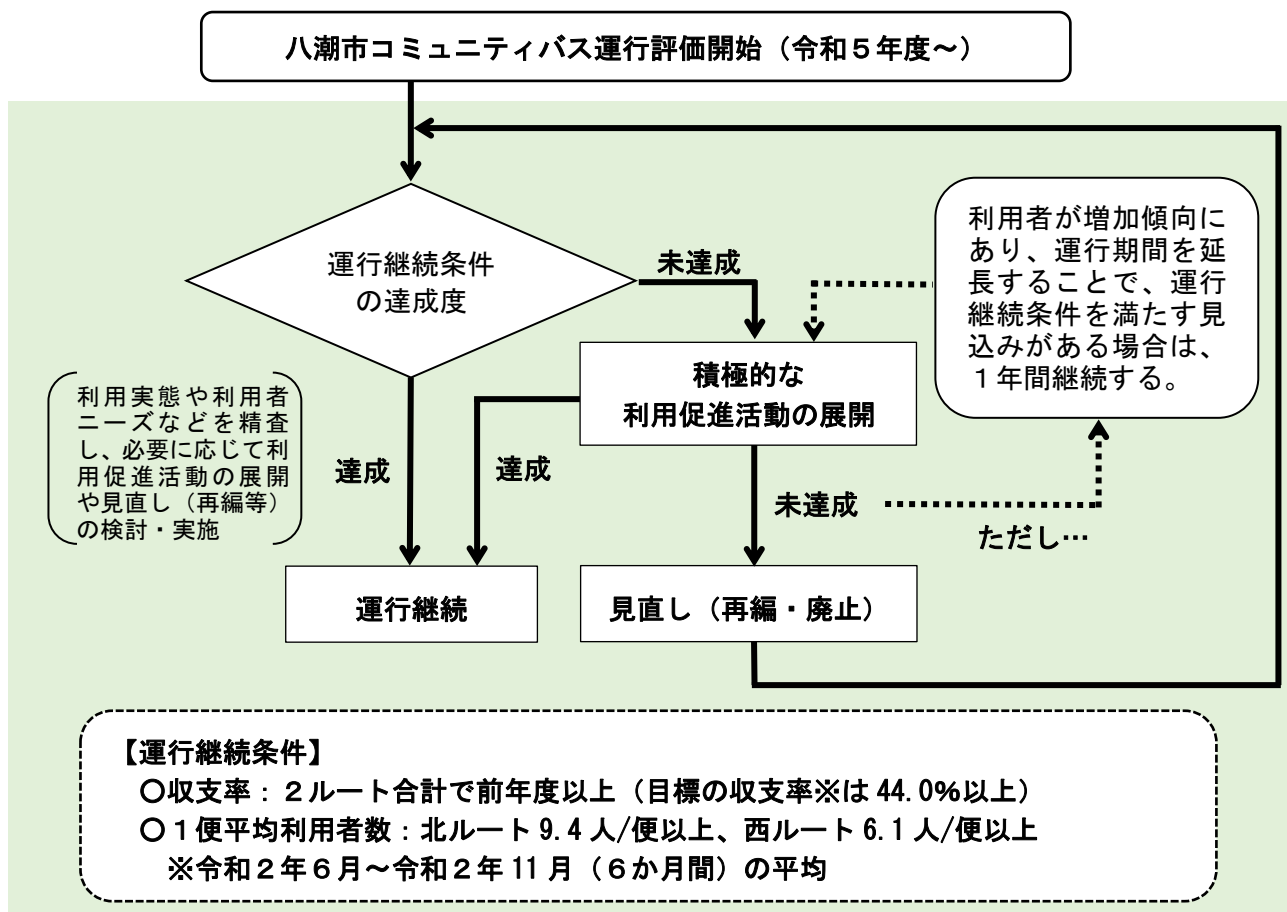
①継続

運行継続条件である指標のうち、どちらか1つの指標を満たす場合は、「運行継続」と判断し、運行状況の把握・運行評価を継続する。

②見直し（再編・廃止）

運行継続条件である指標のうち、どちらの指標も満たさない場合は、積極的な利用促進活動を展開する。利用促進活動を展開しても、運行継続条件である指標を2年続けて満たさない場合は、見直し（再編・廃止）を検討する。

ただし、運行継続条件を満たしていない場合においても、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、運行期間を延長することにより利用者が増加する可能性が見込める場合には、運行継続とする。



參考資料編

6 八潮市の地域特性と公共交通の現状把握

※令和元年度八潮市地域公共交通網形成計画調査報告書の抜粋のため、基本的な修正は行わないものとする。

6-1 上位・関連計画の整理

(1) 第5次八潮市総合計画

【計画期間】 平成28年度～令和7年度

【まちづくりの基本理念】 共生・協働のまちづくり、安全・安心なまちづくり

【将来都市像】 住みやすさナンバー1のまち 八潮

【将来目標人口】 2025年度：10万人

【分野別将来目標】

- ・教育文化・コミュニティ：学びとつながりを大切にするまち
- ・健康福祉・子育て：誰もがいきいきと暮らせるまち
- ・防災・防犯・消防・救急：誰もが安全で安心して暮らせるまち
- ・産業経済・観光：地域の特性を活かしたにぎわいと活力のあるまち
- ・都市基盤・環境：快適でやすらぎと潤いのあるまち
- ・新公共経営：協働で経営する自主・自律のまち

【第3節 快適で便利な道路・交通網づくり（道路・交通）】

[基本目標]

：市内の主要な幹線道路や生活道路等の整備や改良が進むとともに、公共交通が整備され、誰もが快適で便利に移動することができています。

[施策の内容（公共交通関連のみ）]

○つくばエクスプレスの利便性の向上

沿線自治体と連携を図りながら、つくばエクスプレスの輸送力の強化を促進します。

○地下鉄8号線の導入の促進

地下鉄8号線が本市を南北に縦断するルートで早期に導入されるよう、関係機関等とともに積極的に活動します。

○バス交通の充実

誰もが快適で便利な交通網を整備するため、利用者のニーズを把握しながら、コミュニティバスを含むバス路線網の充実に努めます。また、高齢者や障がいのある人等に配慮したノンステップバス*の導入を促進します。

※地下鉄8号線：平成12年1月の運輸政策審議会答申第18号で示された東京メトロ有楽町線の延伸（亀有～野田市）路線のこと。「東京8号線」「高速鉄道東京8号線」ともいう。

(2) 八潮市都市計画マスタープラン

【計画期間】 平成 21 年度～令和 7 年度

【将来人口】 平成 27 年から令和 7 年まで：10 万人

【目標とする都市像】

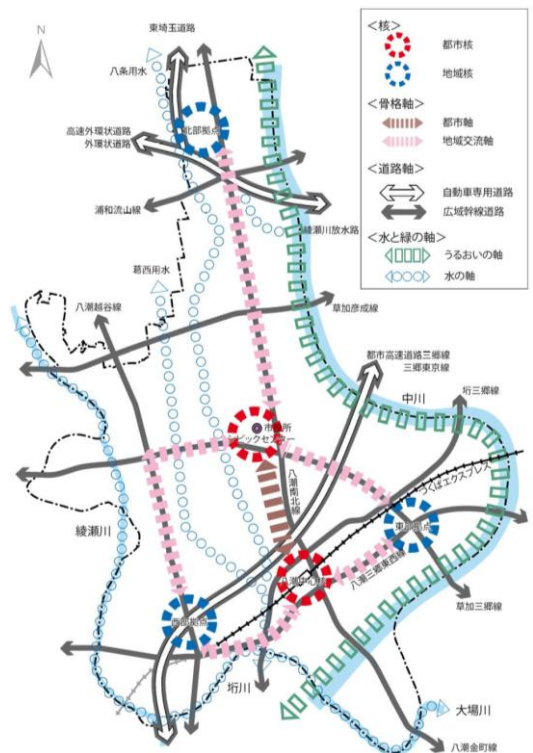
安心して暮らせる 快適都市 やしお

【都市づくりの基本方針】

- 安全で“住みよい”都市づくり
- 人にも自然にも“やさしい”都市づくり
- 個性を活かした“美しい”都市づくり
- にぎわいや活気にあふれ“活動しやすい”都市づくり



■将来都市構造図



【道路・交通システムの整備方針（快適な公共交通システムの形成）】

だれもが利用しやすい快適な公共交通システムを構築することにより、公共交通機関の利用を促進し、自動車交通量の抑制を図るとともに環境にやさしい都市づくりを進めます。

○鉄道利便性の向上

つくばエクスプレスの利便性の向上を図るため、八潮駅始発列車の増発及び快速列車の停車について、首都圏新都市鉄道株式会社に要請するとともに、沿線自治体との連携により、東京駅への延伸を促進します。

また、駅と首都高速 6 号三郷線八潮パーキングエリアが近接する貴重な特性を活かし、さらなる連携強化を図ります。

さらに、南北方向の交通利便性の向上を図るため、地下鉄 8 号線の延伸については関係機関とともに、積極的な活動を展開します。

○バス利用の促進

環境対策や高齢者等の交通手段を確保するため、快適なバス停の整備や市街地整備と併せ、バスルートの充実・見直しを促進します。また、先進的なバス運行システムの導入を検討します。

○だれもが利用しやすい交通施設の整備

公共交通機関は、高齢者や障がいのある方の活動を支える重要な移動手段であることから、だれもが利用しやすい交通施設を目指して、バス停車帯やスロープなどの設置を関係機関と協力して推進します。

(3) 第10次八潮市交通安全計画

【計画期間】 平成29年度～令和2年度

【目標】

- 事故件数：令和2年までに年間の人身交通事故件数（高速隊の分を除く）を320件以下とし、自転車の関係する交通事故死傷者数は100人以下とします。
- 死者数：年間の交通事故死者数を0人とします。



【人と環境にやさしい道路交通環境の整備→交通需要マネジメントの促進】

交通事故の発生要因となる交通渋滞の解消や高齢者の移動手段を確保するため、路線バス等を中心とした公共交通の充実を図り、過度に依存した自家用乗用車の利用の抑制に努めます。

○バスの利便性向上

バスの利便性向上を図るため、利用状況や道路環境などを総合的に判断しルートやダイヤの見直しをバス事業者に要望します。

○バス停留所の環境整備

安全で快適にバスを利用できるようにするため、バス停留所の上屋などの環境整備をバス事業者に要望します。

○ノンステップバス*の導入促進

高齢者や障がいのある人が安全で快適にバスを利用できるようにするため、ノンステップバス*を購入するバス事業者に対し、購入費の一部を補助しノンステップバス*の導入を促進します。

(4) 第7期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

【計画期間】 平成30年度～令和2年度

【基本理念】 健康でいきいきと安心して暮らしていただける地域をめざして

【計画目標】

- 高齢者が健康で生きがいをもって、住み慣れた地域で安全・安心に暮らせるまち
→地域包括ケアシステムの推進
介護予防・日常生活支援総合事業の充実
福祉車両・車いす貸出（社会福祉協議会）
- 市民一人ひとりが地域ぐるみで助け合い、支え合えるまち
→地域福祉活動への参加の促進
長寿祝金事業の実施（長寿祝金を見直すとともに、運転免許証を返納した高齢者などの交通手段の確保策を検討）
- 住み慣れたところで、親しい人たちに見守られながら尊厳をもって人生の最期を迎えることができるまち

(5) 第6次八潮市障がい者行動計画・第5期八潮市障がい福祉計画

【計画期間】 平成30年度～令和2年度

【基本理念】 ともに生き、ともに支え合う地域づくり

【基本目標】

- 自立した地域生活の維持および継続
- 社会参加を進めるための体制の充実
- 障がい児の健やかな育成を支援する体制の充実
- 地域で支え合い、安心して暮らせる環境づくりの推進
 - 公共交通機関の充実（ノンステップバス*の導入促進、バス路線網の充実、バス停環境の計画的な整備の推進）
 - 移動支援の充実（移動支援事業の充実、各種支援制度の広報の充実、福祉車両の貸出しの推進、福祉タクシー利用料金・自動車燃料費の助成、福祉有償運送の促進）
- 利用者本位のサービスの実現

(6) 八潮市産業経済振興基本計画 第2次前期計画

【計画期間】 平成28年度～令和2年度

【基本的な施策（7つの基本的な施策に掲げるもののほか産業の振興を図る）】

→産業の振興のために必要と認めるもの（公共交通機関の整備促進）

- 地下鉄8号線導入促進事業の継続実施
- 路線バス網の継続的な整備促進

(7) 第2次八潮市環境基本計画

【計画期間】 平成28年度～令和7年度

【望ましい環境像】 水と緑にふれあえる、環境にやさしいまち八潮

【環境目標】

- 自然環境分野：きれいな水と豊かな緑に恵まれ、人と自然がともに生きるまち
- 生活環境分野：健康で安心した生活を送ることができるまち
- 快適環境分野：快適でいつでも住み続けたいと思うまち
- 地球環境分野：温室効果ガスやごみの排出量が削減された地球環境を守るまち
- 環境活動分野：みんなが環境への思いやりを持ち環境活動に参加するまち

【方針：低炭素型まちづくりの推進】

[施策の方向：公共交通機関の利用促進]

○コミュニティバスの運行

八潮駅へのアクセス、交通空白地域の解消、公共交通機関の利用促進を図り、マイカーの使用を抑制するため、コミュニティバスの運行を充実させます。

○道路交通の円滑化

道路交通の円滑化を図るため、交通案内システム等の導入促進や総合的な駐車対策を推進するとともに、道路交通情報や渋滞情報の提供を行います。

○路線バス網の整備促進

路線バス網の充実を図るため、バス事業者に要望します。

○地下鉄8号線の導入促進

つくばエクスプレスに加え、市内を南北に縦断する新たな公共交通機関となる地下鉄8号線の早期導入に向けて、関係機関に要望します。

6-2 八潮市の現況把握

(1) 地形的特性

八潮市は埼玉県東南部の、東京都心から約 15 km の位置にあり、中川低地の南側に位置し、中川と綾瀬川にはさまれた自然堤防と後背湿地からなる面積 18.02 km² の平坦な地域である。

かつては江戸の穀倉地帯であり、米や野菜の生産を中心とする純農村として栄え、その後、首都圏における人口と産業の集中の影響を受け、工場や住宅の立地が進み、人口も順調に増加した。

■八潮市の位置



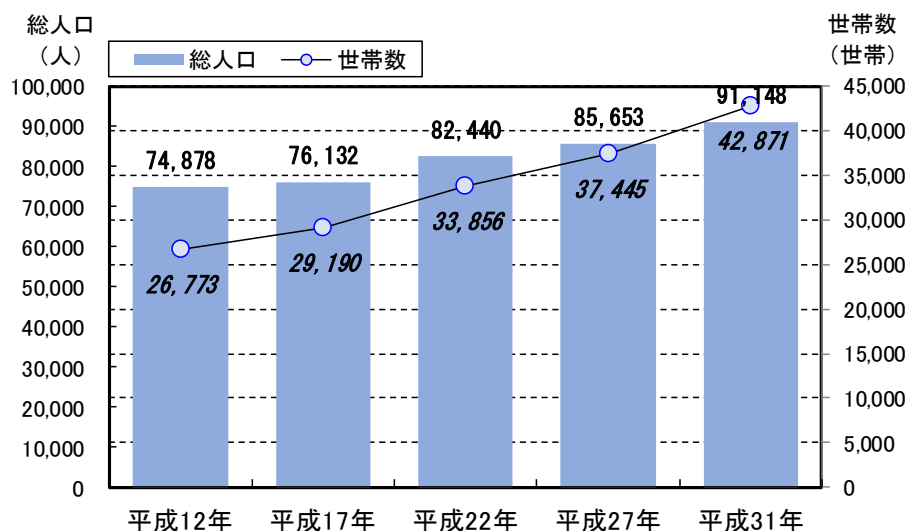
(2) 人口動向

① 総人口・世帯数

総人口は、昭和 30 年代の工場誘致条例の制定や東武伊勢崎線と営団地下鉄（現東京メトロ）日比谷線との相互乗り入れによる都心との直結等を契機として緩やかに増加した。その後、昭和 40 年代後半に入って急速に増加し、以降は安定していたが、平成 17 年のつくばエクスプレスの開通以降は再び増加に転じている。

平成 31 年 4 月 1 日現在、総人口は 91,148 人、総世帯数は 42,871 世帯となっており、総世帯数が年々増加傾向にある一方、一世帯当たり人員は減少している。

■総人口・世帯数の推移

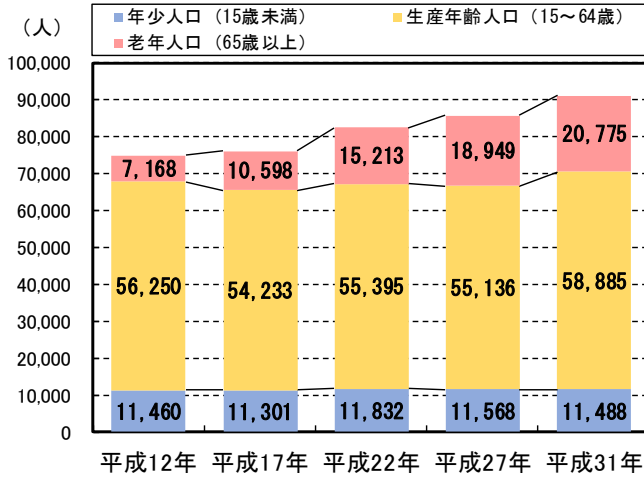


出典：住民基本台帳（各年 4 月 1 日現在）

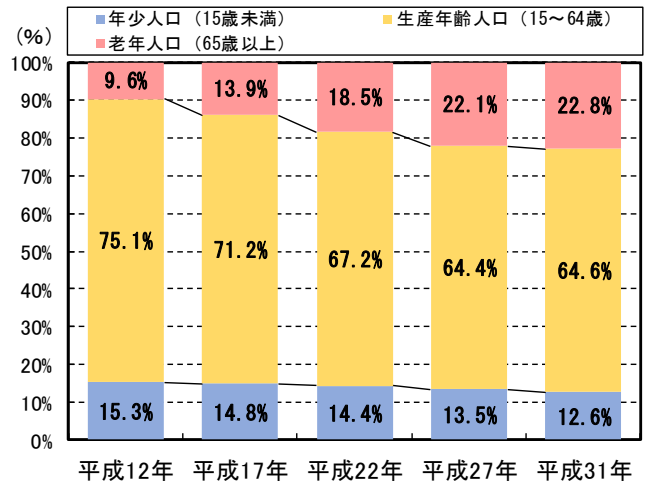
②年齢3区分別人口

平成31年4月1日現在、年齢3区分別人口構成比は年少人口が12.6%、生産年齢人口が64.6%、老年人口が22.8%となっており、高齢化率は平成12年が9.6%に対し、平成31年が22.8%と上昇しており、全国(26.7%)、埼玉県(24.8%)と比べ低い水準であるものの、高齢化は進んでいる。

■年齢3区分別人口の推移



■年齢3区分別構成比の推移



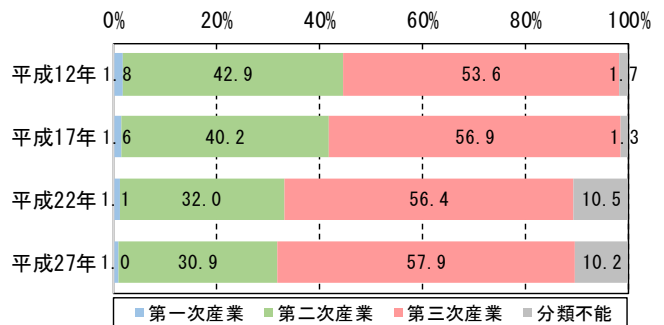
出典：住民基本台帳（各年4月1日現在）

(3) 産業動向

八潮市の産業は、昭和35年の工場誘致条例の施行を契機に、かつての農業主体の産業構造から大きく変化してきた。

農業を主体とした第1次産業人口と、製造業等を主体とした第2次産業人口が減少し、サービス業を主体とした第3次産業人口はつくばエクスプレス八潮駅の開業に伴う商業集積が進み、増加している。

■産業別人口比率の推移



出典：国勢調査*

(4) 土地利用状況

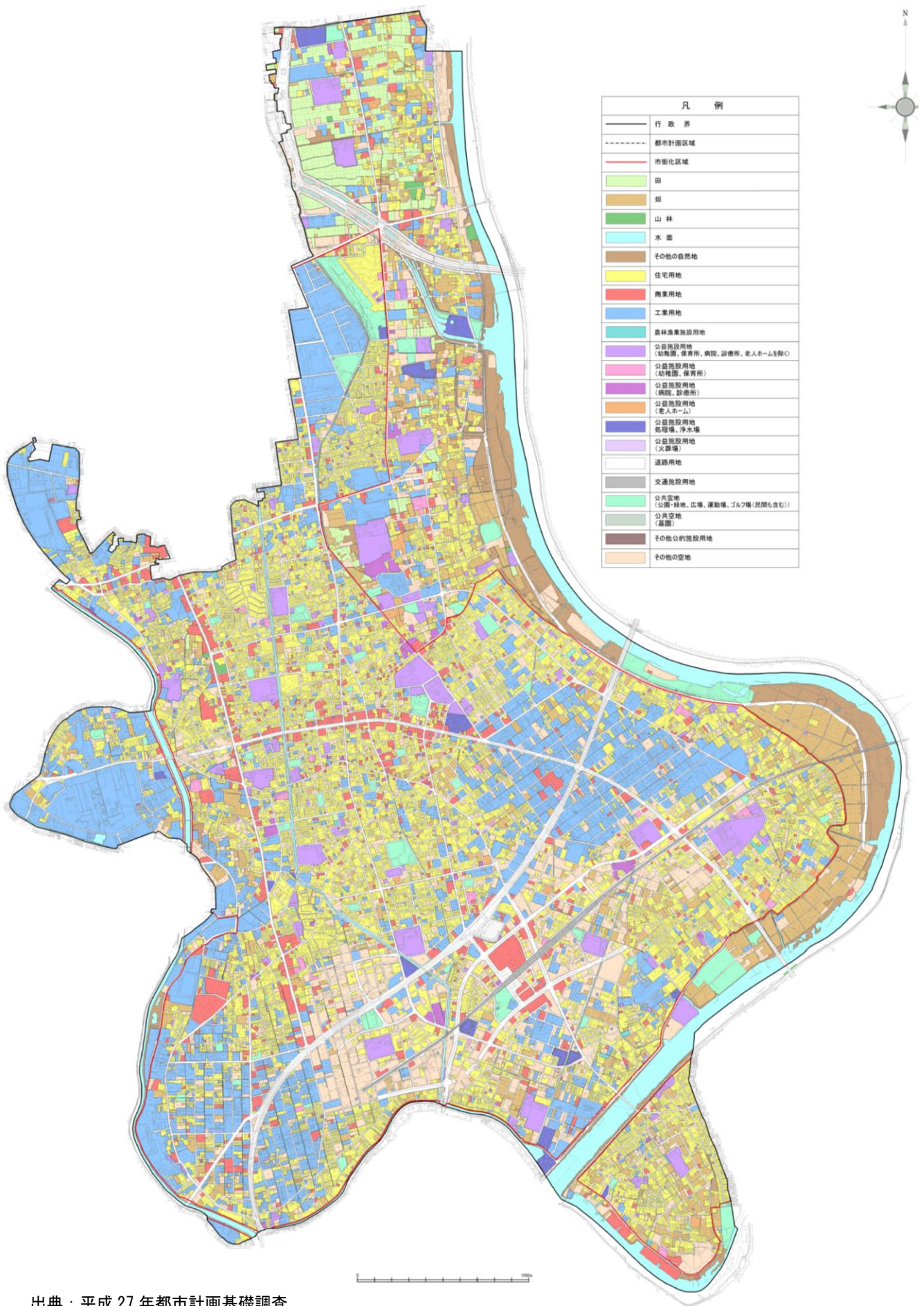
土地利用現況は、平成27年都市計画基礎調査によると、農地等の自然的土地利用が18.1%、住宅用地や商業用地等の都市的土地利用が81.9%となっている。

平成22年から平成27年にかけて、都市的土地利用が2.0%増加し、その主な内訳は道路用地が0.8%、商業用地、工業用地、公共空地がそれぞれ0.7%増加しており、自然的土地利用が2.0%減少している。

■土地利用現分類別面積

土地利用分類	平成22年		平成27年		
	面積 (ha)	割合	面積 (ha)	割合	増減
自然的土地利用	361.52	20.1%	325.68	18.1%	-2.0%
農地 (田・畑)	173.16	9.6%	162.60	9.0%	-0.6%
山林	2.03	0.1%	1.93	0.1%	0.0%
水面	91.49	5.1%	99.89	5.5%	0.5%
その他の自然他	94.84	5.3%	61.26	3.4%	-1.9%
都市的土地利用	1441.48	79.9%	1476.32	81.9%	2.0%
住宅用地	447.70	24.8%	457.68	25.4%	0.6%
商業用地	61.89	3.4%	74.59	4.1%	0.7%
工業用地	309.31	17.2%	321.19	17.8%	0.7%
農林漁業施設用地	0.00	0.0%	0.99	0.1%	0.1%
公益施設用地	84.71	4.7%	92.20	5.1%	0.4%
公共空地	29.15	1.6%	41.91	2.3%	0.7%
道路用地	283.62	15.7%	297.59	16.5%	0.8%
交通施設用地	6.95	0.4%	5.70	0.3%	-0.1%
その他の公的施設用地	0.00	0.0%	0.00	0.0%	0.0%
その他の空地	218.15	12.1%	184.47	10.2%	-1.9%
合計	1803.00	100.0%	1802.00	100.0%	

■土地利用現況図



出典：平成 27 年都市計画基礎調査

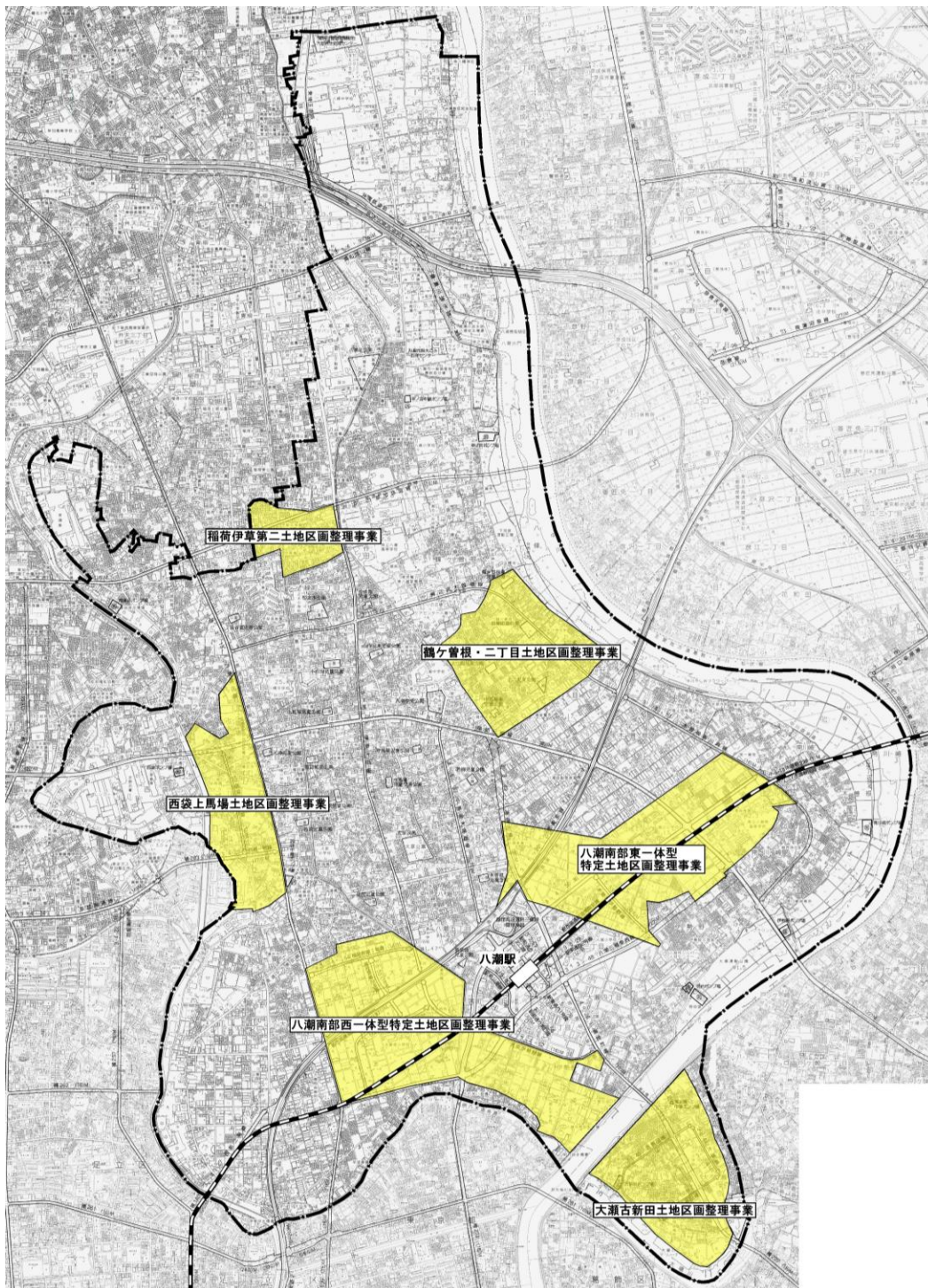
(5) 主な都市基盤整備の進捗状況

① 土地区画整理事業

市内では、6 地区で土地区画整理事業を推進している。

■ 施行中の土地区画整理事業（平成 31 年 4 月 1 日現在）

事業名	街路築造率	事業施行期間	施行面積	計画人口
鶴ヶ曾根・二丁目土地区画整理事業	99.0%	昭和 57 年度～令和 6 年度	50.2ha	4,500 人
稲荷伊草第二土地区画整理事業	99.5%	昭和 58 年度～令和 6 年度	18.1ha	1,600 人
大瀬古新田土地区画整理事業	55.1%	昭和 63 年度～令和 13 年度	52.3ha	6,300 人
西袋上馬場土地区画整理事業	16.9%	平成 8 年度～令和 4 年度	39.0ha	3,900 人
八潮南部東一体型特定土地区画整理事業	47.4%	平成 9 年度～令和 6 年度	88.1ha	9,100 人
八潮南部西一体型特定土地区画整理事業	77.1%	平成 9 年度～令和 11 年度	99.1ha	10,400 人



②八潮市役所新庁舎建設

新庁舎の建設は、シビックセンター（市役所周辺の公共・文化施設等が集積する地区）としての拠点形成に寄与するよう、平成 30 年度に策定された基本計画に基づき、基本設計・実施設計を経て、令和 5 年度（2023 年度）までに整備することを目標に進められている。

○建設場所：現庁舎敷地

○新庁舎の規模：約 15,000m²を基本

■想定事業スケジュール

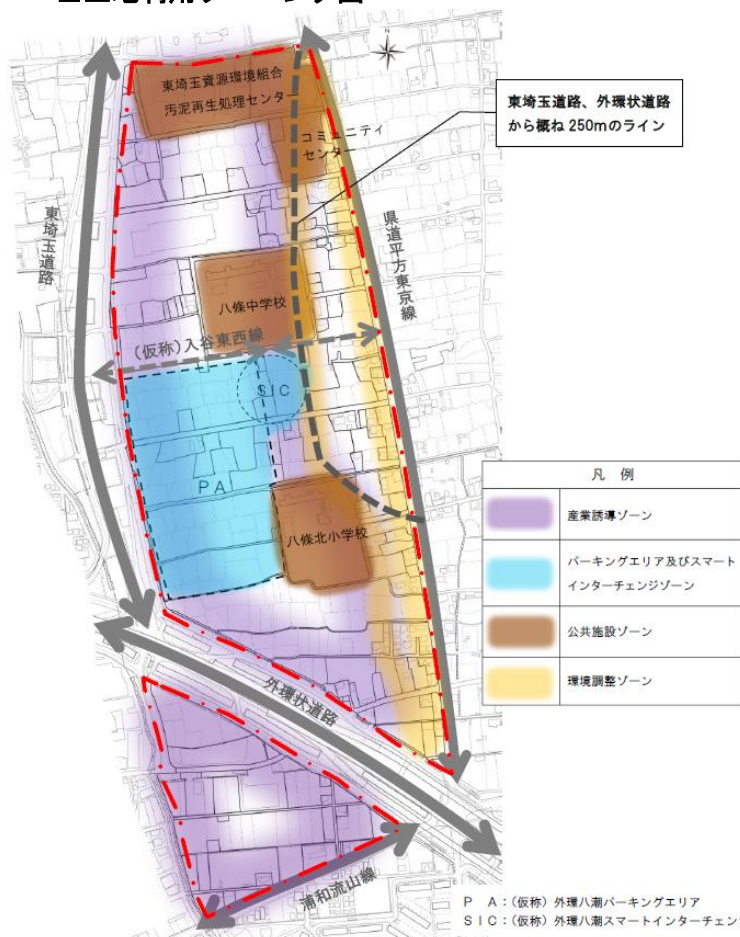
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
基本設計 実施設計	→					
庁舎建設 工事			→			
解体・ 外構工事					新庁舎オープン	→

出典：八潮市庁舎建設基本計画

③北部拠点まちづくり推進地区

北部拠点まちづくり推進地区は、北部拠点の形成に向けて、「生活環境や教育環境などに配慮した緑豊かな産業拠点づくり」をまちづくりの目標に掲げ、(仮称) 外環八潮パーキングエリアの整備と併せ、(仮称) 外環八潮スマートインターチェンジの整備や流通業務施設などの立地の誘導を目指している。

■土地利用ゾーニング図

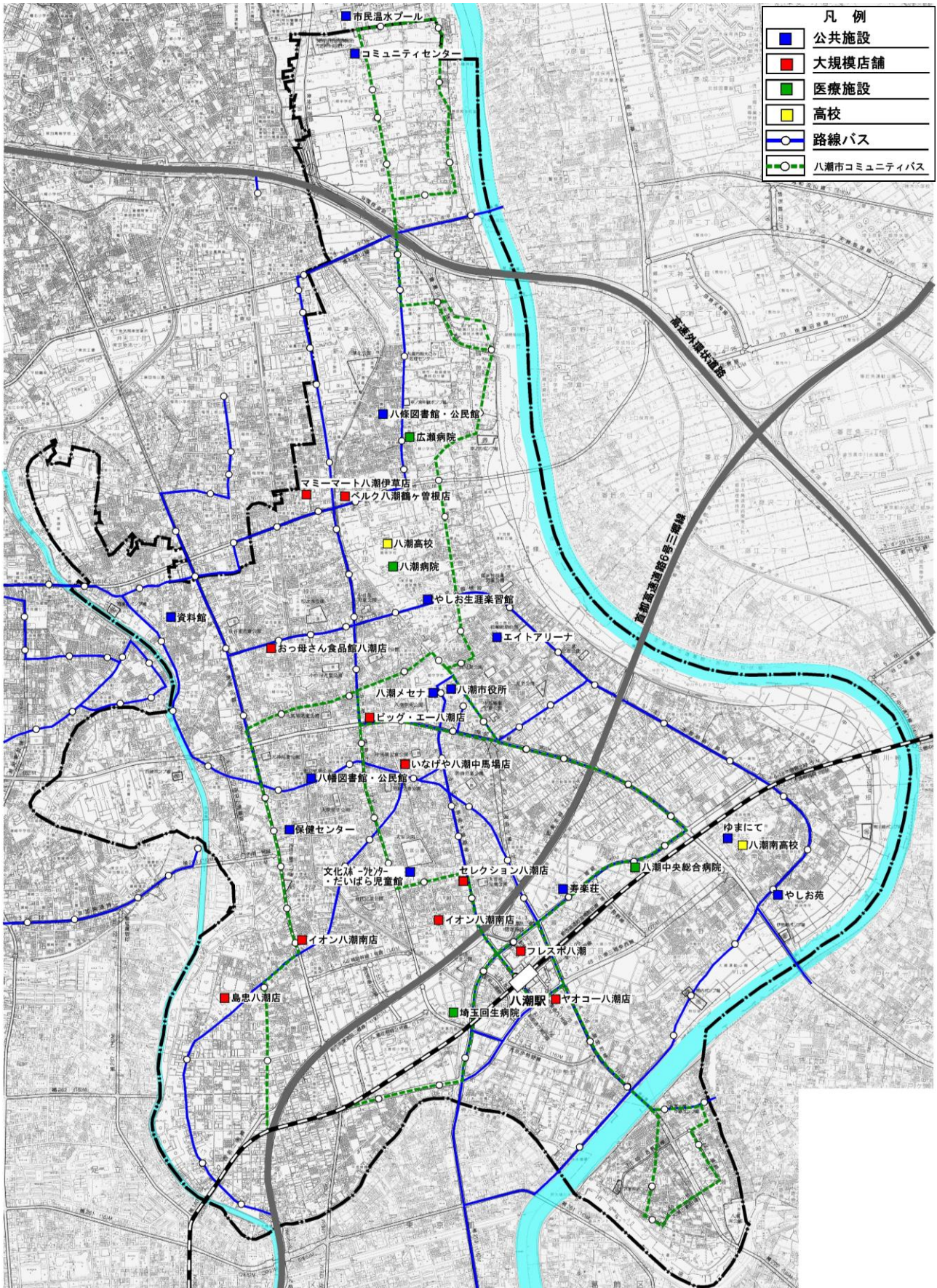


出典：北部拠点まちづくり推進地区まちづくり計画
(平成 28 年 7 月)

(6) 主要施設分布状況

主要施設については、八潮駅周辺や市役所周辺等に商業施設や公共施設などが集積しているものの、市全域に分散しており、これら主要施設は、公共交通沿線に立地している。

■主要施設分布図

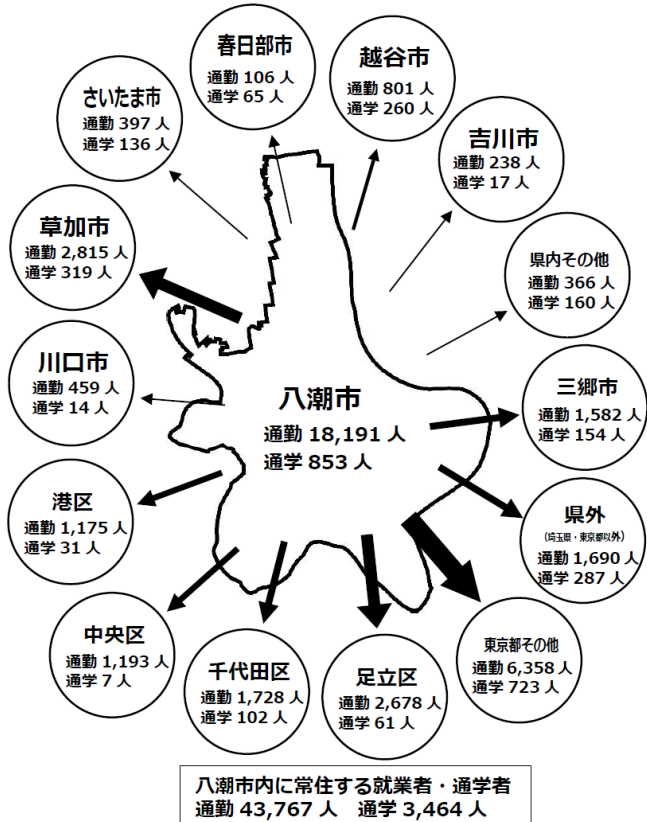


(7) 通勤・通学流動

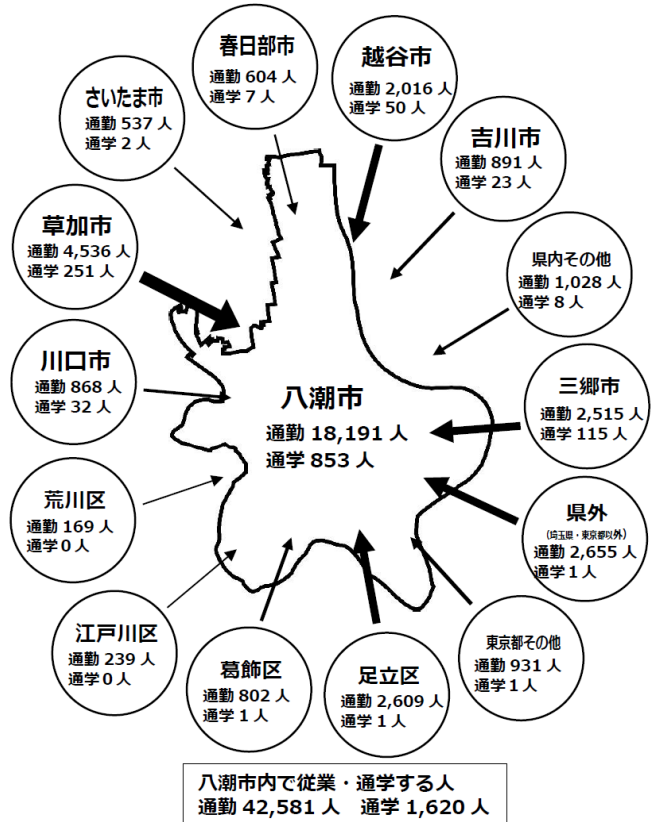
平成 27 年国勢調査*によると、八潮市に常住する就業者は 43,767 人、通学者は 3,464 人となっており、そのうち、就業者の 41.6%、通学者の 24.6%は市内で通勤・通学しており、市外は草加市や足立区、千代田区など東京都特別区等へ通勤・通学している。

一方、八潮市内で就業する人は 42,581 人、通学する人は 1,620 人となっており、草加市や三郷市、越谷市、足立区からの通勤・通学となっている。

■八潮市から従業地別の通勤通学者の人数



■八潮市への常住地別の通勤通学者の人数



※「通勤」は 15 歳以上通勤者、「通学」は 15 歳以上通学者の人数を指している。

出典：平成 27 年国勢調査*

6-3 公共交通に関する現状

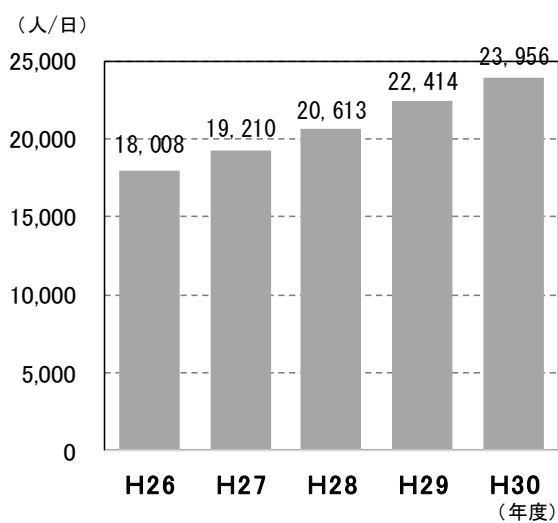
(1) 鉄道

八潮市内の鉄道は、つくばエクスプレスの八潮駅のみで、1日平均乗車人員は平成30年度が23,956人/日で、年々増加傾向となっており、直近5年間の伸び率は1.33倍と増加している。

つくばエクスプレスでは朝ラッシュ時間帯における混雑緩和対策として、令和2年春に「25本化事業※」の実施を予定しており、さらに、2030年代前半に「8両編成化事業」のサービスを開始予定となっている。

※朝ラッシュ1時間の最混雑区間の運行本数を現在の22本から25本に増強する事業

■八潮駅の1日平均乗車人員の推移



出典：平成30年版統計やしお



▲八潮駅南口のりば



▲八潮駅北口のりば

(2) 路線バス

① 運行便数

路線バスは、東武バスセントラル(株)、京成バス(株)及び朝日自動車(株)の3社により、八潮駅と草加駅を起終点に、26系統(北口方面16系統、南口方面10系統)が運行している。

運行便数は八潮駅周辺や、草加駅と伊草団地を結ぶ区間など1日50本以上の運行エリアが多いものの、八條地区や大瀬古新田地区などで10本未満の区間も存在している。

② 公共交通空白・不便地域

「バスサービスハンドブック(土木学会)」によると、無理なく歩ける距離は健常者で300m、高齢者で100mとされている。

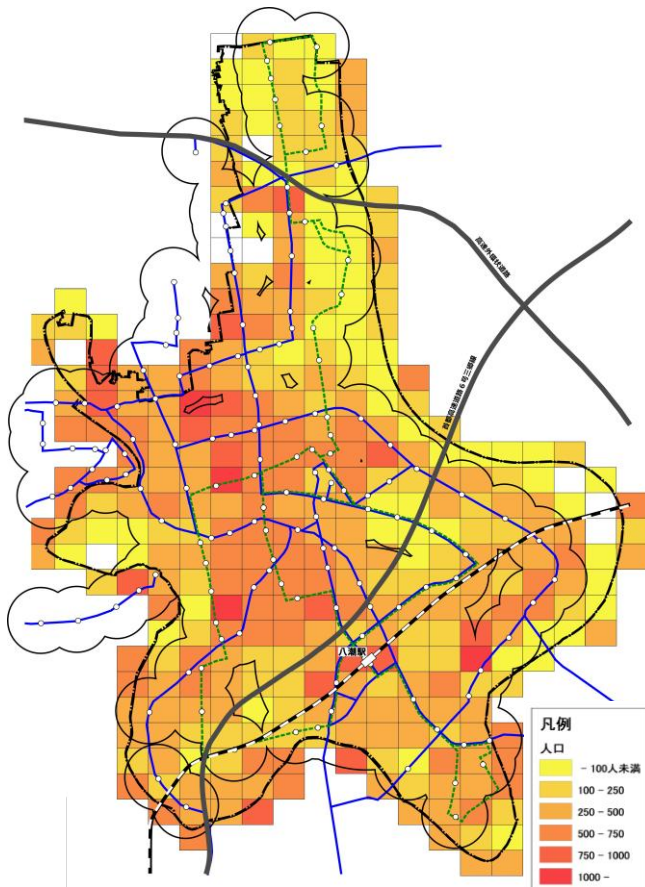
八潮市における公共交通空白・不便地域(鉄道駅より半径1km以遠、バス停より半径300m以遠)は、北部地域(八條)や西袋、古新田など一部地域で公共交通空白・不便地域が複数箇所存在している。

■ 抵抗を感じない距離

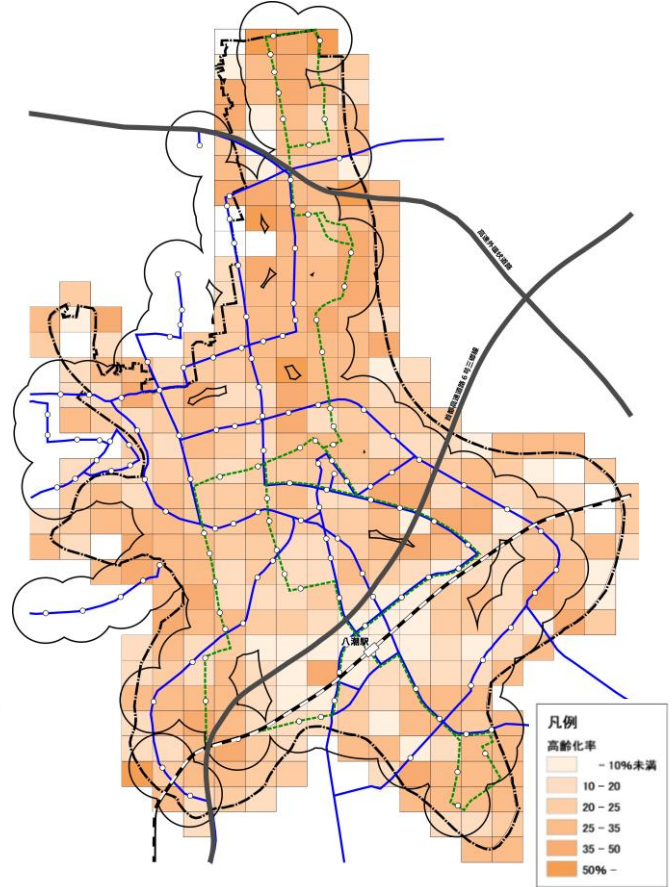
条件	一般的な人 歩行速度 80m/分	高齢者等 歩行速度 40m/分
90%の人が抵抗感なし(約3.5分)	300m	100m
大きな荷物がある(約2分)	150m	80m

出典：バスサービスハンドブック(土木学会)

■ 公共交通利用圏域×人口 250mメッシュ*

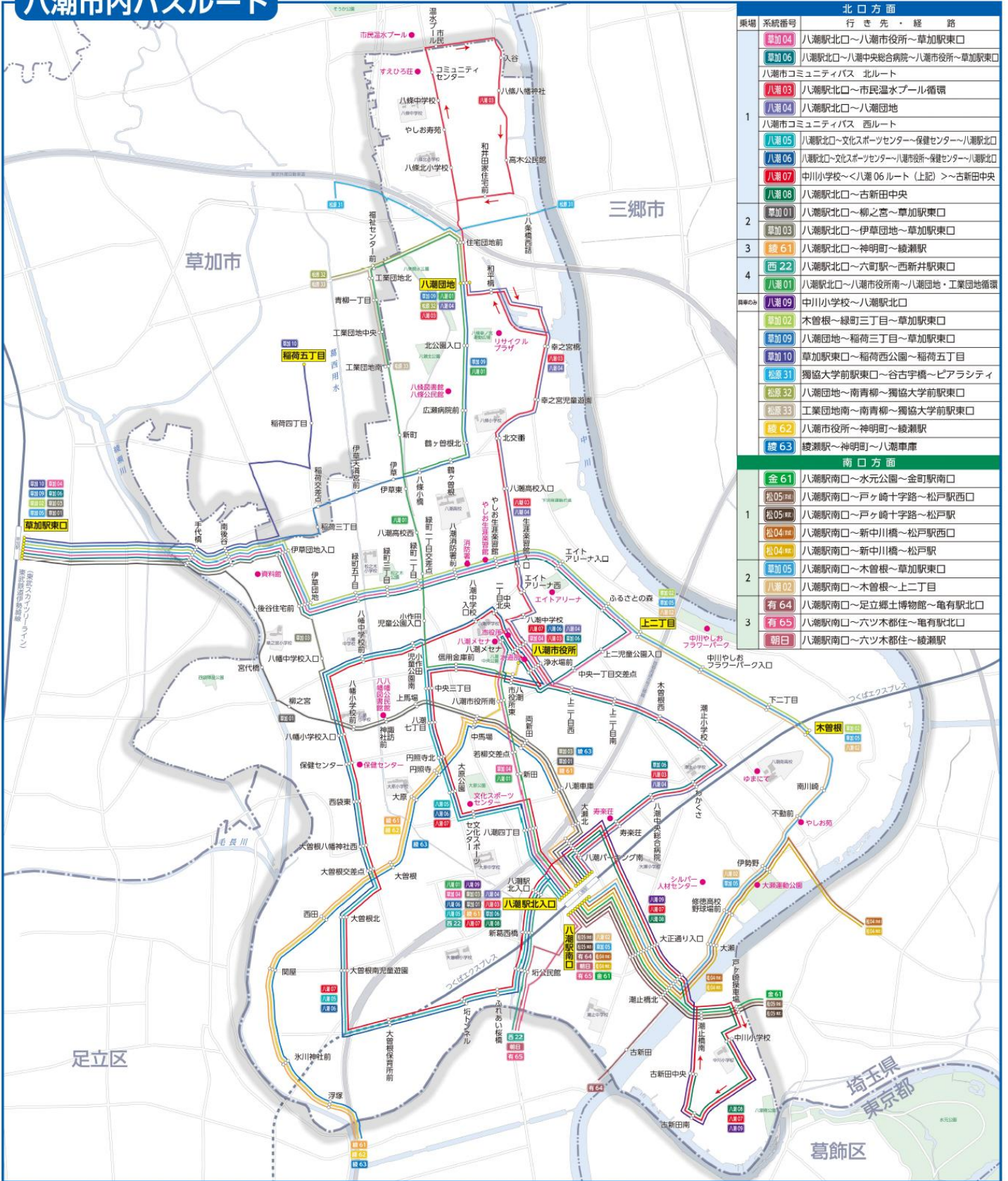


■ 公共交通利用圏域×高齢化率 250mメッシュ*



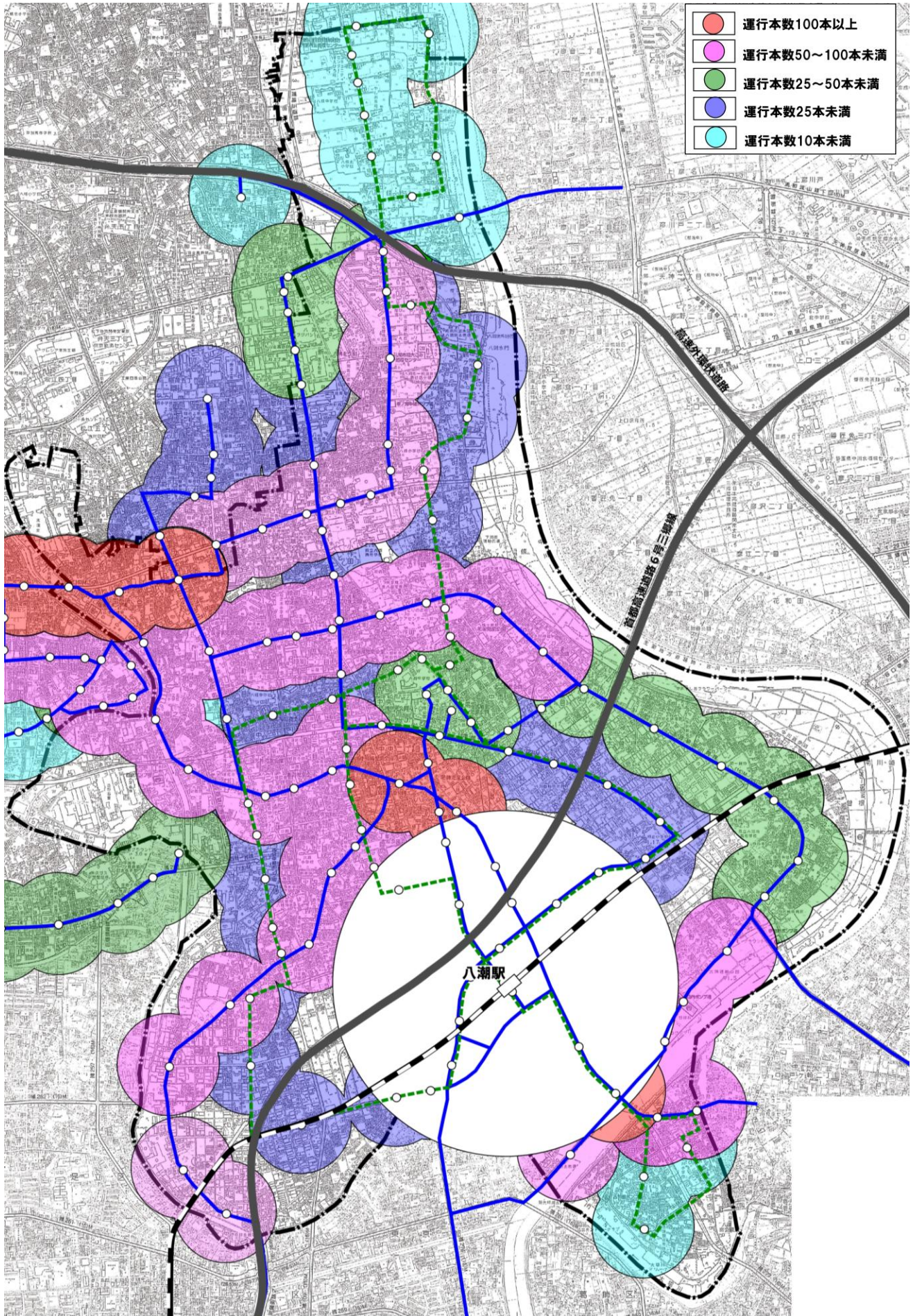
資料：人口 250mメッシュ、高齢化率 250mメッシュは平成 27 年国勢調査

八潮市内バスルート



北口方面	
乗場	系統番号 行き先・経路
1	草加04 八潮駅北口～八潮市役所～草加駅東口
	草加06 八潮駅北口～八潮中央総合病院～八潮市役所～草加駅東口
	八潮市コミュニティバス 北ルート
	八潮03 八潮駅北口～市民温水プール循環
	八潮04 八潮駅北口～八潮団地
	八潮市コミュニティバス 西ルート
	八潮05 八潮駅北口～文化スポーツセンター～保健センター～八潮駅北口
	八潮06 八潮駅北口～文化スポーツセンター～八潮市役所～保健センター～八潮駅北口
2	八潮07 中川小学校～八潮06ルート(上記)～古新田中央
	八潮08 八潮駅北口～古新田中央
	草加01 八潮駅北口～柳之宮～草加駅東口
	草加03 八潮駅北口～伊草団地～草加駅東口
3	綾61 八潮駅北口～神明町～綾瀬駅
	西22 八潮駅北口～六町駅～西新井駅東口
4	八潮09 八潮駅北口～八潮市役所南～八潮団地・工業団地循環
	八潮01 中川小学校～八潮駅北口
南口方面	草加02 木曾根～緑町三丁目～草加駅東口
	草加09 八潮団地～稲荷三丁目～草加駅東口
	草加10 草加駅東口～稲荷西公園～稲荷五丁目
	松原31 獨協大学前駅東口～谷古宇橋～ピアラシティ
	松原32 八潮団地～南青柳～獨協大学前駅東口
	松原33 工業団地南～南青柳～獨協大学前駅東口
	綾62 八潮市役所～神明町～綾瀬駅
	綾63 綾瀬駅～神明町～八潮車庫
	金61 八潮駅南口～水元公園～金町駅南口
	松05 八潮駅南口～戸ヶ崎十字路～松戸駅西口
	松05 八潮駅南口～戸ヶ崎十字路～松戸駅
	松04 八潮駅南口～新中川橋～松戸駅西口
	松04 八潮駅南口～新中川橋～松戸駅
	草加05 八潮駅南口～木曾根～草加駅東口
	八潮02 八潮駅南口～木曾根～上二丁目
有64 八潮駅南口～足立郷土博物館～亀有駅北口	
有65 八潮駅南口～六ツ木都住～亀有駅北口	
朝日 八潮駅南口～六ツ木都住～綾瀬駅	

■公共交通空白・不便地域（運行本数は平日）※利用圏域は鉄道駅から半径1km、バス停から半径300m



■平成 29 年度・系統別運行回数及び路線全体の乗降者数（東武バスセントラル株）

路線名	乗降者数 (人)	1日あたり			1便平均 利用者数 (人)
		運行回数 (往)	運行回数 (復)	乗降者数 (人)	
獨協大学前駅東口～上彦名～ピアラシティみさと	6,522	1	1	17	4.3
草加駅東口～稲荷三丁目～八潮団地	1,095,317	64	66	3,000	9.1
草加駅東口～稲荷三丁目～稲荷五丁目		17	17		
獨協大学前駅東口～職業安定所入口～八潮団地	260,613	27	24	714	7.0
獨協大学前駅東口～南青柳～工業団地南	394,405	36	35	1,080	7.6
亀有駅北口～足立郷土博物館～八潮駅南口	669,107	62	62	1,833	7.4
綾瀬駅～神明町～八潮市役所	777,565	3	3	2,130	8.9
綾瀬駅～神明町～八潮駅北口		56	57		
八潮駅北口～氷川神社前		1	0		
草加駅東口～柳の宮～八潮駅北口	891,493	63	64	2,442	9.6
草加駅東口～伊草団地～八潮駅北口	117,250	7	7	321	11.5
草加駅東口～緑町一丁目～木曾根	12,653	1	1	34	8.5
草加駅東口～木曾根～八潮駅南口	776,135	37	35	2,126	14.8
草加駅東口～八潮市役所～八潮駅北口	134,895	10	11	369	8.8
八潮駅南口～八幡小学校前	2,418	0	1	6	3.0
八潮駅南口～木曾根～上二丁目	8,101	1	1	22	5.5
八潮駅北口～西新井駅東口	7,706	1	1	21	5.3
八潮団地～八潮駅北口	181,549	2	2	497	8.6
八潮駅北口～八潮団地～八潮駅北口		8	11		
八潮駅北口～鶴ヶ曾根		2	2		
八潮駅北口～新町		1	1		
八潮駅北口～保健センター～八潮駅北口	19,417	5	2	53	3.8
八潮駅北口～市民温水プール～八潮駅北口	42,887	8	0	117	7.3
八潮駅北口～八潮市役所～八潮団地	45,919	10	9	125	3.3
八潮駅北口～八潮市役所～八潮駅北口	16,872	2	3	46	4.6
八潮駅南口～農協支所～松戸駅	245,771	30	30	673	5.6

出典：平成 30 年版統計やしお

■平成 29 年度・系統別運行回数及び乗降者数（京成バス株）

路線名	乗降者数 (人)	1日あたり			1便平均 利用者数 (人)
		運行回数 (往)	運行回数 (復)	乗降者数 (人)	
戸ヶ崎操車場～水元公園～金町駅北口	1,413,420	83	82	3,872	11.7
八潮駅南口～水元公園～金町駅	599,632	35	35	1,643	11.7
金町駅北口～水元公園～戸ヶ崎操車場	23,356	3	-	64	10.7
八潮駅南口～戸ヶ崎三丁目	561,883	34	33	1,539	11.5
八潮駅南口～伊勢野～松戸駅	58,704	3	4	160	11.4
八潮駅南口～戸ヶ崎三丁目～松戸車庫	50,318	3	3	137	11.4

出典：平成 30 年版統計やしお

■平成 30 年度・系統別運行回数及び乗降者数（朝日自動車株）

路線名	乗降者数 (人)	1日あたり			1便平均 利用者数 (人)
		運行回数 (往)	運行回数 (復)	乗降者数 (人)	
綾瀬駅～辰沼団地～六ツ木都住	708,079	85	85	1,939	5.1
綾瀬駅～辰沼団地～六ツ木都住～八潮駅南口		10	10		

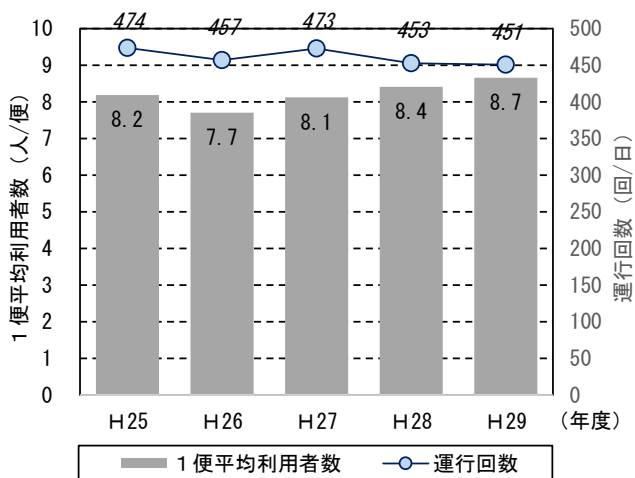
出典：朝日自動車株提供資料

③利用者数

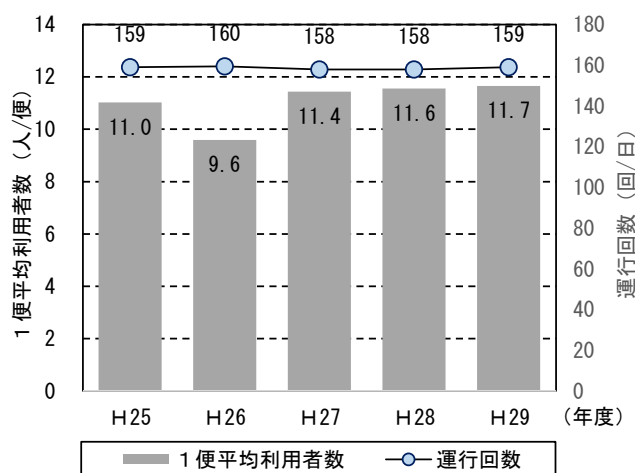
路線バスの1便平均利用者数を見ると、東武バスセントラル(株)は平成25年度が8.2人/便に対し、平成29年度が8.7人/便と0.5人/便増加、京成バス(株)は平成25年度が11.0人/便に対し、平成29年度が11.7人/便と0.7人/便増加、朝日自動車(株)は平成26年度が5.2人/便に対し、平成30年度が5.1人/便と0.1人/便減少している。

一方で、運行回数を見ると、東武バスセントラル(株)は平成25年度が474回/日、平成29年度が451回/日と23回/日減少、京成バス(株)は平成25年度が159回/日に対し、平成29年度が159回/日と増減なし、朝日自動車(株)は平成26年度が95回/日に対し、平成30年度が95回/日と増減なしとなっている。

■ 1便平均利用者数及び運行回数の推移
【東武バスセントラル(株)】

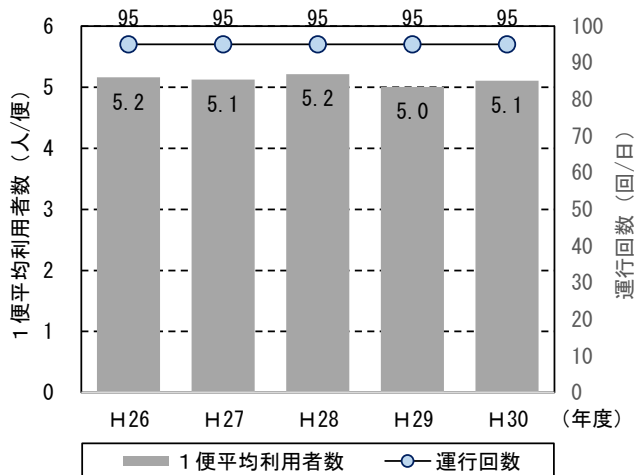


【京成バス(株)】



出典：平成26～30年版統計やしお

【朝日自動車(株)】



出典：朝日自動車(株)提供資料

(3) 八潮市コミュニティバス

①運行概要

八潮市コミュニティバスは、つくばエクスプレス八潮駅の開業と合わせて、平成 17 年 8 月から運行を開始している。運行ルートは、路線バスの通っていない地域を網羅し、公共交通空白地域の解消や市民の利便性向上を図っている。

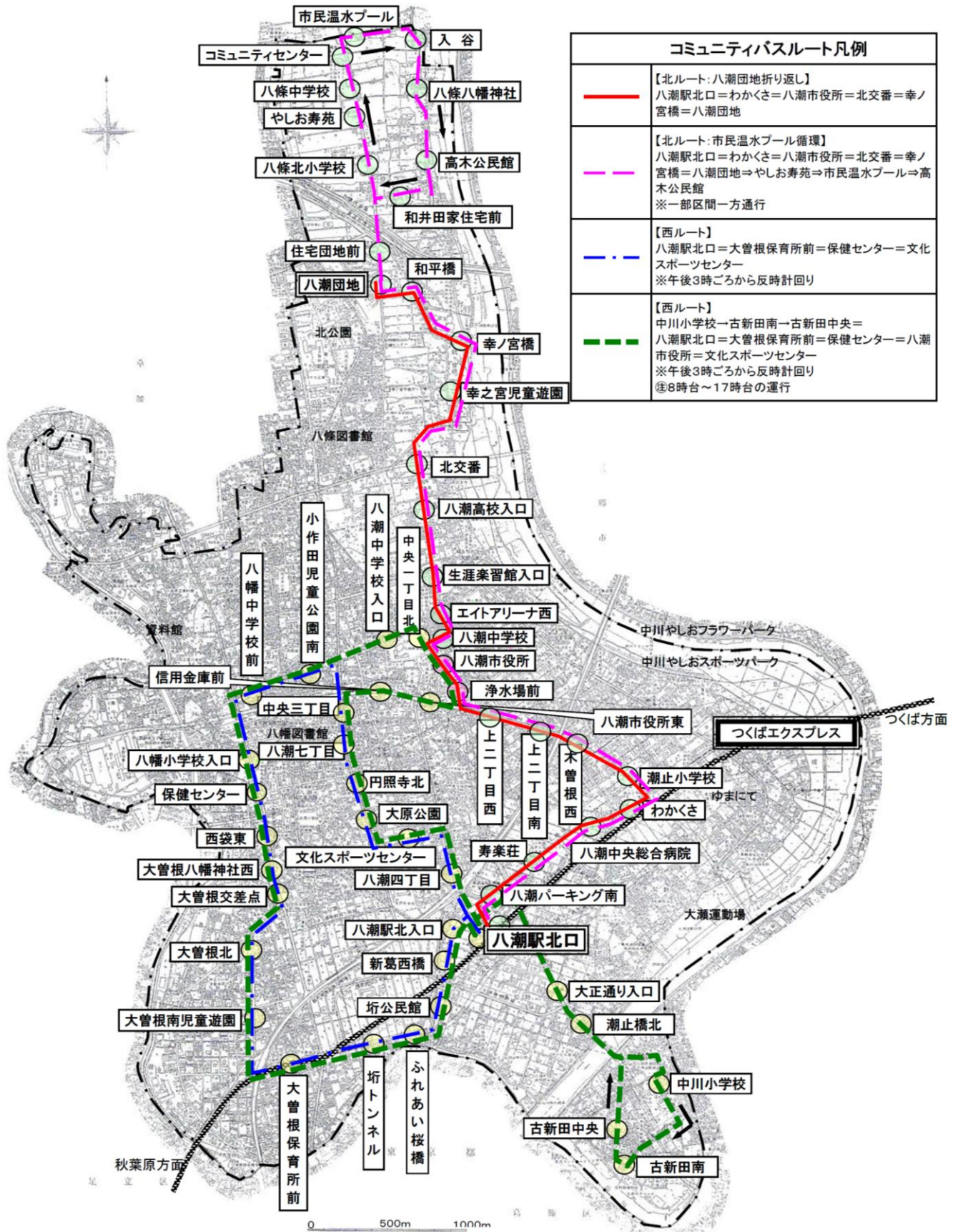
また、平成 31 年 2 月には、コミュニティバスに愛着をもってもらい、更なる利用促進を図るため、「ハッピーこまちゃん号」の愛称を決定し、車体にラッピングを施して、市内を走行している。

■八潮市コミュニティバスの運行サービス

運行日	毎日
運行時間帯・ 運行便数	《北ルート》 6:10～21:02 ・八潮団地折り返し（八潮駅北口～わかくさ～八潮市役所～八潮団地）：9.5 便 ・市民温水プール循環（八潮駅北口～八潮市役所～八潮団地～市民温水プール）：8.0 便 《西ルート》 7:05～21:30 ・八潮駅北口～保健センター～文化スポーツセンター：12.0 便 ・中川小学校～八潮駅北口～保健センター～文化スポーツセンター：3.0 便
利用料金	対キロ運賃（現金：180～270 円） ※令和元年 10 月 1 日時点



■八潮市コミュニティバスの運行ルート図



コミュニティバスルート凡例	
	【北ルート:八潮団地折り返し】 八潮駅北口＝わかくさ＝八潮市役所＝北交番＝幸ノ宮橋＝八潮団地
	【北ルート:市民温水プール循環】 八潮駅北口＝わかくさ＝八潮市役所＝北交番＝幸ノ宮橋＝八潮団地⇒やしお寿苑⇒市民温水プール⇒高木公民館 ※一部区間一方通行
	【西ルート】 八潮駅北口＝大曾根保育所前＝保健センター＝文化スポーツセンター ※午後3時ごろから反時計回り
	【西ルート】 中川小学校→古新田南→古新田中央＝八潮駅北口＝大曾根保育所前＝保健センター＝八潮市役所＝文化スポーツセンター ※午後3時ごろから反時計回り 往8時台～17時台の運行

②利用実績

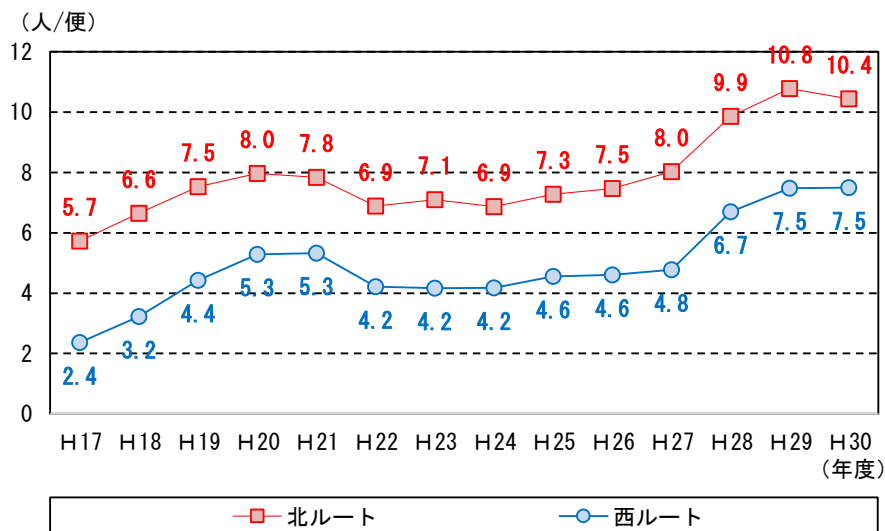
ア) 1日平均及び1便平均利用者数

八潮市コミュニティバスの年間利用者数は、平成20～24年度にかけて減少しているが、平成28年度に八潮中央総合病院の移転に伴うバス停の新設と路線バス（八潮工業団地中央循環線）の運行ルート変更により増加しており、直近3年間は年間約10～11万人が利用している。

1便平均利用者数（平成30年度）は、ルート全体が9.1人/便で、北ルートが10.4人/便、西ルートが7.5人/便となっている。

■八潮市コミュニティバスの推移

年度	利用者数(人)			1日平均(人)			1便平均(人)		
	北ルート	西ルート	計	北ルート	西ルート	計	北ルート	西ルート	計
H17	18,907	8,320	27,227	85.9	37.8	123.8	5.73	2.36	3.99
H18	44,541	20,538	65,079	122.0	56.3	178.3	6.65	3.23	4.98
H19	49,616	29,181	78,797	135.6	79.7	215.3	7.53	4.43	5.98
H20	52,357	34,735	87,092	143.4	95.2	238.6	7.97	5.29	6.63
H21	51,509	34,989	86,498	141.1	95.9	237.0	7.84	5.33	6.58
H22	45,231	27,708	72,939	123.9	75.9	199.8	6.88	4.22	5.55
H23	46,777	27,475	74,252	127.8	75.1	202.9	7.10	4.17	5.64
H24	45,131	27,429	72,560	123.6	75.1	198.8	6.87	4.17	5.52
H25	47,810	29,935	77,745	131.0	82.0	213.0	7.28	4.56	5.92
H26	49,074	25,202	74,276	134.4	69.0	203.5	7.47	4.60	6.17
H27	52,881	26,213	79,094	144.5	71.6	216.1	8.03	4.77	6.55
H28	64,784	36,662	101,446	177.5	100.4	277.9	9.86	6.70	8.42
H29	70,809	40,947	111,756	194.0	112.2	306.2	10.78	7.48	9.28
H30	68,589	41,023	109,612	187.9	112.4	300.3	10.44	7.49	9.10



イ) ダイヤ別利用者数

曜日別平均利用者数を見ると、北ルートは平日が 11.9 人/便、土日祝が 7.5 人/便、西ルートは平日が 9.2 人/便、土日祝が 4.0 人/便と、北ルート、西ルートともに平日の方が利用が多い。

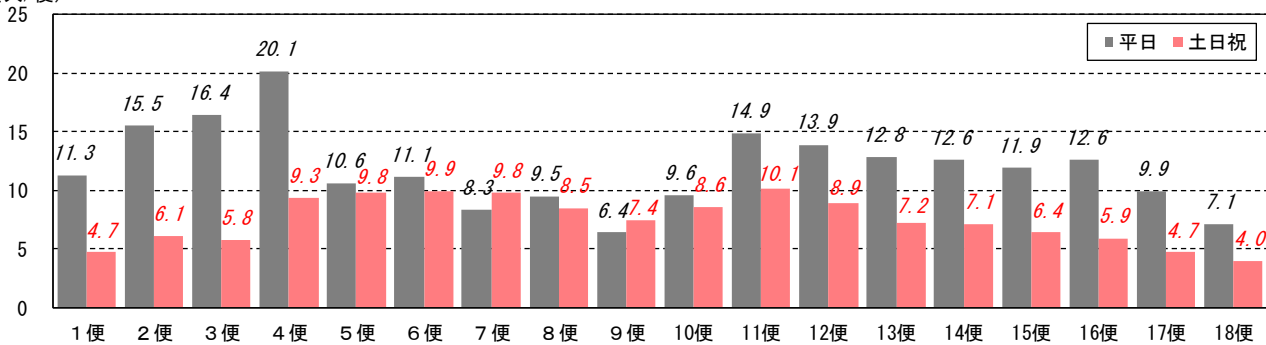
ダイヤ別に見ると、北ルート、西ルートともに、平日の朝と夕時間帯で多い。

■北ルート・ダイヤ別平均利用者数（平成 30 年度）

単位：人/便

	1便八潮団地行	2便プール循環	3便八潮団地行	4便プール循環	5便八潮団地行	6便プール循環	7便プール循環	8便八潮団地行	9便八潮団地行	10便プール循環	11便プール循環	12便八潮団地行	13便八潮団地行	14便プール循環	15便八潮団地行	16便プール循環	17便八潮団地行	18便団地往路のみ	平均
時間	6:10	7:10	7:40	8:30	9:20	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	16:40	17:15	17:45	18:45	19:40	20:37	
平日	11.3	15.5	16.4	20.1	10.6	11.1	8.3	9.5	6.4	9.6	14.9	13.9	12.8	12.6	11.9	12.6	9.9	7.1	11.9
土日祝	4.7	6.1	5.8	9.3	9.8	9.9	9.8	8.5	7.4	8.6	10.1	8.9	7.2	7.1	6.4	5.9	4.7	4.0	7.5
全日	9.1	12.4	12.9	16.5	10.3	10.7	8.8	9.2	6.7	9.3	13.3	12.2	11.0	10.8	10.1	10.4	8.2	6.1	10.4

(人/便)

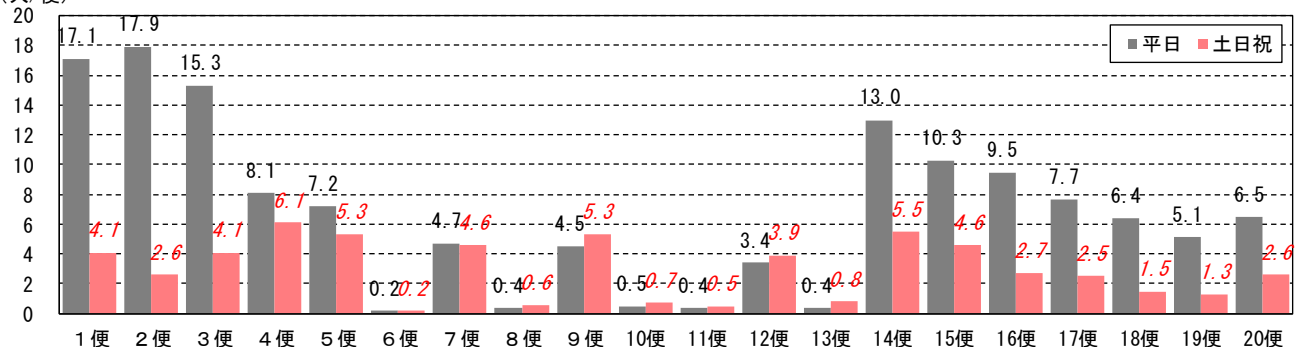


■西ルート・ダイヤ別平均利用者数（平成 30 年度）

単位：人/便

	1便	2便	3便	4便	5便	6便古新田行	7便中川小学校行	8便八潮駅	9便中川小学校行	10便八潮駅	11便古新田行	12便中川小学校行	13便八潮駅	14便	15便	16便	17便	18便	19便	20便	平均
時間	7:05	7:45	8:25	9:15	10:15	11:15	11:33	12:43	13:10	14:20	14:53	15:11	16:21	17:00	17:40	18:25	19:05	19:50	20:25	21:00	
平日	17.1	17.9	15.3	8.1	7.2	0.2	4.7	0.4	4.5	0.5	0.4	3.4	0.4	13.0	10.3	9.5	7.7	6.4	5.1	2.6	9.2
土日祝	4.1	2.6	4.1	6.1	5.3	0.2	4.6	0.6	5.3	0.7	0.5	3.9	0.8	5.5	4.6	2.7	2.5	1.5	1.3	2.6	4.0
全日	12.8	12.8	11.6	7.5	6.6	0.2	4.6	0.5	4.8	0.6	0.4	3.6	0.5	10.5	8.4	7.3	6.0	4.8	3.8	5.2	7.5

(人/便)



③運行収支

平成 30 年度の運行収支は約 2,400 万円の赤字で、収支率は 46.3%と、県平均 23%※、県南部平均 28%※と比較して高く、直近 5 年間は概ね 5 割前後となっている。

■運行収支

年度	運行経費 (千円)	収入 (千円)	収支差 (千円)	収支率
H26	43,829	19,959	▲ 23,870	45.5%
H27	42,624	20,448	▲ 22,176	48.0%
H28	42,012	22,865	▲ 19,147	54.4%
H29	42,813	21,305	▲ 21,508	49.8%
H30	44,379	20,561	▲ 23,817	46.3%

※地域の足の活性化検討調査（埼玉県、平成 30 年 3 月）、収支率：平成 28 年実績

(4) 一般タクシー

八潮市では、5 社のタクシー事業者が運行中である。

埼玉県内では、高齢者ドライバーによる交通事故は減少傾向にあるものの、免許人口当たりの事故発生率が高齢になるほど増加し、交通事故防止が重要課題となっている。埼玉県警察では運転免許を自主返納した高齢者を対象にした「シルバーサポーター制度」を行っている。

■タクシー事業者の概要

会社名	車両保有台数		運転者数	営業時間
	汎用車両	福祉車両		
飛鳥交通(株)	20台	0台	32名	0～24時
瀬崎交通(株)	25台	2台	50名	8～25時
八潮交通(有)	21台	0台	41名	0～24時
(株)織田	30台	0台	59名	0～24時
(個人)豊田タクシー	1台	0台	1名	19～25時

資料：タクシー事業者アンケート調査

【事例】埼玉県警察・シルバーサポーター制度

シルバーサポーター制度は、運転免許を自主返納した高齢者が、サービス店として登録しているお店や事業所等で「運転経歴証明書」を提示するとさまざまなサービス（料金割引・宅配・休憩など）が受けられるお得な制度。

市内では瀬崎交通(株)と(株)織田（OKタクシー）でタクシー代金の 10%割引を実施。

運転免許の返納をお考えの方へ

運転免許を返納して申請すると「運転経歴証明書」を取得できます。この運転経歴証明書は、金融機関等の身分証明書として使用できるだけでなく「高齢者運転免許自主返納ロゴマーク」のある店舗や施設で提示することでさまざまなサービスが受けられます。

「運転経歴証明書」とは

運転経歴証明書は、運転免許返納を証明するもので、運転免許返納の有効期限内に自主に免許を返納した日から、最長以内は返納者本人が申請することにより取得することができます。

※事故や過失による免許の停止、取消の対象となっている方、免許停止中は、申請による取得はできません。

運転経歴証明書の申請先

※運転経歴証明書の申請先

※有効期間（有効期限が満了した場合は再申請が必要）

日曜日・平日（月～金曜日） ※自主返納と併用し運転経歴証明書申請手数料の減額あり
13:00～19:30
平日（月～金曜日）
8:30～11:00
13:00～19:30

※申請に必要なもの

・交付手数料 1,000円
・運転経歴証明書（自主返納と併用申請以外の方は身分証明書）

「運転経歴証明書」に照する利用可能なサービス

埼玉県運転免許センター 運転免許課
電話 048-543-2001(内線)
受付時間 平日の8:30から17:15

(5) 高速バス

八潮駅北口を発着する高速バスは、東武バスセントラル(株)他4社により、羽田空港線と成田空港線を運行している。

■高速バスの運行サービス

路線名	運行事業者	運行日	便数	
			平日	土日祝
新越谷駅・草加駅・八潮駅～羽田空港線	東武バスセントラル(株) 京浜急行バス(株)	毎日	15.5便	15.5便
新越谷駅・草加駅・八潮駅～成田空港線 (しらこぼと号)	千葉交通(株)、東武バスセントラル(株)、リムジンバス	毎日	6.0便	6.0便

■高速バスの利用実績の推移

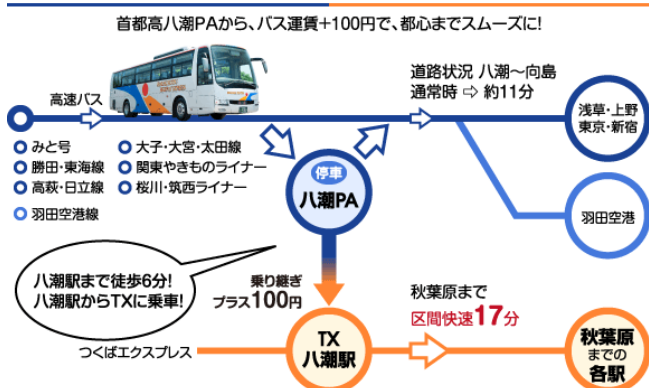
路線名	年度	年間乗降人員 (人/年)				1便平均乗降人員 (人/便)			
		乗車人員		降車人員		乗車人員		降車人員	
		合計	八潮駅	合計	八潮駅	合計	八潮駅	合計	八潮駅
羽田空港線	H27	78,377	19,600	132,357	32,032	13.4	3.3	20.1	4.9
	H28	83,688	21,683	137,159	34,959	14.3	3.7	23.5	6.0
	H29	87,135	23,150	137,629	34,834	14.9	4.0	23.6	6.0
	H30	90,768	26,494	144,687	41,129	15.5	4.5	24.8	7.0
	R元	89,661	27,043	144,845	42,657	15.9	4.8	24.7	7.3
成田空港線	H27	22,693	4,169	25,352	4,422	7.9	1.4	8.8	1.5
	H28	21,735	4,181	21,518	3,842	9.9	1.9	9.8	1.8
	H29	22,135	4,399	21,174	3,997	10.1	2.0	9.7	1.8
	H30	23,857	4,966	22,413	4,225	10.9	2.3	10.2	1.9
	R元	23,130	4,977	22,824	4,469	10.5	2.3	10.4	2.0

○レール&高速バスライド

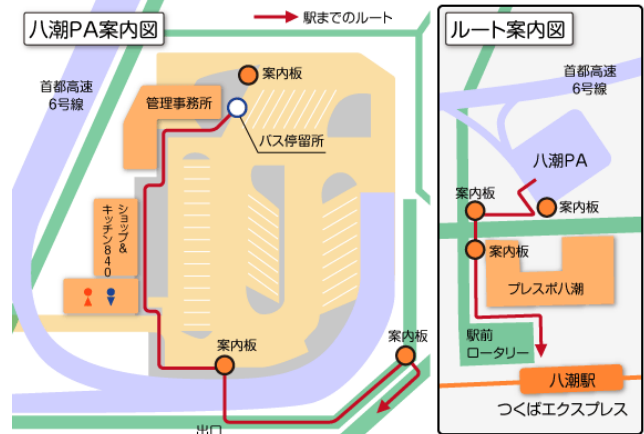
八潮駅と首都高速道路・八潮PAは直線で約200m(徒歩6分)という近接性を活かし、主に茨城方面から運行中の高速バス利用者を対象に、八潮PAでつくばエクスプレスへ乗り継ぐことが可能なレール&高速バスライド(八潮駅～秋葉原駅間:100円)を平成21年度から本格運行している。(常磐自動車道を経由して都内へ向かう際、首都高速道路の慢性的な渋滞に左右されることなく、目的地までスムーズに到着できるサービス。)



高速バスからつくばエクスプレスへ乗り継ぎ



出典：茨城交通ホームページ



(6) 民間企業送迎バス

①八潮中央総合病院

八潮中央総合病院では、つくばエクスプレス八潮駅北口と、東武スカイツリーライン草加駅東口から無料送迎車両（ワゴン車）を運行している。

○運行区間・便数

- ・八潮中央総合病院⇄八潮駅：平日 24 往復/日、土曜日 15 往復/日
- ・八潮中央総合病院⇄ケアセンター八潮⇄草加駅：平日 13 往復/日、土曜日 7.5 往復/日

○運行日：平日・土曜日

○運賃：無料



出典：八潮中央総合病院ホームページ

②広瀬病院

広瀬病院では、事前に予約のあった患者の自宅に迎えに行く送迎サービス（ワゴン車）を運行している。（地域で利用者が複数いる場合は、患者宅を巡回し、相乗り）

○運行日：火曜日、水曜日、金曜日

○時 間：午後 2 時 30 分頃

○運 賃：無料

③八潮病院

八潮病院では、つくばエクスプレス八潮駅北口と、東武スカイツリーライン草加駅東口から無料送迎バスを運行している。

○運行区間・便数

- ・八潮病院⇄八潮駅：平日 4 往復/日
- ・八潮病院⇄草加駅：平日 3 往復/日

○運行日：平日

○運賃：無料

八潮駅⇄八潮病院		草加駅⇄八潮病院	
八潮駅発→病院着	病院発→八潮駅着	草加駅発→病院着	病院発→草加駅着
9 : 30→9 : 40	10 : 00→10 : 10	9 : 30→9 : 50	10 : 00→10 : 20
10 : 20→10 : 30	10 : 35→10 : 45	10 : 20→10 : 40	10 : 50→11 : 10
10 : 50→11 : 00	11 : 05→11 : 15	11 : 10→11 : 30	12 : 20→12 : 40
11 : 20→11 : 30	12 : 20→12 : 30		



④その他

草加八潮工業団地の一部企業において、従業員を対象とした送迎バスが八潮駅、獨協大学前駅から運行している。

7 ニーズ調査

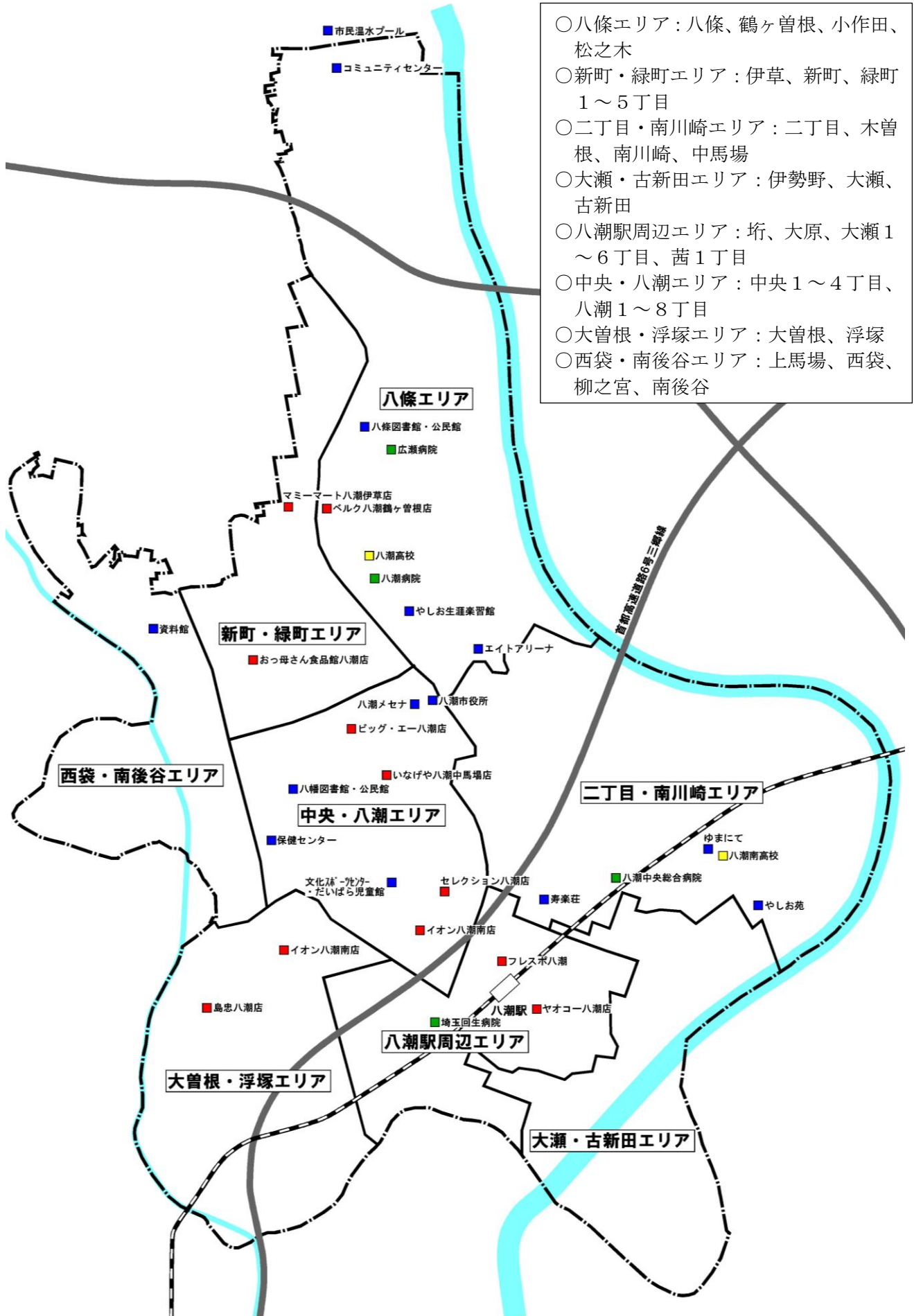
※令和元年度八潮市地域公共交通網形成計画調査報告書の抜粋のため、基本的な修正は行わないものとする。

7-1 市民アンケート調査

公共交通に関する利用状況や利用意向、将来の方向性などについて把握し、これからの公共交通のあり方を検討する上での基礎資料とするために、市民アンケート調査を行った。

調査対象者	15歳以上 3,000人（住民基本台帳による無作為抽出）																																																																																																																																											
調査方法	郵送配布、郵送回収 ※令和元年9月19日（木）発送～10月7日（月）締切																																																																																																																																											
調査項目	<p>①回答者の属性 ：住まい、性別、年齢、職業、自動車運転免許有無、自動車所有状況、最寄りバス停までの徒歩での所要時間</p> <p>②自動車運転免許に対する意向 ：自動車の利用頻度、運転に対する考え方、運転継続年齢、運転免許返納意向</p> <p>③日常生活の移動実態 ：外出頻度、外出時の主な行き先、利用交通手段【目的別（買物、病院、通勤・通学）】</p> <p>④日常の移動のしやすさ ：外出する時に交通手段が無くて困ることの有無とその目的、行き先、対応方法</p> <p>⑤鉄道（つくばエクスプレス、東武スカイツリーライン）の利用実態と意識・要望 ：利用路線、利用頻度、利用目的、利用しない理由、運行サービスに対する満足度</p> <p>⑥路線バス（八潮市コミュニティバス含む）の利用実態と意識・要望 ：利用頻度、利用目的、利用しない理由、運行サービスに対する満足度</p> <p>⑦タクシーの利用実態と意識・要望 ：利用頻度、利用目的、利用しない理由、運行サービスに対する満足度</p> <p>⑧公共交通の利用意向 ：公共交通で行きたい場所、利用目的、利用頻度、利用時間帯</p> <p>⑨公共交通の今後のあり方 ：今後の取組みの方向性、自家用車の過度な利用に頼らない生活有無と取組み内容、公共交通に対する財政負担の考え方、効果的な公共交通の利用促進策</p>																																																																																																																																											
回収状況	<p>回収票数：993票（回収率：33.1%）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>配布票数</th> <th>回収票数</th> <th>回収率</th> <th>字名</th> <th>回収票数</th> <th>字名</th> <th>回収票数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>八條エリア</td> <td>360</td> <td>127</td> <td>35.3%</td> <td>八條(外環以北)</td> <td>21</td> <td>中馬場</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>新町・緑町エリア</td> <td>400</td> <td>142</td> <td>35.5%</td> <td>八條(外環以南)</td> <td>38</td> <td>大原</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>二丁目・南川崎エリア</td> <td>440</td> <td>132</td> <td>30.0%</td> <td>鶴ヶ曽根</td> <td>60</td> <td>大曽根</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>大瀬・古新田エリア</td> <td>340</td> <td>142</td> <td>41.8%</td> <td>小作田</td> <td>5</td> <td>浮塚</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>八潮駅周辺エリア</td> <td>370</td> <td>90</td> <td>24.3%</td> <td>松之木</td> <td>3</td> <td>西袋(綾瀬川以東)</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>中央・八潮エリア</td> <td>500</td> <td>161</td> <td>32.2%</td> <td>伊草</td> <td>42</td> <td>西袋(綾瀬川以西)</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>大曽根・浮塚エリア</td> <td>330</td> <td>91</td> <td>27.6%</td> <td>新町</td> <td>10</td> <td>柳之宮</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>西袋・南後谷エリア</td> <td>260</td> <td>97</td> <td>37.3%</td> <td>二丁目</td> <td>25</td> <td>南後谷</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td>住所無回答</td> <td>—</td> <td>11</td> <td>—</td> <td>木曽根</td> <td>39</td> <td>中央1～4丁目</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>市合計</td> <td>3,000</td> <td>993</td> <td>33.1%</td> <td>南川崎</td> <td>60</td> <td>八潮1～8丁目</td> <td>118</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>伊勢野</td> <td>35</td> <td>緑町1～5丁目</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>大瀬(中川以北)</td> <td>39</td> <td>大瀬1～6丁目</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>大瀬(中川以南)</td> <td>35</td> <td>茜町1丁目</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>古新田</td> <td>33</td> <td>住所無回答</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>坂</td> <td>21</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>上馬場</td> <td>5</td> <td>市合計</td> <td>993</td> </tr> </tbody> </table> <p>※配布票数はエリア別総人口、年齢構成等を考慮し決定</p>					配布票数	回収票数	回収率	字名	回収票数	字名	回収票数	八條エリア	360	127	35.3%	八條(外環以北)	21	中馬場	8	新町・緑町エリア	400	142	35.5%	八條(外環以南)	38	大原	18	二丁目・南川崎エリア	440	132	30.0%	鶴ヶ曽根	60	大曽根	65	大瀬・古新田エリア	340	142	41.8%	小作田	5	浮塚	26	八潮駅周辺エリア	370	90	24.3%	松之木	3	西袋(綾瀬川以東)	11	中央・八潮エリア	500	161	32.2%	伊草	42	西袋(綾瀬川以西)	13	大曽根・浮塚エリア	330	91	27.6%	新町	10	柳之宮	14	西袋・南後谷エリア	260	97	37.3%	二丁目	25	南後谷	54	住所無回答	—	11	—	木曽根	39	中央1～4丁目	43	市合計	3,000	993	33.1%	南川崎	60	八潮1～8丁目	118					伊勢野	35	緑町1～5丁目	90					大瀬(中川以北)	39	大瀬1～6丁目	42					大瀬(中川以南)	35	茜町1丁目	9					古新田	33	住所無回答	11					坂	21							上馬場	5	市合計	993
	配布票数	回収票数	回収率	字名	回収票数	字名	回収票数																																																																																																																																					
八條エリア	360	127	35.3%	八條(外環以北)	21	中馬場	8																																																																																																																																					
新町・緑町エリア	400	142	35.5%	八條(外環以南)	38	大原	18																																																																																																																																					
二丁目・南川崎エリア	440	132	30.0%	鶴ヶ曽根	60	大曽根	65																																																																																																																																					
大瀬・古新田エリア	340	142	41.8%	小作田	5	浮塚	26																																																																																																																																					
八潮駅周辺エリア	370	90	24.3%	松之木	3	西袋(綾瀬川以東)	11																																																																																																																																					
中央・八潮エリア	500	161	32.2%	伊草	42	西袋(綾瀬川以西)	13																																																																																																																																					
大曽根・浮塚エリア	330	91	27.6%	新町	10	柳之宮	14																																																																																																																																					
西袋・南後谷エリア	260	97	37.3%	二丁目	25	南後谷	54																																																																																																																																					
住所無回答	—	11	—	木曽根	39	中央1～4丁目	43																																																																																																																																					
市合計	3,000	993	33.1%	南川崎	60	八潮1～8丁目	118																																																																																																																																					
				伊勢野	35	緑町1～5丁目	90																																																																																																																																					
				大瀬(中川以北)	39	大瀬1～6丁目	42																																																																																																																																					
				大瀬(中川以南)	35	茜町1丁目	9																																																																																																																																					
				古新田	33	住所無回答	11																																																																																																																																					
				坂	21																																																																																																																																							
				上馬場	5	市合計	993																																																																																																																																					

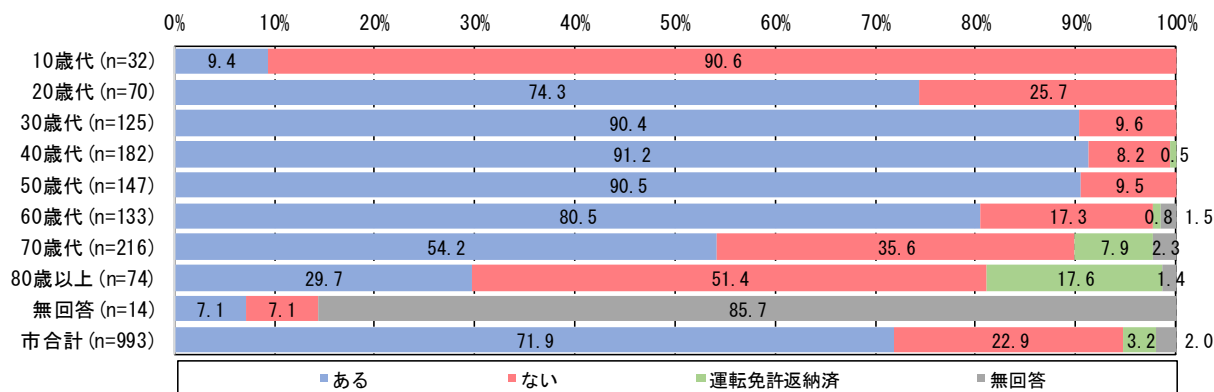
(参考) エリア区分



(1) 回答者の属性

- 回答者の年齢は各年代から幅広く回答され、職業は「会社員・公務員 (33.8%)」、「無職 (22.4%)」、「パート・アルバイト (16.5%)」が多い。
- 自動車運転免許有無は、「ある」が71.9%と最も多く、年齢別に見ると、10歳代や70歳以上で「ない」あるいは「運転免許返納済」の割合が高い。
- 最寄りバス停までの徒歩での所要時間は「5分未満」が52.6%で、15分未満が9割以上を占めている。

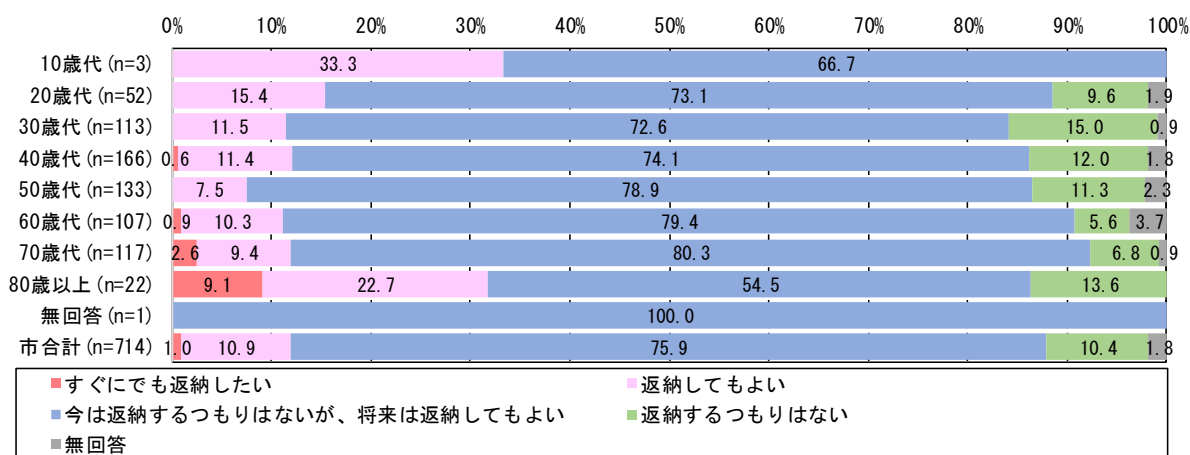
■自動車運転免許有無 (年齢別)



(2) 自動車運転免許に対する意向

- 自動車の利用頻度は、「ほぼ毎日」が約4割と最も多く、週に1日以上が約7割を占めている。
- 運転免許返納意向は、「すぐにでも返納したい」+「返納してもよい」と回答した割合は11.9%で、80歳以上で約3割を占めている。

■運転免許返納意向 (年齢別)



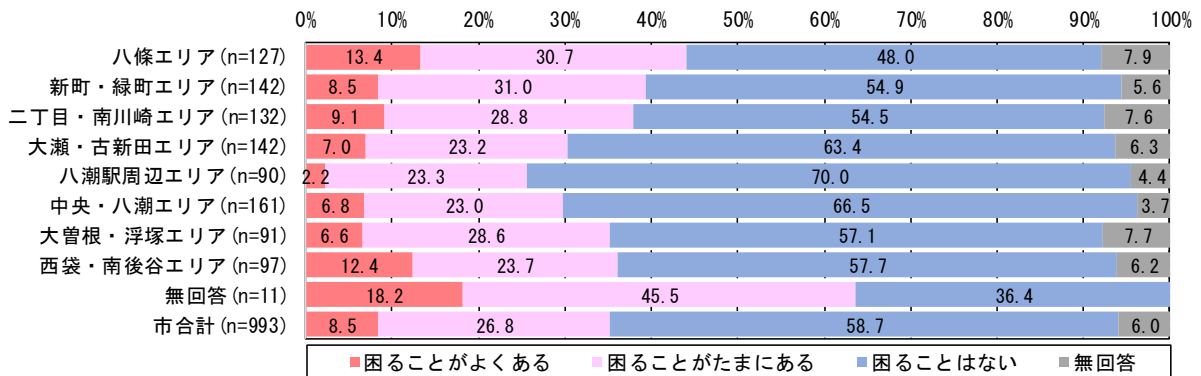
(3) 日常の外出行動

- 買い物は週1日以上が82.7%、病院は「体調が悪いときのみ」、「月に2~3日程度」と低頻度が、通勤は「週に5日以上」が80.3%と多い。
- 買い物の行き先は、「フレスポ八潮」に次いで市外が多く、特に西袋・南後谷エリアは36.1%と多い。
- よく行く病院は「その他の病院 (市内)」、「その他の病院 (市外)」、「八潮中央総合病院」が多く、通勤・通学先は「東京都」、「市内」が多い。

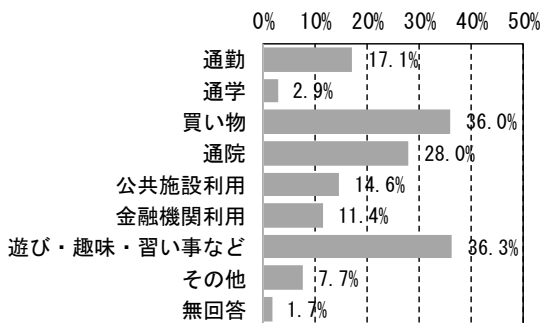
(4) 移動のしやすさ

- 「買い物」・「遊び・趣味・習い事など」・「通院」などの目的で外出する際、3人に1人(35.3%)が困っており、八條エリア、新町・緑町エリア、二丁目・南川崎エリアで困り具合の割合が高く、八潮駅周辺エリアで低い。また、自動車の運転免許を持っていない方が困り具合の割合が高い。
- 困っている時の行き先は、「八潮駅から市外」、「越谷レイクタウン《越谷市》」、「草加駅方面《草加市》」、「ららぽーと新三郷《三郷市》」といった市外や、「八潮市役所」、「八潮中央総合病院」、「フレスポ八潮」が多い。
- 市外への移動ニーズは、食料品といった最寄り品でなく、買回り品の買い物や遊び・趣味・習い事などが主な目的のため、外出頻度が低いものと伺えられる。

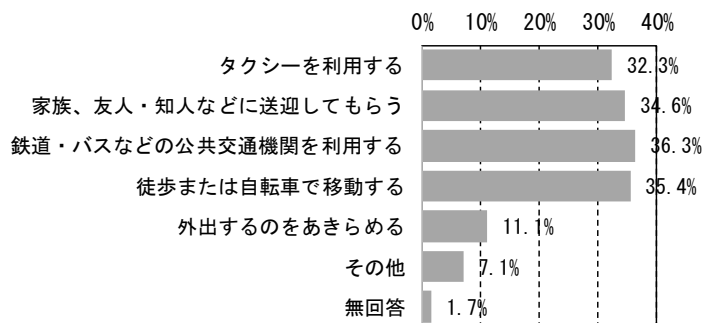
■外出する際の困ることの有無



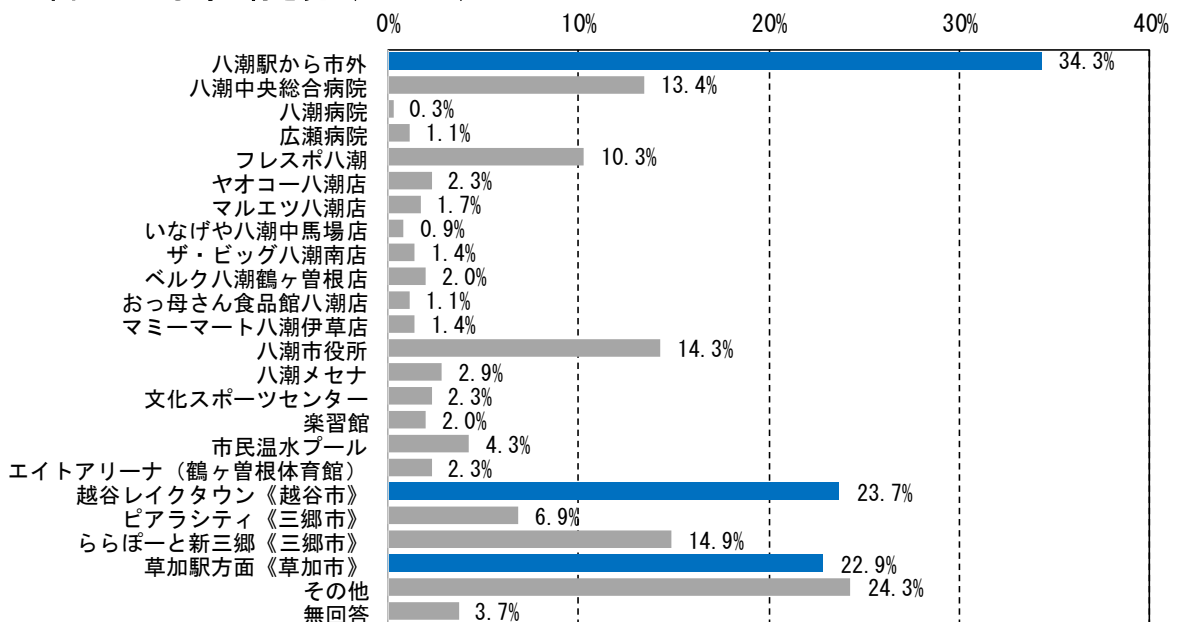
■困っている時の目的 (n=350)



■困っている時の対応 (n=350)



■困っている時の行き先 (n=350)

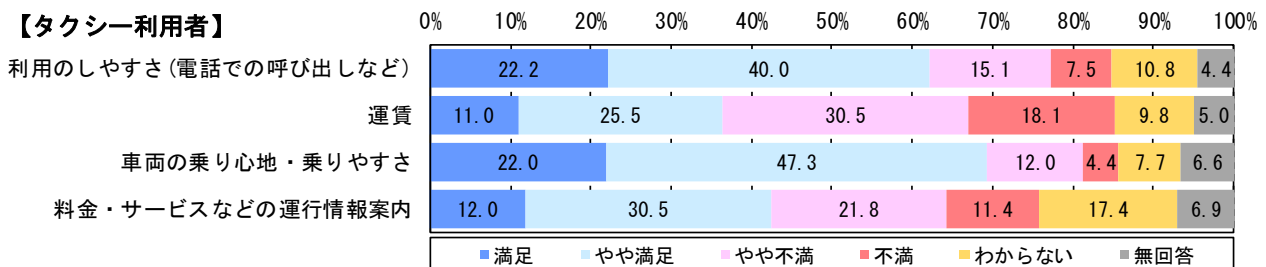
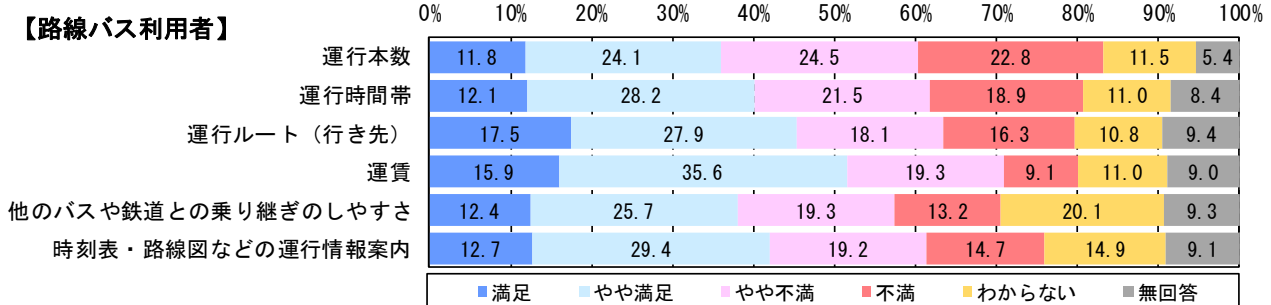
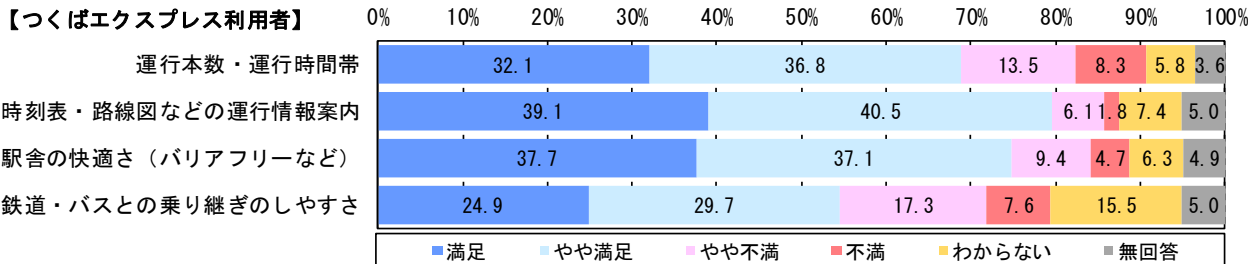


(5) 公共交通機関（鉄道、路線バス、タクシー）の利用実態と意識・要望

○鉄道（つくばエクスプレス、東武スカイツリーライン）や路線バスは、「遊び・趣味・習い事など」、「買い物」、「通勤」目的で、「年に数日程度」、「月に2～3日程度」利用している方が多い。

○鉄道の運行サービス満足度（利用者）は、全体的に高いものの、「鉄道・バスとの乗り継ぎのしやすさ」でやや低い。一方、路線バスは、「運賃」、「運行ルート（行き先）」で満足率が高いものの、「運行本数」、「運行時間帯」で不満率が高い。タクシーは「利用のしやすさ（電話での呼び出しなど）」、「車両の乗り心地・乗りやすさ」で満足率が高いものの、「運賃」と「料金・サービスなどの運行情報案内」で不満率が高い。

■運行サービスに対する満足度



※利用頻度で「週に5日以上」「週に3～4日」「週に1～2日」「月に2～3日程度」「年に数日程度」回答者

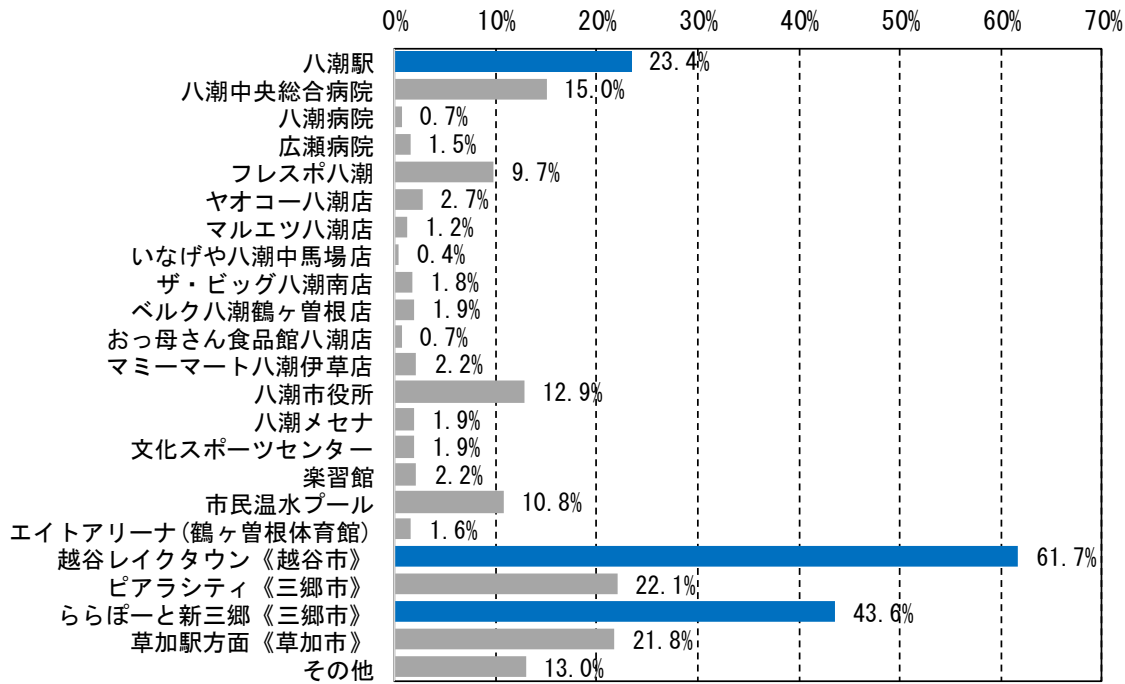
(6) 公共交通の利用意向

○目的地へ直接移動できるバスなどの公共交通機関が運行された場合に、行きたい場所は「越谷レイクタウン《越谷市》」、「ららぽーと新三郷《三郷市》」、「八潮駅」、「八潮中央総合病院」、「八潮市役所」、「市民温水プール」などへの移動ニーズが多い。

○「越谷レイクタウン《越谷市》」は全エリアで、「ららぽーと新三郷《三郷市》」は新町・緑町エリア、二丁目・南川崎エリア、大瀬・古新田エリア、八潮駅周辺エリア及び中央・八潮エリアで高い。

○その利用目的は「買い物」、「金融機関利用」、「通院」目的で、頻度は「月に2～3日程度」、「年に数日程度」といった低頻度が多い。

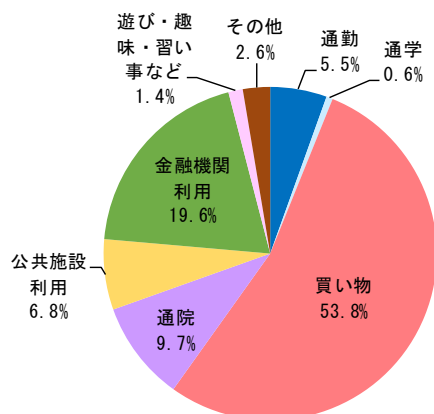
■公共交通機関が運行された場合に、行きたい場所



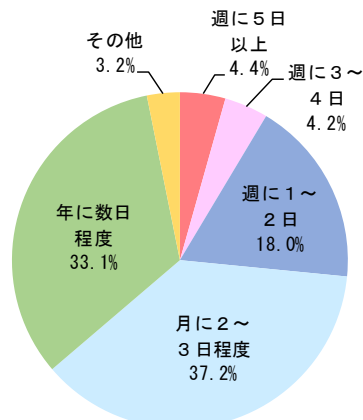
(住まい別行きたい場所(件数))

	八条 エリア	新町・緑町 エリア	二丁目・ 南川崎 エリア	大瀬・ 古新田 エリア	八潮駅周辺 エリア	中央・八潮 エリア	大曽根・ 浮塚エリア	西袋・ 南後谷 エリア	無回答	市合計
八潮駅から市外	27	24	24	30	9	32	14	13	0	173
八潮中央総合病院	17	20	11	13	1	18	13	18	0	111
八潮病院	0	0	2	0	0	2	1	0	0	5
広瀬病院	1	1	2	1	2	2	0	2	0	11
フレスポ八潮	3	5	19	13	4	8	12	8	0	72
ヤオコー八潮店	0	0	8	5	3	4	0	0	0	20
マルエツ八潮店	0	2	1	2	0	3	1	0	0	9
いなげや八潮中馬場店	1	0	0	0	0	2	0	0	0	3
ザ・ビッグ八潮南店	2	2	1	3	2	2	0	1	0	13
ベルク八潮鶴ヶ曾根店	5	0	2	1	0	3	1	2	0	14
おっ母さん食品館八潮店	0	0	2	0	1	1	0	1	0	5
マミーマート八潮伊草店	2	3	3	1	0	2	2	3	0	16
八潮市役所	8	9	10	17	13	5	12	20	1	95
八潮メセナ	2	2	3	3	0	1	0	3	0	14
文化スポーツセンター	1	2	2	4	4	0	0	1	0	14
楽習館	0	1	1	4	3	2	2	3	0	16
市民温水プール	5	15	10	9	11	17	5	8	0	80
エイトアリーナ(鶴ヶ曾根体育館)	2	1	0	0	1	2	3	3	0	12
越谷レイクタウン《越谷市》	64	70	54	68	52	68	39	39	2	456
ピアラシティ《三郷市》	26	29	28	23	13	29	7	8	0	163
ららぽーと新三郷《三郷市》	34	53	42	47	43	51	25	25	2	322
草加駅方面《草加市》	21	28	19	24	7	25	15	22	0	161
その他	11	7	15	22	8	13	9	9	2	96
無回答	34	34	34	28	22	45	26	25	6	0

■利用目的



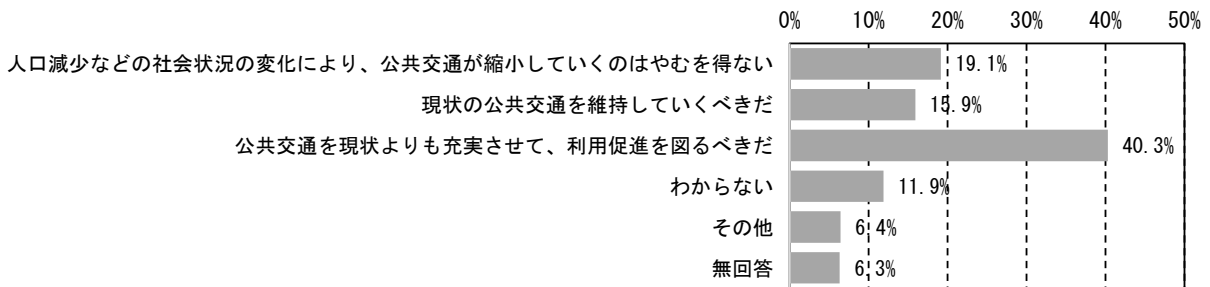
■利用頻度



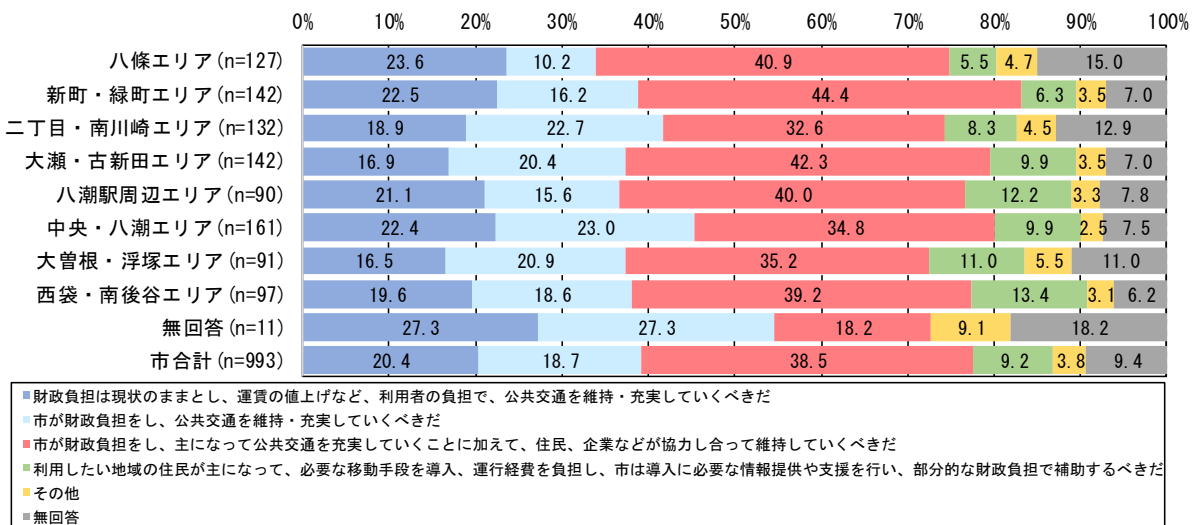
(7) 公共交通の今後のあり方

- 今後取り組むべき方向性は、「公共交通を現状より充実させて、利用促進を図るべきだ」が40.3%、公共交通に対する財政負担の考え方は、「市が財政負担をし、主になって公共交通を充実していくことに加えて、住民、企業などが協力し合って維持していくべきだ」が38.5%と最も多い。
- 公共交通の利用促進を図るための効果的な取り組みは、「路線バスや八潮市コミュニティバスなどのルートや時刻表などを掲載した公共交通マップの作成・配布」、「自動車運転免許証返納者への公共交通割引など制度の導入」、「バス停の待合環境整備や運行情報案内の表示改善」の順が多い。

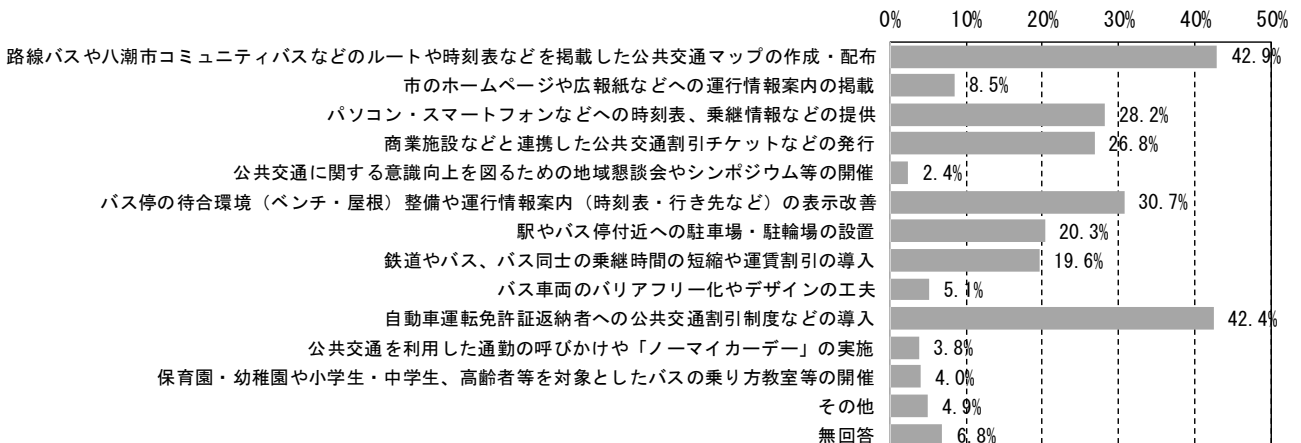
■今後取り組むべき方向性



■公共交通に対する財政負担の考え方



■公共交通の利用促進を図るための効果的な取り組み (n=993)



7-2 利用実態調査

7-2-1 公共交通利用者実態調査

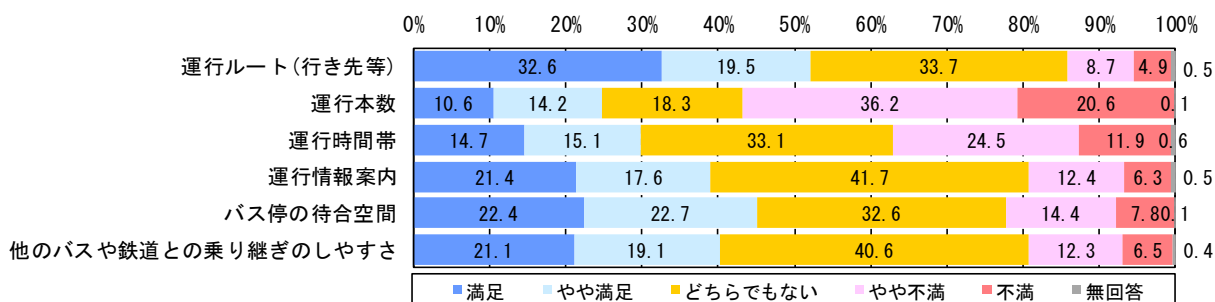
(1) 路線バス利用者実態調査

調査対象場所	八潮駅駅前広場（北口、南口）、八潮市役所、草加駅東口広場（1番・2番乗り場）
調査方法	<ul style="list-style-type: none"> 調査方法…調査員がバス待ち利用者へ直接ヒアリング 調査日…平日：令和元年10月3日（木）、休日：令和元年10月6日（日） 調査時間帯…7時00分～20時00分
調査項目	利用者の属性（性別、年齢、職業、住まい）、利用目的及び利用頻度、運行サービスに対する満足度、効果的な利用促進策
回答者数	合計812人（平日465人、休日347人）

【路線バス利用者実態調査のまとめ】

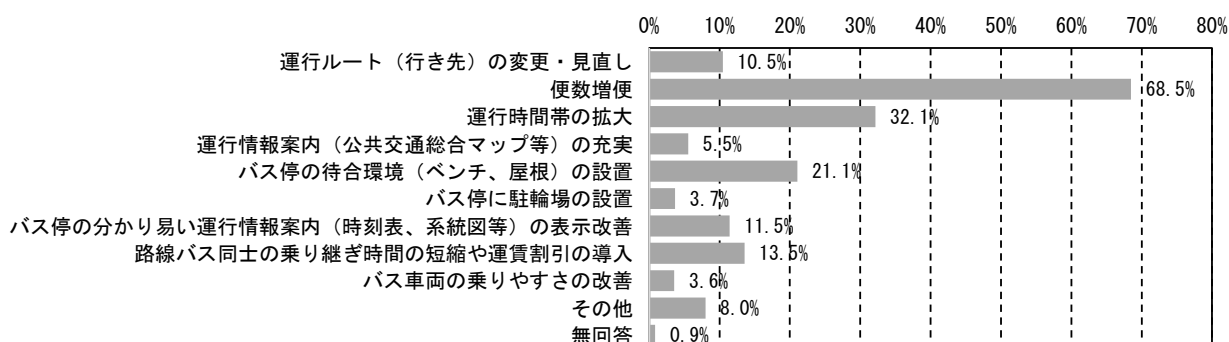
- 路線バスは幅広い年齢層が利用している。また、利用者の住まいは「八潮市内」と「八潮市外」がそれぞれ半数程度となっている。
- 利用目的を見ると、平日は「通勤」、「買物」目的が多く、休日は「買物」、「通勤」、「趣味・娯楽」目的が多い。
- 運行サービスに対する満足度は、「運行ルート（行き先等）」で満足率が52.6%と高いものの、「運行本数」や「運行時間帯」で不満率が高い。

■運行サービスに対する満足度



- 効果的な取組み内容は、「便数増便（68.5%）」、「運行時間帯の拡大（32.1%）」、「バス停の待合環境（ベンチ、屋根）の設置（21.1%）」、「路線バス同士の乗り継ぎ時間の短縮や運賃割引の導入（13.5%）」の順で多い。

■効果的な取組み内容



(2) 八潮市コミュニティバス利用者実態調査

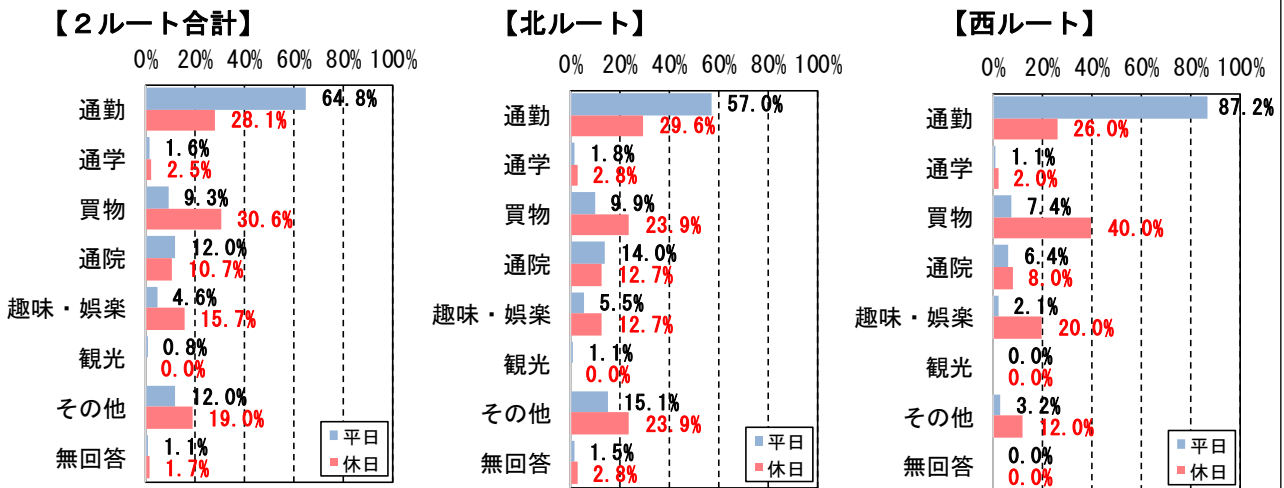
調査対象路線	八潮市コミュニティバス（北ルート、西ルート）
調査方法	<ul style="list-style-type: none"> ・調査方法…バスの乗客へ調査票を渡し、乗客自身が調査票の該当箇所を折り込むアンケート方式（ビンゴ形式調査票の活用） ・調査日…平日：令和元年10月3日（木）、休日：令和元年10月6日（日） ・調査時間帯：始発から最終まで
調査項目	利用OD、利用者の属性（性別、年齢、住まい、運転免許有無、運転免許返納意思）、利用頻度、利用目的、運行サービスの満足度、改善して欲しいサービス
回答数	487人（北ルート343人、西ルート144人）

【八潮市コミュニティバス利用者実態調査のまとめ】（回答者数：487人）

○八潮市コミュニティバスは幅広い年齢層が利用している。また、利用者の住まいは「八潮市内」だけでなく、「八潮市外」が約3割を占めている。

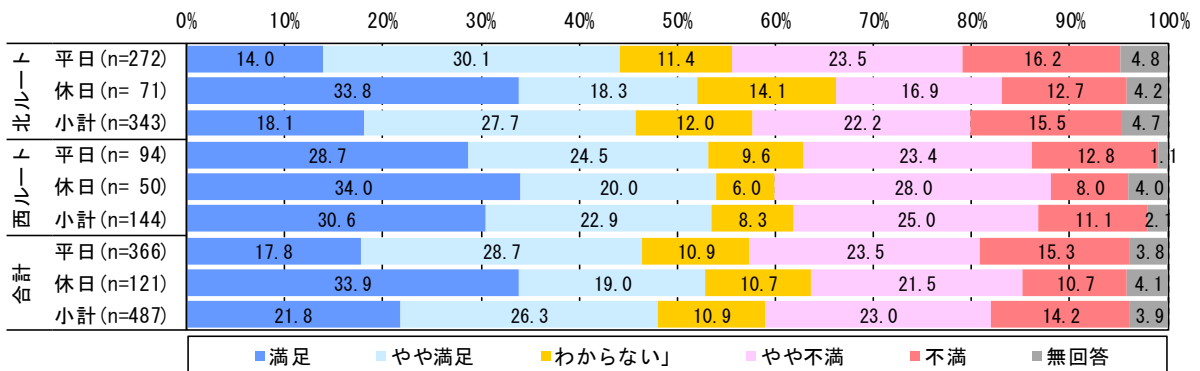
○利用目的を見ると、平日は「通勤」目的が多く、休日は「買物」、「通勤」、「趣味・娯楽」目的が多い。また、週に1日以上の利用者は約7割を占めている。

■コミュニティバスの利用目的



○運行サービスに対する満足度は、満足率が48.0%、不満率が37.2%やや満足率の方が高い。

■運行サービスの満足度



○改善して欲しいサービスは「運行本数」、「運行時間帯」、「運行ルート」の順が多い。

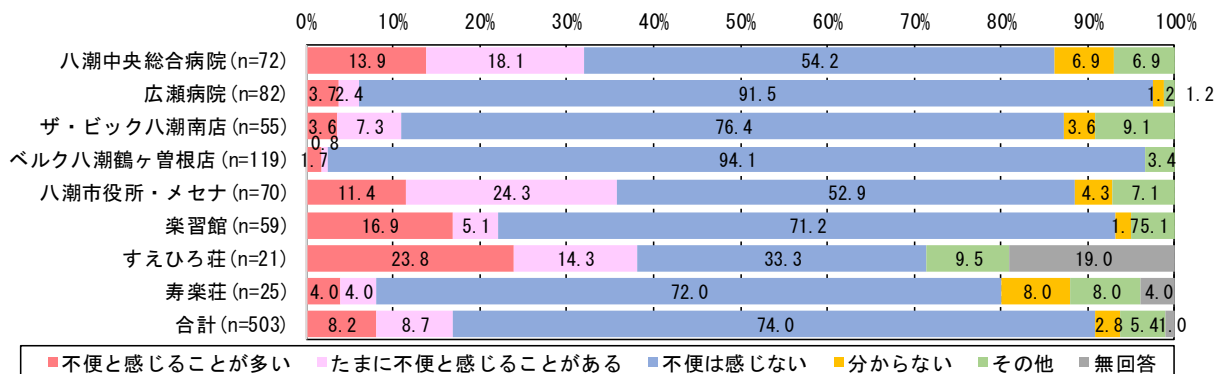
7-2-2 主要施設利用者アンケート調査

調査場所	<ul style="list-style-type: none"> 医療施設：八潮中央総合病院、広瀬病院 大規模店舗：ザ・ビック八潮南店、ベルク八潮鶴ヶ曾根店 公共施設：八潮市役所・八潮メセナ、楽習館、老人福祉センター（すえひろ荘、寿楽荘）
調査方法	<ul style="list-style-type: none"> 調査日…令和元年10月3日（木） 調査時間…9：00～17：00（施設の診療・営業時間等により異なる） 調査方法…調査員による直接ヒアリング
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> 回答者の属性、自動車運転免許証の有無と返納意向、自動車保有状況の有無 施設の利用頻度、施設まで（から）の利用交通手段 施設へ移動する際の不便度、公共交通の改善点
回答者数	合計 503 人（八潮中央総合病院 72 人、広瀬病院 82 人、ザ・ビック八潮南店 55 人、ベルク八潮鶴ヶ曾根店 119 人、八潮市役所・メセナ 70 人、楽習館 59 人、すえひろ荘 21 人、寿楽荘 25 人）

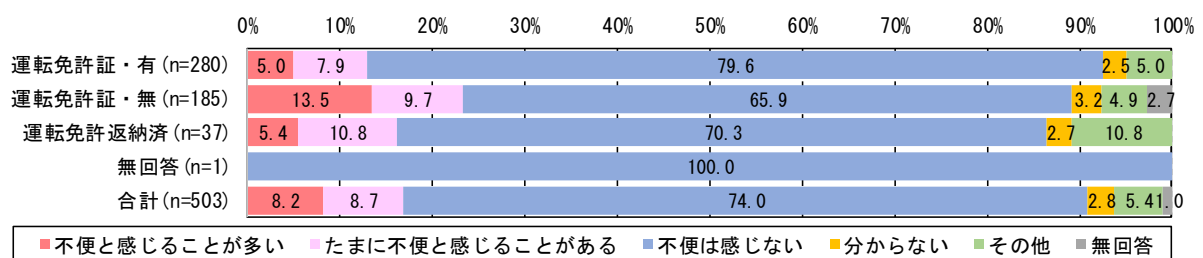
【主要施設利用者アンケート調査のまとめ】

- 主要施設利用者アンケート調査の回答者は、60 歳以上が約 7 割と多く、自動車運転免許を持っていない方が 44.2%を占めている。
- 施設への利用交通手段は、「車（自分で運転）」や「自転車」が多いが、医療施設で「車（家族等の送迎・同乗）」割合が約 2 割と多い。
- 施設への不便度は、すえひろ荘、八潮市役所・メセナ、八潮中央総合病院の順で高く、運転免許証が有る方より無い方の方が高い。

■施設への不便度



■施設への不便度（自動車運転免許証の有無別）



- 公共交通の改善点は、「特になし」と回答した施設は商業施設 2 店舗が多く、すえひろ荘、八潮市役所・メセナ、八潮中央総合病院でその割合が少なく、改善に対する意見が多い。

7-3 交通事業者・関係団体アンケート調査

交通事業者や関係団体を対象に、定性的な利用特性や、市の地域公共交通の見直しにあたっての留意点、現在抱えている課題等を把握するためのアンケート調査を行った。

調査対象 関係者	交通 事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道：首都圏新都市鉄道(株)、東武鉄道(株) ・路線バス：東武バスセントラル(株)、京成バス(株)、朝日自動車(株) ・コミュニティバス：東武バスセントラル(株) ・タクシー：(株)織田、飛鳥交通(株)、瀬崎交通(株)、八潮交通(株)、豊田タクシー
	関係団体	<ul style="list-style-type: none"> ・八潮市商工会、一般社団法人八潮市観光協会 ・八潮市社会福祉協議会（福祉協議会、身体障害者福祉センターやすらぎ、老人福祉センター寿楽荘・すえひろ荘、障がい者福祉施設やまびこ、コミュニティセンター） ・地域包括支援センター（東部地域、西部地域、南部地域、北部地域） ・八潮市自立支援協議会運営会（八潮市身体障害者福祉会、八潮市手をつなぐ親の会、YSK（八潮市精神しょうがい者家族会）、八潮市生活支援センターあけぼの、杜の家やしお、そうか光生園、NOZOMI、NPO 法人たらちね、NPO 法人 WISH 8、スパイダーネットやしお、東部障がい者就業・生活支援センターみらい、八潮市基幹相談支援センター）
調査方法	<ul style="list-style-type: none"> ・調査方法…メール、FAXなどによる配布、回収 ・調査期間…令和元年9月下旬～10月中旬 	

(1) 交通事業者

※太字下線は各事業者で共通する事項を示す

鉄道	首都圏 新都市鉄道(株)	<ul style="list-style-type: none"> ・混雑緩和対策として、「混雑の見える化」の推進や、朝ラッシュ時の運行本数の増便、8両編成化事業を実施予定。 ・また、多言語化に対応した駅窓口への携帯通訳機の設置や、行先・時刻案内を整備予定。 ・利用者等からは運行本数や混雑についての意見・要望がある。 ・他の交通事業者に求めたいことは、振替輸送時の路線バスとの協力体制強化や、最終列車後のタクシーとの連携を図りたい。 ・提言・期待することとして、混雑緩和の実現を図るため、働き改革による企業の時差通勤*を推進。また、自転車利用者が乗車したまま、改札外通路を横切るため、マナー啓発等の危険防止対策を行政と協働で実施したい。
	東武鉄道(株)	<ul style="list-style-type: none"> ・草加駅の冷暖房付きホーム待合室新設、獨協大学前駅の駅舎リニューアル、両駅のホームドアの整備を予定。 ・他の交通事業者に求めたいことは、特に八潮市北西部から最寄り鉄道駅となる東武線各駅（草加・谷塚・獨協大学前）へのアクセスの利便性向上。
路線バス	東武バス セントラル(株)	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>乗務員不足</u>のため、現在あるダイヤを維持するのが精一杯である。 ・走行環境の問題点として「<u>共和橋西詰</u>」、「<u>柳之宮橋</u>」、「<u>八潮・八条</u>」、<u>各交差点を中心とした渋滞（平日通勤学時間帯）</u>。 ・乗務員不足に伴うダイヤの再編を検討中。 ・乗務員の不足のため、行政に八潮市主催の合同企業説明会等を開催して欲しい。

	京成バス(株)	<ul style="list-style-type: none"> ・当該路線に関わらず、全体的に乗務員の不足状況が続いている。 ・走行環境の問題点として、「地蔵前」バス停～「鎌倉」バス停間で交通集中や戸ヶ崎十字路において交通渋滞が頻発し、遅延の一因となっている（三郷市内）。 ・乗務員の不足のため、乗務員募集の掲出（紙媒体・電子媒体）や八潮市内にて会社説明会の場所をお借りする際の会場使用料減額にご協力いただきたい。
	朝日自動車(株)	<ul style="list-style-type: none"> ・深刻な乗務員不足を抱えている。 ・乗務員の休憩施設・場所の確保が課題となっている。 ・バス路線上に信号機が多いため、遅延の原因となっており、また、道路工事が多い時期は遅延が発生しやすい。 ・八潮駅ロータリーを利用される一般車両ドライバーの公共交通への理解不足（違法駐車や嫌がらせ等） ・足立区の「北綾瀬駅」ホーム10両化に伴い、運行ルート及び運行ダイヤの見直しを今後検討していく。
コミュニティバス	東武バスセントラル(株)	<ul style="list-style-type: none"> ・運行上、経営上の問題点として運行担当営業所の乗務員不足、小型車両の更新。 ・走行環境の問題点として八条橋西交差点を中心とした渋滞（平日通勤時間帯及び土休レイクタウンのバーゲン時期等）。また、北ルート「入谷」バス停付近は、降雨時に広範囲にわたり水たまりができ、乗降および運行に支障がある。
タクシー	(株)織田	<ul style="list-style-type: none"> ・運転手の不足や高齢化が課題。 ・乗務員の不足について、行政に対し、ハローワークやシルバー人材センターと連携し、乗務員希望者を募集・紹介して欲しい。また、子育て世代（特に女性）に対して、託児所の紹介・推進を図り、女性も働けるよう、女性乗務員希望者を紹介して欲しい。 ・利用促進のため、無線機の代替や、ナビ地図ソフトの更新、決済端末機の更新を実施中。 ・八潮市に提言・期待することとして、路線バスが行っていない地域限定で乗合タクシー*の導入を図る。
	飛鳥交通(株)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者等から料金の値下げについての意見・要望が挙げられている。 ・運転手不足（特に50代未満が不足）が課題。 ・乗務員が常に不足している状態であり、行政から紹介があると助かる。 ・利用促進等のため、決済端末機の拡充（カード・ICカード決済器の導入、アプリ配車の導入）を実施中。今後バーコード決済端末機の導入を検討中。 ・八潮市に提言・期待することとして、各種割引制度を計画する場合、事業者のみが負担しないようにして頂きたい。
	瀬崎交通(株)	<ul style="list-style-type: none"> ・運転手不足が課題。
	八潮交通(株)	<ul style="list-style-type: none"> ・資金不足（車両更新）と運転手不足（若年者）が課題。 ・行政に対し、乗務員の紹介等と、資金の借入れを協力して欲しい。 ・利用促進等のため、バリアフリー*化やタクシーアプリ等を実施。
	豊田タクシー	—

(2) 関係団体

【関係団体アンケート調査の主な意見のまとめ】

八潮市商工会	○来訪者や商業施設等から市役所近くのバス路線を増便して欲しい意見がある。
一般社団法人 八潮市観光協会	○観光客や観光施設等からイベント時等の臨時バスや増便の要望がある。 ○市内巡回バス等の増便を含めた利便性向上を行って欲しい。
八潮市 社会福祉協議会	○コミュニティバスのルート拡大、増便について希望の声が多数ある。 ○市内の南北のバス便が少ないことは利用者の拡大に繋がらないため、増便して欲しい。 ○運転免許返納者に対する返納の特典が欲しい。
地域包括支援 センター	○西袋地域はバスがないため、移動が困難に感じている声がある。 ○バスに歩行器（シルバーカー）を載せられないという利用者が多い。 ○ノンステップバス*をもっと頻繁に運行して欲しい。 ○高齢者には経路が分かりにくい。また、乗継ぎが大変に感じる。 ○北部地域はバスの本数が少なく、通院や駅に行くのが大変。レイクタウン方面へ行くバスがあると助かる。
自立支援協議会 運営会	○八潮駅から草加駅行きのバスは、南口と北口から出ているので、先発のバスがどれなのか分かりにくい。 ○同じ行き先でも経由地が違うため、迷うことが多い。ルートが分かりにくい。 ○コミュニティバスは便数が少な過ぎて、使い勝手が悪い。 ○コミュニティバス北ルート of 八潮団地止まりを外環以北まで運行して欲しい。 ○障がい者施設や楽習館、病院など施設を回れる循環バスが欲しい。 ○ノンステップバス*を導入して欲しい。 ○バスが遅れた際、後どれくらいで来るか分かると良い。

7-4 民生委員・児童委員アンケート調査

調査対象者	民生委員・児童委員 117 人（八條地区 33 人、潮止地区 40 人、八幡地区 44 人）
調査方法	・調査方法…調査方法：郵送配布、郵送回収 ・調査期間…令和元年 9 月中旬発送～10 月 1 日（火）締切
調査項目	・相談相手の移動実態、困りごと ・公共交通サービスに関する要望・意見 ・外出する際の困り具合・不便度
回収状況	回収票数 76 票（回収率 65.0%）

【民生委員・児童委員アンケート調査の主な意見のまとめ】 ※太字下線は各回答者で共通する事項を示す

八條エリア	○路線バスを 増便 して欲しい。（八條、鶴ヶ曾根） ○八條から市役所や八潮中央総合病院、越谷レイクタウンへ直接行くバスが欲しい。（八條、小作田） ○コミュニティバスの便数が少ない。（鶴ヶ曾根、小作田）
新町・緑町エリア	○路線バスやコミュニティバスのルートや乗継ぎなどが分かりにくい。（伊草、新町） ○八潮中央総合病院へ直接行くバスが欲しい。（新町） ○バスの 本数 とバス停を 増やして 欲しい。（緑町 1～5 丁目）
二丁目・南川崎エリア	○八潮駅北口行きの路線バスを 増便 して欲しい。（二丁目） ○病院へ行きやすいバスが欲しい。（二丁目） ○八潮市コミュニティバスを 増便 して欲しい。（木曾根） ○八潮市コミュニティバスを運行して欲しい。（南川崎） ○市役所方面のバスが欲しい。（南川崎）
大瀬・古新田エリア	○八潮市コミュニティバスについて運行経路の見直しとバス停の増設、 運行本数の増便 、運賃の低廉化をして欲しい。（古新田） ○八潮市コミュニティバスを増便して欲しい。（大瀬）
八潮駅周辺エリア	○八潮市コミュニティバスについて午前で 増便 して欲しい。（大原） ○八潮市コミュニティバスは小型化し、 増便 したらどうか。（大瀬 1～6 丁目）
中央・八潮エリア	○この地区はフレスポ八潮などがあるため、日常生活にあまり不便がない。（八潮 1～8 丁目） ○主要な医療機関のみを回るコミュニティバスがあると便利。（八潮 1～8 丁目）
大曾根・浮塚エリア	○行きたい場所へバスで行けない。草加駅まで乗換えなしで行きたい。（浮塚） ○八潮中央総合病院へ直接行けるバスが欲しい。（浮塚） ○地区内にスーパーがなく、不便なため、地区内を巡回するバスが欲しい。（浮塚） ○八潮市コミュニティバスについて市役所まで 増便 して欲しい。（浮塚） ○八潮市コミュニティバスを運行して欲しい。（浮塚） ○駅までの路線バスを 増便 して欲しい。（大曾根）
西袋・南後谷エリア	○八潮駅へ行くのが不便。（西袋） ○市役所経由の便が少ない。（南後谷）

7-5 地域会議の開催

八條地区、潮止地区及び八幡地区の市民を対象に、公共交通に関する問題点・改善点などについての意見・要望を把握するため、地域会議を開催した。

参加者	町会自治会長より選出、一般市民公募（自治会回覧）				
開催日時 ・場所 ・参加者数	地区	日付	時間	場所	参加者数
	八條地区	令和元年10月2日（水）	午後2時30分～	コミュニティセンター	21名
			午後7時00分～	八條公民館	15名
	潮止地区	令和元年9月26日（木）	午後1時30分～	古新田公民館	23名
			午後7時00分～	ゆまにて	13名
	八幡地区	令和元年9月27日（金）	午後7時00分～	八幡公民館	18名
	市内全域	令和元年10月5日（土）	午前10時00分～	八潮メセナ	10名
合計	—	—	—	100名	

【地域会議のまとめ】

※太字下線は各事業者で共通する事項を示す

鉄道		<ul style="list-style-type: none"> ○つくばエクスプレスに対する朝の混雑対策（8両化など）や運賃の低廉化、快速運行といった意見が多い《全地区》。 ○早期に地下鉄8号線の実現といった意見が多い《古新田公民館、八幡公民館、コミュニティセンター、八條公民館》。 	
路線バス・八潮市コミュニティバス	八條地区 コミュニティセンター	<ul style="list-style-type: none"> ○路線バスは越谷レイクタウンへの乗入れ（新設）に対する意見が多い。 ○八潮市コミュニティバスは八潮団地止まりの延伸、<u>運行本数の増便（市民温水プール回り）</u>、料金の低廉化といった意見が多い。 	
	八條地区 八條公民館	<ul style="list-style-type: none"> ○路線バスは<u>運行本数の増便</u>、越谷レイクタウンへのルート新設、終バスの拡大（草加駅）といった意見が多い。 ○八潮市コミュニティバスは<u>運行本数の増便</u>、ルート変更（草加駅、市役所）に対する意見が多い。 	
	潮止地区 ゆまにて	古新田公民館	<ul style="list-style-type: none"> ○路線バスは<u>運行本数の増便（朝、夕）</u>やルート変更（健和病院等）といった意見が多い。 ○八潮市コミュニティバスは<u>運行本数の増便（特に午前中（通院に間に合うように）</u>やバス停の増設、車両の小型化によるきめ細かな運行といった意見が多い。
		ゆまにて	<ul style="list-style-type: none"> ○路線バスの<u>運行本数の増便</u>に対する意見が多い。 ○八潮市コミュニティバスは情報提供の充実（情報が少ない）、ルート変更（南川崎や木曾根、駅まで最短ルート）、車両の小型化、<u>運行本数の増便</u>といった意見が多い。
	八幡地区 八幡公民館	<ul style="list-style-type: none"> ○路線バスは終バスダイヤの延長（草加駅から）、運行時間帯による車両の変更（朝・夕：大型、昼間：中型）、ルート変更（草加駅方面）、<u>市役所方面への増便</u>、コミュニティバスとの乗換え改善、車両のバリアフリー*化といった意見が多い。 ○八潮市コミュニティバスは<u>運行本数の増便</u>、ルート変更・追加、ルートの分かりにくさの改善といった意見が多い。 	
市内全域 八潮メセナ	<ul style="list-style-type: none"> ○路線バスは越谷レイクタウンへの新設、ルートの再検討（定時性）、<u>運行本数の増便（獨協大学前駅行き）</u>、八潮駅へのルート充実といった意見が挙げられている。 ○八潮市コミュニティバスは<u>運行本数の増便</u>、行き先の分かりにくさの改善、公共施設等を巡回するルート新設といった意見が挙げられている。 		
タクシー		<ul style="list-style-type: none"> ○タクシーの高齢者割引運賃、タクシー券の発行といった意見が多い《古新田公民館、ゆまにて、コミュニティセンター》。 ○乗合タクシー*の導入に対する意見が多い《八幡公民館、コミュニティセンター、八條公民館》。 ○八潮駅で深夜時間帯に台数が少ない、料金が高いといった意見が挙げられている。 	

8 八潮市コミュニティバス利用実態・ニーズ調査

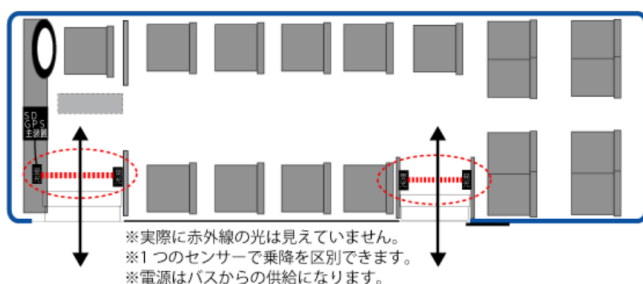
8-1 GPS乗降カウンター調査

八潮市コミュニティバスのバス停別乗車数・降車数を把握するため、GPS乗降カウンターを活用した調査を行った。

■八潮市コミュニティバス・GPS乗降カウンター調査概要

調査対象路線	八潮市コミュニティバス（北ルート、西ルート）
調査方法	<ul style="list-style-type: none">・調査方法：バス車内の出入口（2箇所）に赤外線センサーとGPSアンテナを搭載した記録装置を設置（車両4台）・システム：簡易乗降数自動カウントシステム「あしあとカウンター」・調査期間：1か月間（令和2年10月21日（水）～11月20日（金））

※乗降数については、赤外線センサーによりカウントしているため、実際の利用実績と異なる場合がある。



▲前扉付近の赤外線センサー



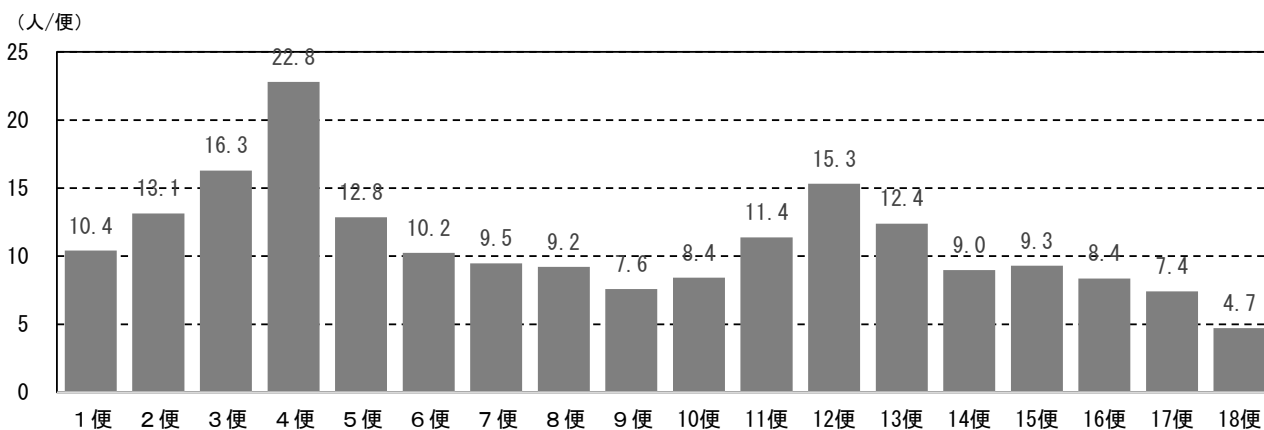
▲後扉付近の赤外線センサー



①北ルート

- ダイヤ別利用者数は、4便（8：30発、市民温水プール循環）が22.8人/便と最も多くなっており、朝と夕時間帯が多い。
- 1か月のバス停別乗降者数は、八潮駅北口、八潮団地、八潮市役所、木曽根西、八潮中学校、八潮中央総合病院の順で多くなっている。
- 日平均利用者数では、八潮団地以北区間（住宅団地前～和井田家住宅前）の利用者合計が12人/日と少なくなっており、1人/日のバス停が目立つ。
- 時間帯別では、朝時間帯と昼間時間帯で八潮駅北口、八潮団地、八潮市役所の利用が多く、夕・夜時間帯で八潮駅北口、上二丁目西、八潮市役所の利用が多い。

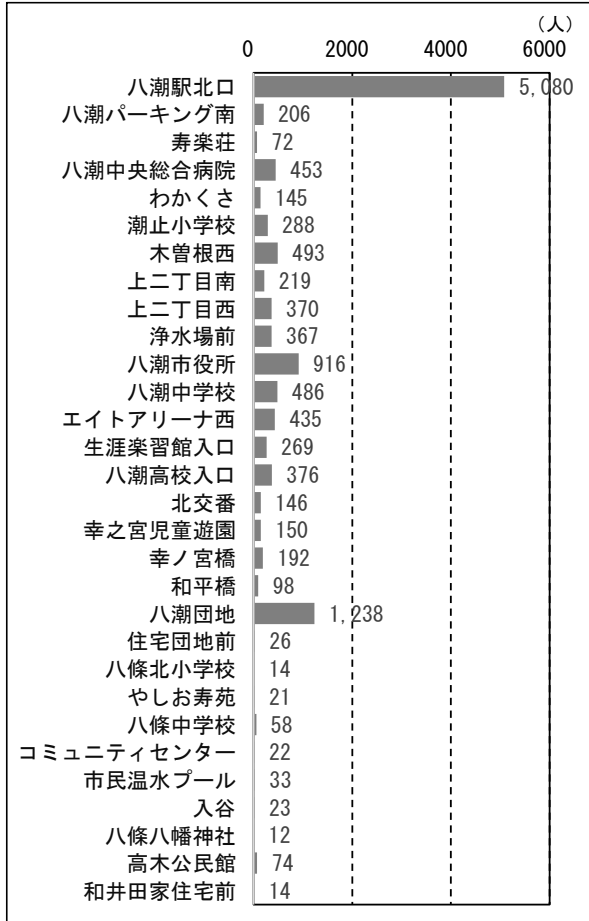
■北ルート・バス停別乗降車数（1か月間合計）



便	行き先	ダイヤ	利用者数(人)	便平均(人/便)
1便	八潮団地行	6:10	323	10.4
2便	プール循環	7:10	407	13.1
3便	八潮団地行	7:40	505	16.3
4便	プール循環	8:30	707	22.8
5便	八潮団地行	9:20	398	12.8
6便	プール循環	10:00	317	10.2
7便	プール循環	11:00	293	9.5
8便	八潮団地行	12:00	286	9.2
9便	八潮団地行	13:00	235	7.6
10便	プール循環	14:00	261	8.4
11便	プール循環	15:00	353	11.4
12便	八潮団地行	16:00	475	15.3
13便	八潮団地行	16:40	384	12.4
14便	プール循環	17:15	278	9.0
15便	八潮団地行	17:45	288	9.3
16便	プール循環	18:45	259	8.4
17便	八潮団地行	19:40	230	7.4
18便	団地往路のみ	20:37	146	4.7
合計			6,147	11.0

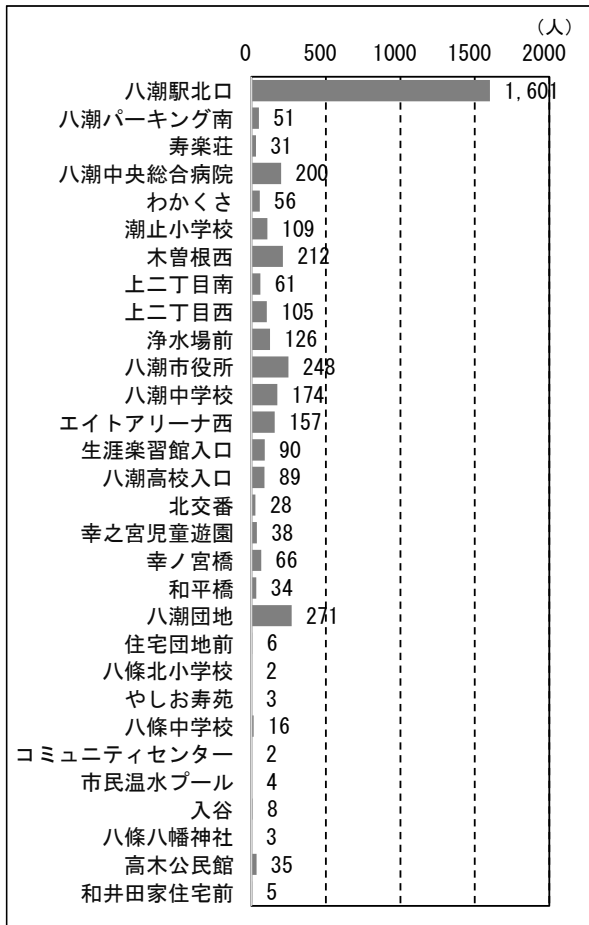
■北ルート・バス停別乗降車数（1か月間合計）

【全時間帯】



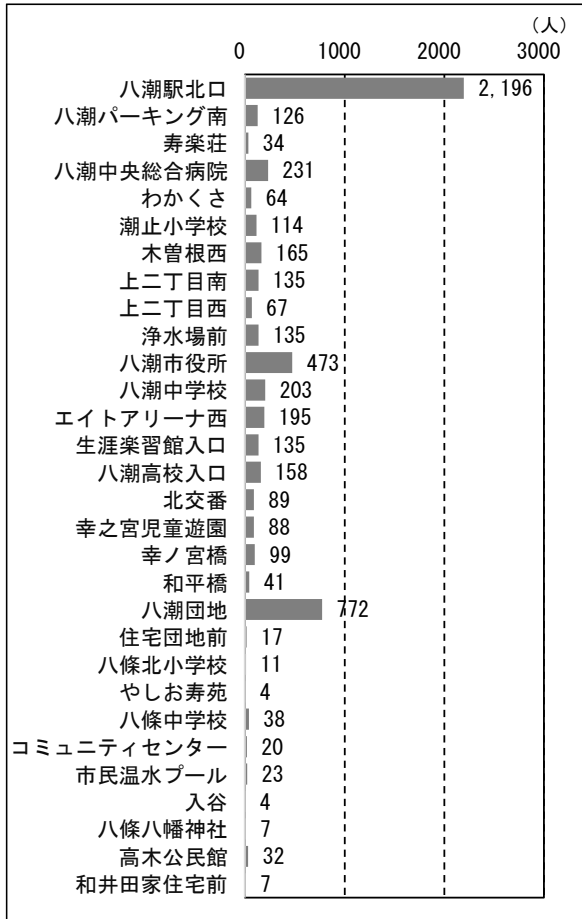
停留所名	乗車数(人)	降車数(人)	乗降者数(人)	日平均(人/日)
八潮駅北口	2,680	2,400	5,080	164
八潮パーキング南	40	166	206	7
寿楽荘	35	37	72	2
八潮中央総合病院	181	272	453	15
わかくさ	92	53	145	5
潮止小学校	139	149	288	9
木曽根西	266	227	493	16
上二丁目南	55	164	219	7
上二丁目西	259	111	370	12
浄水場前	165	202	367	12
八潮市役所	405	511	916	30
八潮中学校	246	240	486	16
イトアリーナ西	227	208	435	14
生涯楽習館入口	118	151	269	9
八潮高校入口	171	205	376	12
北交番	79	67	146	5
幸之宮児童遊園	74	76	150	5
幸ノ宮橋	74	118	192	6
和平橋	51	47	98	3
八潮団地	657	581	1,238	40
住宅団地前	13	13	26	1
八條北小学校	2	12	14	0
やしお寿苑	18	3	21	1
八條中学校	27	31	58	2
コミュニティセンター	3	19	22	1
市民温水プール	14	19	33	1
入谷	9	14	23	1
八條八幡神社	9	3	12	0
高木公民館	33	41	74	2
和井田家住宅前	7	7	14	0
和井田家住宅前	14			
合計	6,147	6,147	12,294	397

【朝時間帯：八潮駅北口6：10発（1便目）～八潮駅北口9：40着（4便目）】



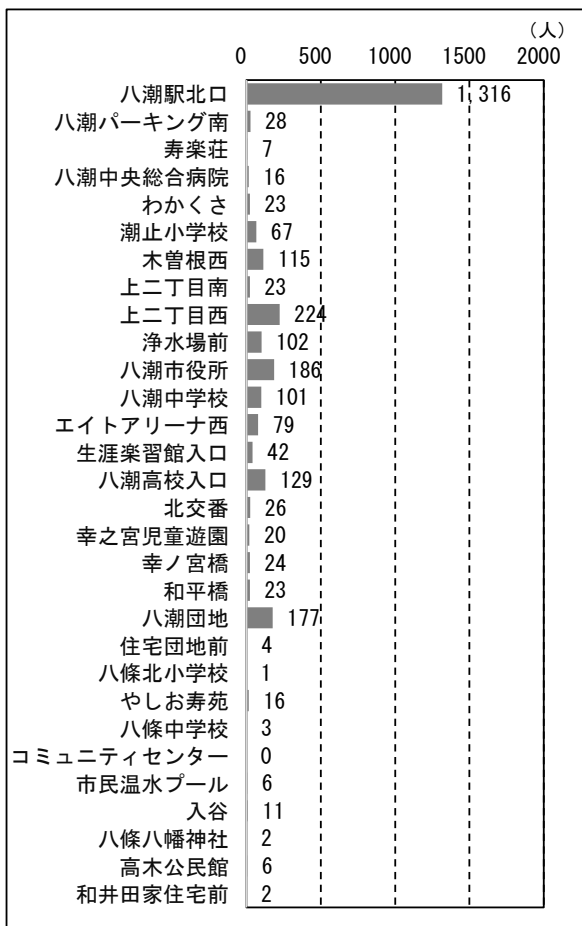
停留所名	乗車数(人)	降車数(人)	乗降者数(人)	日平均(人/日)
八潮駅北口	872	729	1,601	52
八潮パーキング南	12	39	51	2
寿楽荘	18	13	31	1
八潮中央総合病院	38	162	200	6
わかくさ	43	13	56	2
潮止小学校	60	49	109	4
木曽根西	86	126	212	7
上二丁目南	13	48	61	2
上二丁目西	14	91	105	3
浄水場前	67	59	126	4
八潮市役所	110	138	248	8
八潮中学校	132	42	174	6
イトアリーナ西	117	40	157	5
生涯楽習館入口	37	53	90	3
八潮高校入口	34	55	89	3
北交番	11	17	28	1
幸之宮児童遊園	10	28	38	1
幸ノ宮橋	12	54	66	2
和平橋	11	23	34	1
八潮団地	174	97	271	9
住宅団地前	3	3	6	0
八條北小学校	1	1	2	0
やしお寿苑	3	0	3	0
八條中学校	0	16	16	1
コミュニティセンター	0	2	2	0
市民温水プール	3	1	4	0
入谷	6	2	8	0
八條八幡神社	2	1	3	0
高木公民館	21	14	35	1
和井田家住宅前	5	0	5	0
和井田家住宅前	5			
合計	1,916	1,916	3,832	124

【昼間時間帯：八潮駅北口 9：20 発（5 便目）～八潮駅北口 17：38 着（13 便目）】



停留所名	乗車数(人)	降車数(人)	乗降者数(人)	日平均(人/日)
八潮駅北口	1,062	1,134	2,196	71
八潮パーキング南	20	106	126	4
寿楽荘	12	22	34	1
八潮中央総合病院	123	108	231	7
わかくさ	38	26	64	2
潮止小学校	45	69	114	4
木曽根西	124	41	165	5
上二丁目南	26	109	135	4
上二丁目西	54	13	67	2
浄水場前	78	57	135	4
八潮市役所	234	239	473	15
八潮中学校	104	99	203	7
エイトアリーナ西	86	109	195	6
生涯楽習館入口	68	67	135	4
八潮高校入口	96	62	158	5
北交番	59	30	89	3
幸之宮児童遊園	60	28	88	3
幸ノ宮橋	56	43	99	3
和平橋	25	16	41	1
八潮団地	404	368	772	25
住宅団地前	8	9	17	1
八條北小学校	1	10	11	0
やしお寿苑	3	1	4	0
八條中学校	23	15	38	1
コミュニティセンター	3	17	20	1
市民温水プール	10	13	23	1
入谷	3	1	4	0
八條八幡神社	5	2	7	0
高木公民館	11	21	32	1
和井田家住宅前	2	5	7	0
合計	2,840	2,840	5,680	183

【夕・夜時間帯：八潮駅北口 17：15 発（14 便目）～八潮駅北口 21：02 着（18 便目）】

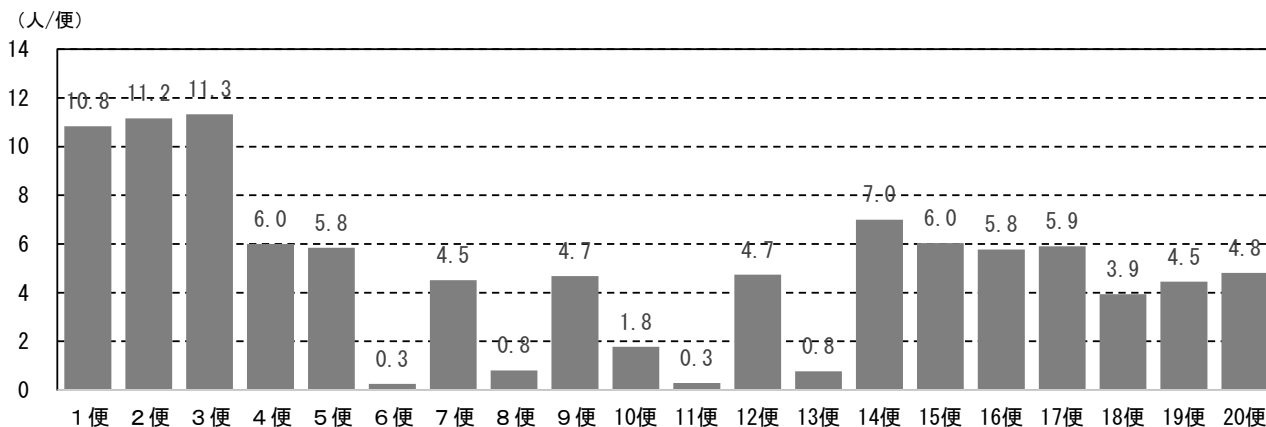


停留所名	乗車数(人)	降車数(人)	乗降者数(人)	日平均(人/日)
八潮駅北口	779	537	1,316	42
八潮パーキング南	7	21	28	1
寿楽荘	5	2	7	0
八潮中央総合病院	14	2	16	1
わかくさ	9	14	23	1
潮止小学校	36	31	67	2
木曽根西	55	60	115	4
上二丁目南	16	7	23	1
上二丁目西	217	7	224	7
浄水場前	16	86	102	3
八潮市役所	52	134	186	6
八潮中学校	2	99	101	3
エイトアリーナ西	20	59	79	3
生涯楽習館入口	11	31	42	1
八潮高校入口	41	88	129	4
北交番	6	20	26	1
幸之宮児童遊園	0	20	20	1
幸ノ宮橋	3	21	24	1
和平橋	15	8	23	1
八潮団地	61	116	177	6
住宅団地前	3	1	4	0
八條北小学校	0	1	1	0
やしお寿苑	14	2	16	1
八條中学校	3	0	3	0
コミュニティセンター	0	0	0	0
市民温水プール	1	5	6	0
入谷	0	11	11	0
八條八幡神社	2	0	2	0
高木公民館	0	6	6	0
和井田家住宅前	0	2	2	0
合計	1,391	1,391	2,782	90

②西ルート

- ダイヤ別利用者数は、3便（8：25発）で11.3人/便と朝時間帯が多い。
- 1か月のバス停別乗降者数は、八潮駅北口、大曾根保育所前、八潮中学校前、小作田児童公園南、の順で多くなっている。
- 日平均利用者数では、八潮駅北入口、新葛西橋、圀公民館、ふれあい桜橋、八幡小学校入口、八潮四丁目、大正通り入口及び潮止橋北の8箇所のバス停で1人/日未満となっている。
- 時間帯別に見ると、朝時間帯で八潮駅北口、大曾根保育所前、八幡中学校前が、昼間時間帯で八潮駅北口、古新田中央、大曾根保育所前が、夕・夜時間帯で八潮駅北口、大曾根保育所前、小作田児童公園南で利用が多い。
- 北ルートと比較して、全体的に利用が少ない。

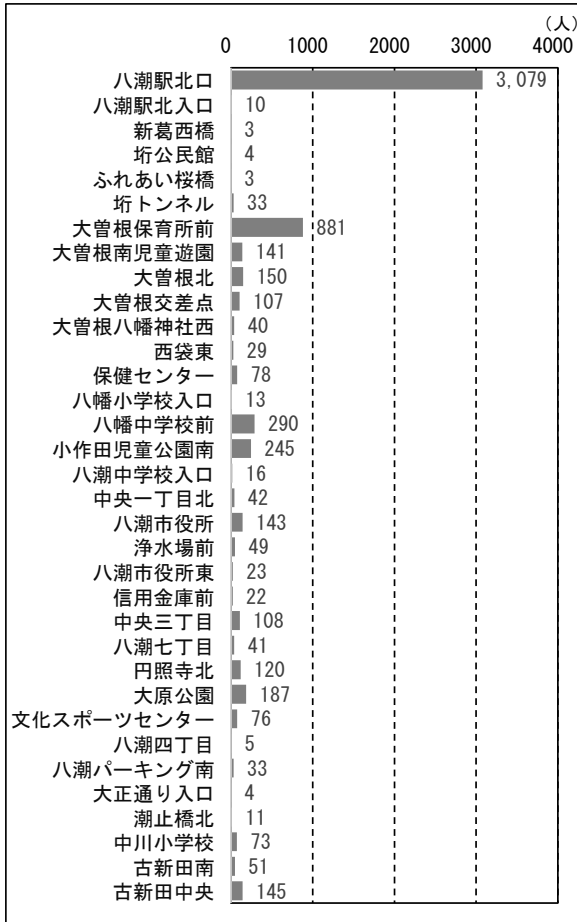
■西ルート・バス停別乗降車数（1か月間合計）



便	行き先	ダイヤ	利用者数(人)	便平均(人/便)
1便	循環	7:05	336	10.8
2便	循環	7:45	346	11.2
3便	循環	8:25	351	11.3
4便	循環	9:15	186	6.0
5便	循環	10:15	181	5.8
6便	古新田中央行	11:15	8	0.3
7便	循環	11:33	140	4.5
8便	八潮駅北口行	12:43	25	0.8
9便	循環	13:10	145	4.7
10便	八潮駅北口行	14:20	55	1.8
11便	古新田中央行	14:53	9	0.3
12便	循環	15:11	147	4.7
13便	八潮駅北口行	16:21	24	0.8
14便	循環	17:00	217	7.0
15便	循環	17:40	187	6.0
16便	循環	18:25	179	5.8
17便	循環	19:05	183	5.9
18便	循環	19:50	122	3.9
19便	循環	20:25	138	4.5
20便	循環	21:00	149	4.8
合計			3,128	5.0

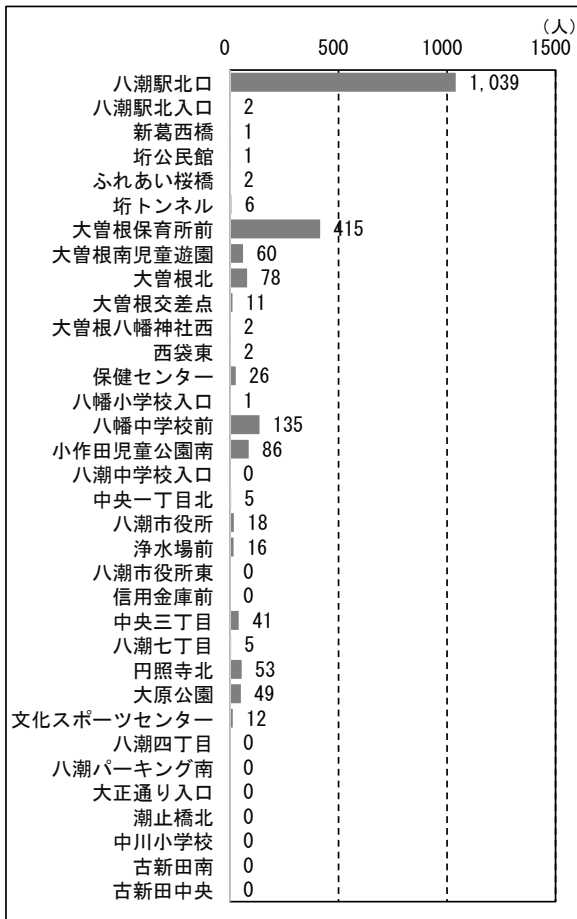
■西ルート・バス停別乗降車数（1か月間合計）

【全時間帯】



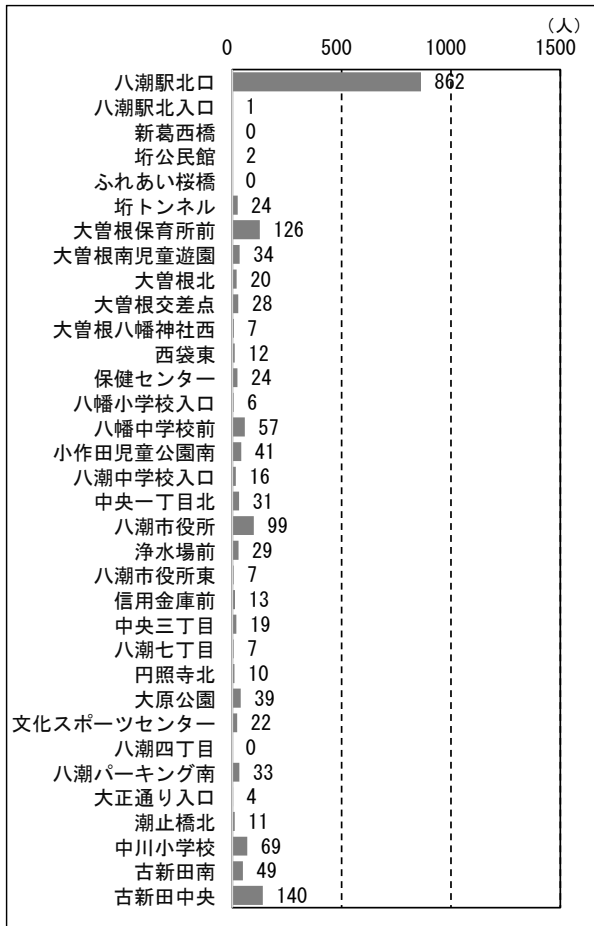
停留所名	乗車数(人)	降車数(人)	乗降者数(人)	日平均(人/日)
八潮駅北口	1,492	1,587	3,079	99
八潮駅北入口	5	5	10	0
新葛西橋	0	3	3	0
垢公民館	3	1	4	0
ふれあい桜橋	1	2	3	0
垢トンネル	8	25	33	1
大曽根保育所前	409	472	881	28
大曽根南児童遊園	74	67	141	5
大曽根北	97	53	150	5
大曽根交差点	58	49	107	3
大曽根八幡神社西	8	32	40	1
西袋東	9	20	29	1
保健センター	33	45	78	3
八幡小学校入口	2	11	13	0
八幡中学校前	168	122	290	9
小作田児童公園南	124	121	245	8
八潮中学校入口	8	8	16	1
中央一丁目北	34	8	42	1
八潮市役所	81	62	143	5
浄水場前	39	10	49	2
八潮市役所東	18	5	23	1
信用金庫前	16	6	22	1
中央三丁目	56	52	108	3
八潮七丁目	12	29	41	1
円照寺北	58	62	120	4
大原公園	90	97	187	6
文化スポーツセンター	40	36	76	2
八潮四丁目	0	5	5	0
八潮パーキング南	2	31	33	1
大正通り入口	2	2	4	0
潮止橋北	10	1	11	0
中川小学校	67	6	73	2
古新田南	34	17	51	2
古新田中央	69	76	145	5
合計	3,128	3,128	6,256	202

【朝時間帯：八潮駅北口7:05発（1便目）～八潮駅北口9:07着（3便目）】



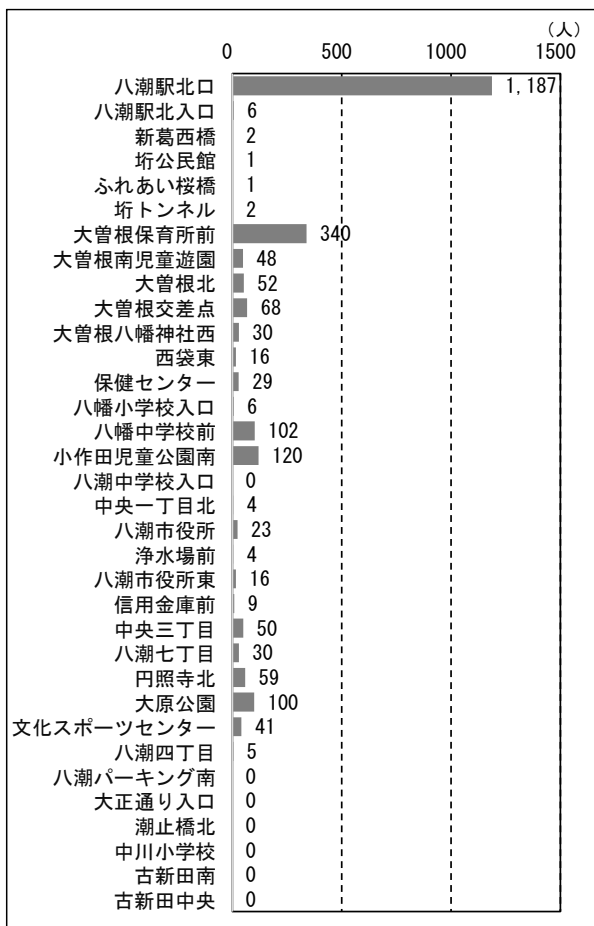
停留所名	乗車数(人)	降車数(人)	乗降者数(人)	日平均(人/日)
八潮駅北口	500	539	1,039	34
八潮駅北入口	2	0	2	0
新葛西橋	0	1	1	0
垢公民館	1	0	1	0
ふれあい桜橋	1	1	2	0
垢トンネル	3	3	6	0
大曽根保育所前	11	404	415	13
大曽根南児童遊園	27	33	60	2
大曽根北	50	28	78	3
大曽根交差点	10	1	11	0
大曽根八幡神社西	2	0	2	0
西袋東	2	0	2	0
保健センター	21	5	26	1
八幡小学校入口	0	1	1	0
八幡中学校前	133	2	135	4
小作田児童公園南	84	2	86	3
八潮中学校入口	0	0	0	0
中央一丁目北	5	0	5	0
八潮市役所	15	3	18	1
浄水場前	16	0	16	1
八潮市役所東	0	0	0	0
信用金庫前	0	0	0	0
中央三丁目	40	1	41	1
八潮七丁目	5	0	5	0
円照寺北	52	1	53	2
大原公園	49	0	49	2
文化スポーツセンター	4	8	12	0
八潮四丁目	0	0	0	0
八潮パーキング南	0	0	0	0
大正通り入口	0	0	0	0
潮止橋北	0	0	0	0
中川小学校	0	0	0	0
古新田南	0	0	0	0
古新田中央	0	0	0	0
合計	1,033	1,033	2,066	67

【昼間時間帯：八潮駅北口 9：15 発（4 便目）～八潮駅北口 16：36 着（13 便目）】



停留所名	乗車数(人)	降車数(人)	乗降者数(人)	日平均(人/日)
八潮駅北口	323	539	862	28
八潮駅北入口	0	1	1	0
新葛西橋	0	0	0	0
垢公民館	1	1	2	0
ふれあい桜橋	0	0	0	0
垢トンネル	4	20	24	1
大曽根保育所前	69	57	126	4
大曽根南児童遊園	16	18	34	1
大曽根北	18	2	20	1
大曽根交差点	23	5	28	1
大曽根八幡神社西	5	2	7	0
西袋東	3	9	12	0
保健センター	10	14	24	1
八幡小学校入口	0	6	6	0
八幡中学校前	33	24	57	2
小作田児童公園南	36	5	41	1
八潮中学校入口	8	8	16	1
中央一丁目北	27	4	31	1
八潮市役所	54	45	99	3
浄水場前	23	6	29	1
八潮市役所東	3	4	7	0
信用金庫前	9	4	13	0
中央三丁目	18	1	19	1
八潮七丁目	4	3	7	0
円照寺北	8	2	10	0
大原公園	33	6	39	1
文化スポーツセンター	21	1	22	1
八潮四丁目	0	0	0	0
八潮パーキング南	2	31	33	1
大正通り入口	2	2	4	0
潮止橋北	10	1	11	0
中川小学校	63	6	69	2
古新田南	32	17	49	2
古新田中央	64	76	140	5
合計	920	920	1,840	59

【夕・夜時間帯：八潮駅北口 17：00 発（14 便目）～八潮駅北口 21：30 着（20 便目）】



停留所名	乗車数(人)	降車数(人)	乗降者数(人)	日平均(人/日)
八潮駅北口	678	509	1,187	38
八潮駅北入口	2	4	6	0
新葛西橋	0	2	2	0
垢公民館	1	0	1	0
ふれあい桜橋	0	1	1	0
垢トンネル	0	2	2	0
大曽根保育所前	329	11	340	11
大曽根南児童遊園	32	16	48	2
大曽根北	29	23	52	2
大曽根交差点	25	43	68	2
大曽根八幡神社西	0	30	30	1
西袋東	5	11	16	1
保健センター	3	26	29	1
八幡小学校入口	2	4	6	0
八幡中学校前	6	96	102	3
小作田児童公園南	6	114	120	4
八潮中学校入口	0	0	0	0
中央一丁目北	0	4	4	0
八潮市役所	9	14	23	1
浄水場前	0	4	4	0
八潮市役所東	15	1	16	1
信用金庫前	7	2	9	0
中央三丁目	0	50	50	2
八潮七丁目	4	26	30	1
円照寺北	0	59	59	2
大原公園	9	91	100	3
文化スポーツセンター	14	27	41	1
八潮四丁目	0	5	5	0
八潮パーキング南	0	0	0	0
大正通り入口	0	0	0	0
潮止橋北	0	0	0	0
中川小学校	0	0	0	0
古新田南	0	0	0	0
古新田中央	0	0	0	0
合計	1,175	1,175	2,350	76

8-2 八潮市コミュニティバス OD 調査

八潮市コミュニティバスの昼間時間帯（概ね9時～18時）の乗車・降車バス停を把握するため、OD調査*を行った。

■八潮市コミュニティバスOD調査概要

調査対象路線	八潮市コミュニティバス（北ルート、西ルート）
調査方法	<ul style="list-style-type: none"> ・調査方法：バス車両に乗車し、乗車・降車バス停を目視により把握 ・調査期間：令和2年10月21日（水）～10月27日（火）（1週間） ・調査時間 <ul style="list-style-type: none"> ・北ルート9便（八潮駅北口9：20発～八潮駅北口17：38着） ・西ルート10便（八潮駅北口9：15発～八潮駅北口16：36着）
調査項目	乗車・降車バス停

【OD調査のまとめ】

《北ルート》

- 7日間合計の利用者数は712人、1便平均利用者数は11.3人/便となっており、特に日曜日の利用者が4.7人/便と少ない。
- バス停別乗降者数は、八潮駅が552人、八潮団地が179人、八潮市役所が114人、八潮高校入口が72人、八潮中央総合病院が58人の順が多い。
- 7日間合計のODは八潮駅北口⇄八潮団地（102人）、八潮駅北口⇄八潮市役所（82人）、八潮駅北口⇄八潮中学校（43人）、八潮駅北口⇄エイトアリーナ西（42人）、八潮駅北口⇄八潮高校入口（41人）となっており、八潮駅北口を発着する八潮駅～八潮団地の間で利用が多い。
- 八潮団地以北区間は7日間合計で35人、日平均で5人/日、1便平均で0.6人/便と少ない。八潮団地以北区間の利用者は八潮駅北口（7日間合計、22人）での乗降が多く、入谷バス停は0人となっている。

《西ルート》

- 7日間合計の利用者数は179人で、1便平均利用者数は2.6人/便と少ない。
- ダイヤ別利用実績では、八潮駅北口～古新田中央間を運行する11：15発、12：43発、14：20発、16：21発で利用が少ない。
- バス停別乗降者数は、八潮駅が159人、古新田中央が37人、大曾根保育園前が31人と多い。一方で、1日平均で1人未満のバス停や利用が全く無いバス停（新葛西橋、圀公民館、円照寺北、八潮四丁目）が多い。
- 7日間合計のODは、八潮駅北口⇄古新田中央（31人）、八潮駅北口⇄大曾根保育園前（30人）、八潮駅北口⇄八潮市役所（12人）となっているが、それ以外の区間は10人未満となっている。

■北ルート・ダイヤ別利用実績

(単位：人 ※1便平均：人/便)

日付	曜日	9:20	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	16:40	合計	1便平均
		八潮団地行	プール循環	プール循環	八潮団地行	八潮団地行	プール循環	プール循環	八潮団地行	八潮団地行		
10/21	水	23	13	14	5	12	8	10	15	17	117	13.0
10/22	木	13	8	9	11	8	10	18	19	16	112	12.4
10/23	金	13	13	8	10	4	15	11	20	18	112	12.4
10/24	土	11	16	10	7	14	5	17	10	3	93	10.3
10/25	日	4		16	6	5	3	2	5	1	42	4.7
10/26	月	13	8	11	10	21	11	16	13	15	118	13.1
10/27	火	17	6	7	12	12	12	18	17	17	118	13.1
合計		94	64	75	61	76	64	92	99	87	712	11.3

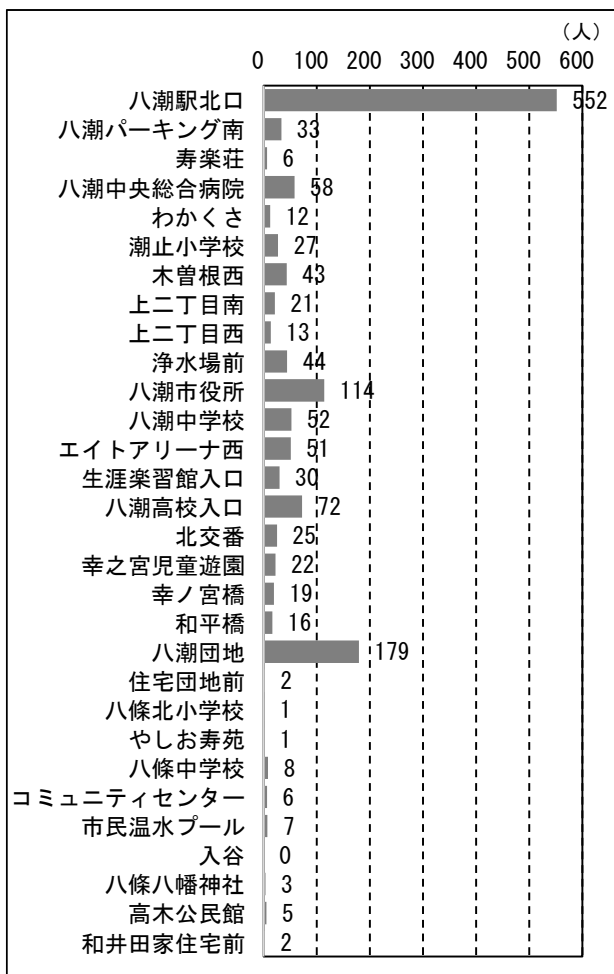
■西ルート・ダイヤ別利用実績

(単位：人 ※1便平均：人/便)

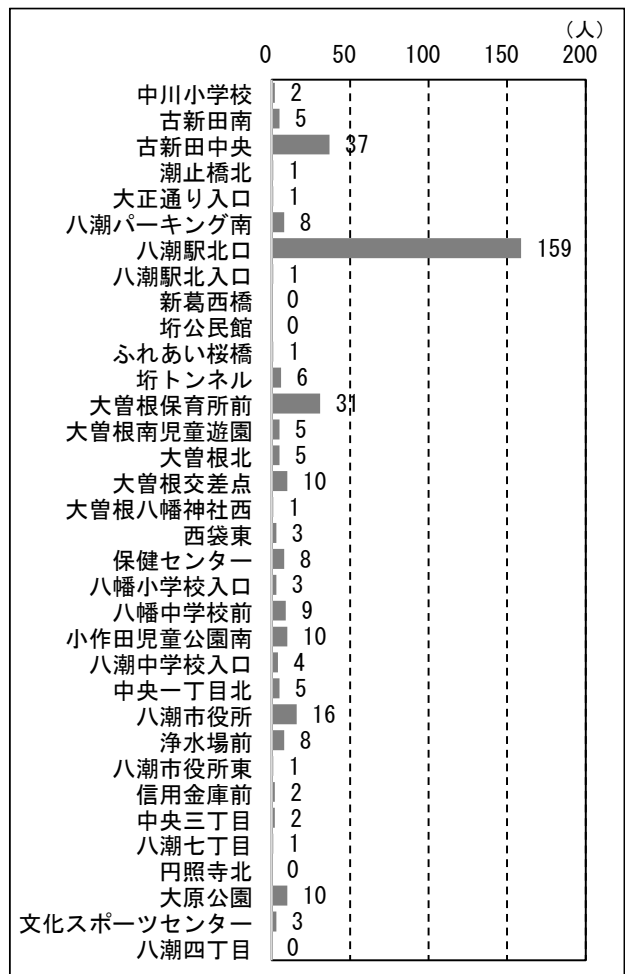
日付	曜日	9:15	10:15	11:15	11:33	12:43	13:10	14:20	14:53	15:11	16:21	合計	1便平均
		循環	循環	古新田行	中川小学校行	八潮駅	中川小学校行	八潮駅	古新田行	中川小学校行	八潮駅		
10/21	水	6	5		7	1	7			3		29	2.9
10/22	木	7	2		4	1	4	1		5		24	2.4
10/23	金	6	10		6	1	1	1		7		32	3.2
10/24	土	4	5	3			4	2		2		20	2.0
10/25	日	1	2		5		1	4		4		17	1.7
10/26	月	5	8	8				1	2	5	2	31	3.1
10/27	火	4	7		3		3		9			26	2.6
合計		33	39	11	25	3	20	9	11	26	2	179	2.6

■バス停別乗降者数(1週間合計)

【北ルート】



【西ルート】



■バス停間乗降者数（1週間合計、上位10位）

（単位：人）

【北ルート】

		八潮駅北口	八潮パーキング南	寿楽荘	八潮中央総合病院	わかくさ	潮止小学校	木曽根西	上二丁目南	上二丁目西	浄水場前	八潮市役所	八潮中学校	イトアリーナ西	生涯学習館入口	八潮高校入口	北交番	幸之宮児童遊園	幸ノ宮橋	和平橋	八潮団地	住宅団地前	八潮北小学校	やしお寿苑	八潮中学校	コミュニティーセンター	市民温水プール	入谷	八潮八幡神社	高木公民館	和井田家住宅前
八潮駅北口	⇔	八潮団地	← 102 →																												
八潮駅北口	⇔	八潮市役所	← 82 →																												
八潮駅北口	⇔	八潮中学校	← 43 →																												
八潮駅北口	⇔	イトアリーナ西	← 42 →																												
八潮駅北口	⇔	八潮高校入口	← 41 →																												
八潮駅北口	⇔	木曽根西	← 39 →																												
八潮駅北口	⇔	浄水場前	← 37 →																												
八潮駅北口	⇔	潮止小学校	← 26 →																												
八潮団地	⇔	八潮中央総合病院	← 24 →																												
八潮駅北口	⇔	上二丁目南	← 20 →																												

【西ルート】

		中川小学校	古新田南	古新田中央	潮止橋北	大正通り入口	八潮パーキング南	八潮駅北口	八潮駅北入口	新葛西橋	坂公民館	ふれあい桜橋	坂トンネル	大曾根保育所前	大曾根南児童遊園	大曾根北	大曾根交差点	大曾根八幡神社西	西袋東	保健センター	八幡小学校入口	八幡中学校前	小作田児童公園南	八潮中学校入口	中央一丁目北	八潮市役所	浄水場前	八潮市役所東	信用金庫前	中央三丁目	八潮七丁目	円照寺北	大原公園	文化スポーツセンター	八潮四丁目
八潮駅北口	⇔	古新田中央	← 31 →																																
八潮駅北口	⇔	大曾根保育所前	← 30 →																																
八潮駅北口	⇔	八潮市役所	← 12 →																																
八潮駅北口	⇔	八幡中学校前	← 9 →																																
八潮駅北口	⇔	小作田児童公園南	← 9 →																																
八潮駅北口	⇔	大原公園	← 9 →																																
八潮駅北口	⇔	保健センター	← 7 →																																
八潮駅北口	⇔	浄水場前	← 7 →																																
八潮駅北口	⇔	坂トンネル	← 6 →																																
古新田南	⇔	八潮駅北口	← 5 →																																
古新田中央	⇔	八潮パーキング南	← 5 →																																
八潮駅北口	⇔	大曾根南児童遊園	← 5 →																																
八潮駅北口	⇔	中央一丁目北	← 5 →																																

■北ルート・OD表（1週間合計）

（単位：人）

降車バス停	八潮駅北口	八潮中央総合病院	わかくさ	潮止小学校	木曽根西	上二丁目南	上二丁目西	浄水場前	八潮市役所	八潮中学校	八潮中学校	エイトアリーナ西	生涯学習館入口	八潮高校入口	北交番	幸之宮児童遊園	幸ノ宮橋	和平橋	八潮団地	住宅団地前	八條北小学校	やしお寿苑	八條中学校	コミュニティセンター	市民温水プール	入谷	八條八幡神社	高木公民館	和井田家住宅前	合計		
乗車バス停	八潮駅前北口	八潮パーキング南	八潮中央総合病院	寿楽荘	八潮中央総合病院	わかくさ	潮止小学校	木曽根西	上二丁目南	上二丁目西	浄水場前	八潮市役所	八潮中学校	エイトアリーナ西	生涯学習館入口	八潮高校入口	北交番	幸之宮児童遊園	幸ノ宮橋	和平橋	八潮団地	住宅団地前	八條北小学校	やしお寿苑	八條中学校	コミュニティセンター	市民温水プール	入谷	八條八幡神社	高木公民館	和井田家住宅前	合計
	4	1	5	3	13	10	15	3	13	38	19	23	9	18	6	6	5	6	49	2	1	1	2	3	3	1	3	1	254			
	13	3	3	3	13	10	15	3	13	38	19	23	9	18	6	6	5	6	49	2	1	1	2	3	3	1	3	1	6			
	29	3	1	1	1	1	1	2	2	4	4	2	4	4	2	2	1	1	11	1	1	1	1	1	1	1	1	26				
	5	4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	6				
	8	8	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9				
	24	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	5	5	5	5	5	5	5	5	5	27				
	44	1	3	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	5	5	5	5	5	5	5	5	5	57				
	24	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	29				
	19	19	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	22				
	10	10	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	15				
	23	10	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	41				
	6	6	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	14				
	7	7	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	13				
	11	11	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	14				
	9	9	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9				
	53	6	3	13	11	2	6	3	1	11	2	6	3	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	103				
																												0				
																												0				
	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1				
	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5				
	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1				
																												2				
	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2				
	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1				
	298	27	4	32	6	14	10	15	4	17	57	23	29	15	31	11	9	5	7	76	2	1	0	3	5	5	4	1	712			

8-3 高校生アンケート調査

市内にある2つの高校の生徒や教職員の通学（通勤）実態や、八潮市コミュニティバスへの利用可能性を把握するため、高校生アンケート調査を行った。

■高校生アンケート調査概要

配布対象	八潮高校及び八潮南高校の生徒・教職員
調査方法	<ul style="list-style-type: none"> ・学校に協力依頼し、配布・回収（各学校全生徒・教職員を対象） ・配布数…八潮高校 603 票（生徒 560 票、教職員 43 票） 八潮南高校 737 票（生徒 677 票、教職員 60 票） ・回収状況：八潮高校 431 票（生徒 396 票、教職員 12 票、無回答 23 票）、回収率 71.5% 八潮南高校 699 票（生徒 628 票、教職員 46 票、無回答 25 票）、回収率 94.8%
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者属性（性別、居住地）、通学実態（登下校時間、土日祝に登校する頻度、交通手段） ・路線バス、コミュニティバスの乗降バス停、登下校の利用状況、片道しか使わない理由 ・八潮市コミュニティバスを利用しない理由、ルート・ダイヤを見直した場合の利用意向、高校からバス停留所までの許容徒歩時間（八潮南高校のみ）

【高校生アンケート調査のまとめ】

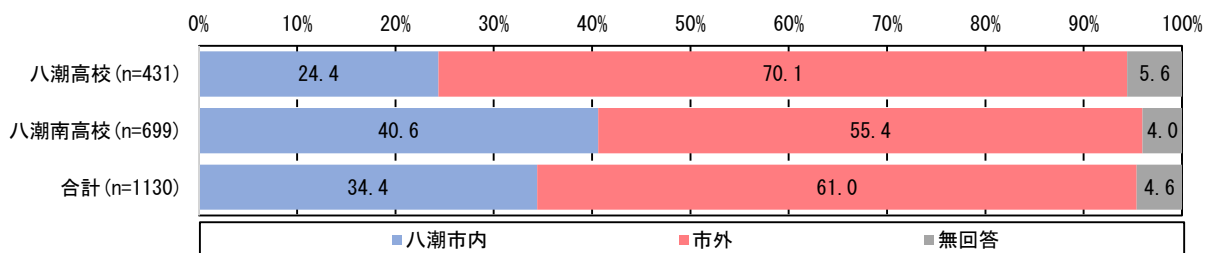
○性別は、「男性」が 52.6%、「女性」が 46.1%で、住まいは、八潮高校で「八潮市内」が 24.4%、「市外」が 70.1%、八潮南高校で「八潮市内」が 40.6%、「市外」が 55.4%と、両学校とも「市外」の割合が多い。

○市外は八潮高校で草加市や川口市が多く、八潮南高校で草加市や三郷市が多い。

・八潮高校…草加市 175 人、川口市 44 人、越谷市 38 人、三郷市 23 人、吉川市 6 人

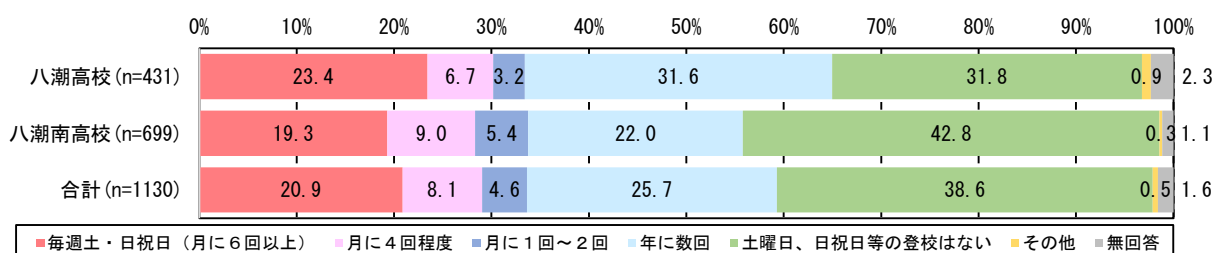
・八潮南高校…草加市 173 人、三郷市 121 人、越谷市 28 人、川口市 24 人、吉川市 9 人

■住まい



○土曜日、日祝日等に登校する生徒・教職員は約 6 割で、その頻度は「年に数回」が 25.7%、「毎週土・日祝日」が 20.9%と多い。

■土曜日・日祝日等に登校する頻度

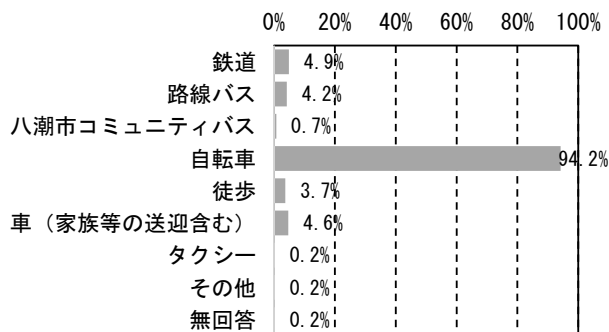


○利用交通手段は、八潮高校、八潮南高校ともに「自転車」が約9割と多く、「八潮市コミュニティバス」は八潮高校が0.7%（3人）、八潮南高校が0.1%（1人）と少ない。

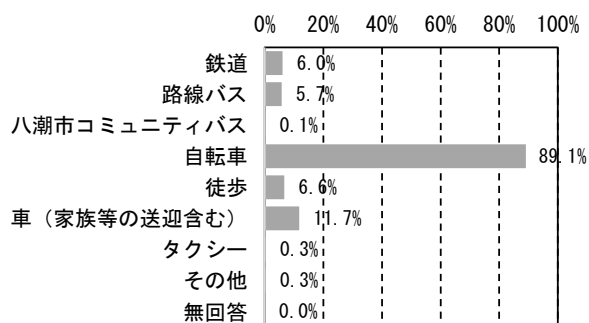
○路線バスの乗降バス停は、八潮高校で草加駅東口⇄鶴ヶ曾根バス停が17名、八潮駅北口⇄八潮高校入口バス停が1名となっており、八潮南高校で八潮駅北口⇄木曾根バス停が21名、八潮駅北口⇄不動前バス停が9名となっている。

■利用交通手段

《八潮高校》



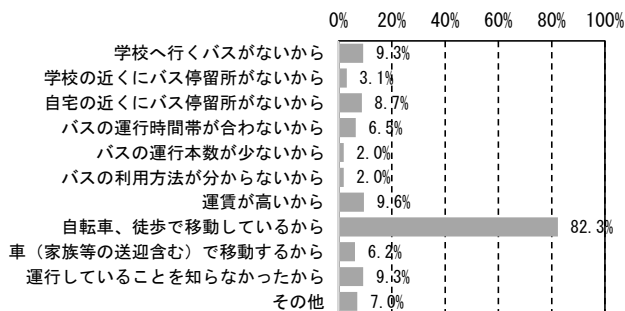
《八潮南高校》



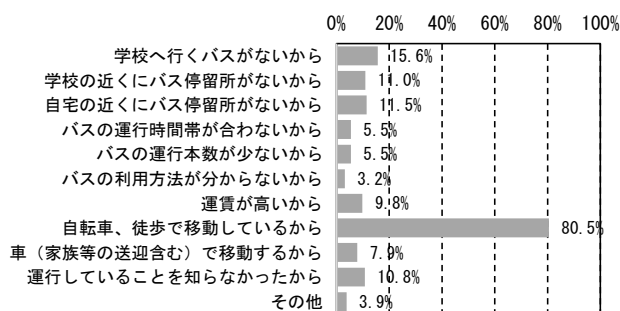
○八潮市コミュニティバスを利用しない理由は、「自転車、徒歩で移動しているから」が八潮高校で82.3%、八潮南高校で80.5%と最も多い。

■八潮市コミュニティバスを利用しない理由

《八潮高校》

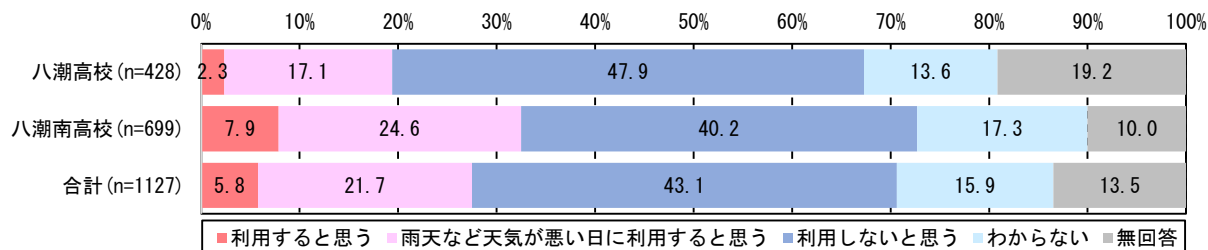


《八潮南高校》



○仮に八潮市コミュニティバスのルートやダイヤが登下校の時間帯に合うように運行された場合、「利用すると思う」、「雨天など天気が悪い日に利用すると思う」と回答した人は27.5%で、八潮高校より八潮南高校でその割合が32.5%と多い。

■仮に八潮市コミュニティバスを改善した場合の利用意向



○高校からバス停留所までの歩行許容時間は、「徒歩5分未満」が45.5%と多く、徒歩10分未満が約7割を占めている。

9 実施事業に関する参考資料及び参考事例

※令和2年3月末時点

【事業7】公共交通に関する情報提供の充実

【事例】千葉県南房総市公共交通マップ



【参考】GTFS-JP（標準的なバス情報フォーマット）

国土交通省では平成28年より、バス事業者と経路検索等の情報利用者との情報を受渡しのための共通フォーマットとして標準化を進めており、全国90社（平成31年2月時点）のバス事業者や自治体がオープンデータ配信を行っている（埼玉県内無）。

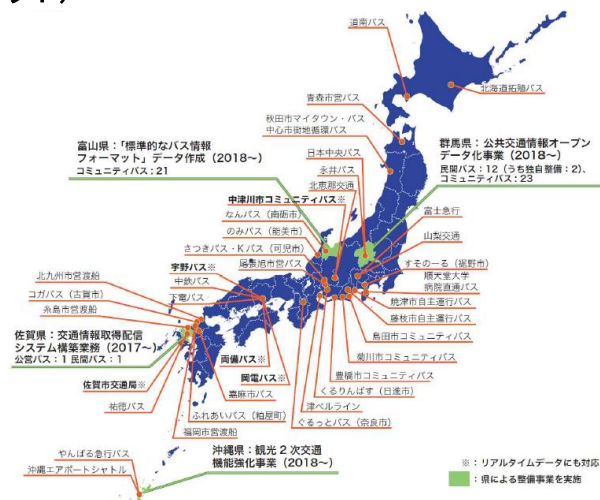
標準的なバス情報フォーマット（GTFS-JP）

2017年3月に国土交通省が定めた形式バス停の位置情報、時刻表、ルート、運賃などの複数のCSVファイルを格納したZIPファイル

GTFS-JPのオープンデータ化・バスの活性化に



▲岐阜県中津川市



【事業8】バス停の待合環境の改善

【事例】埼玉県・「バスまちスポット」「まち愛スポット」登録制度

埼玉県では公共交通を利用しやすくすることで誰もが出歩きやすく、地域とつながりやすいまちを目指し、官民が連携した「出歩きやすいまちづくり～バスでつなぐ・人がつながる～」事業に取り組んでいる。対象施設は商店、コンビニエンスストア、病院、金融機関、公共施設等。令和2年3月1日現在、埼玉県全体ではバスまちスポット357施設、まち愛スポット37施設が登録（八潮市内は無）。

- バスまちスポット：バス停留所近くで、バスを気軽に待てる施設（概ね50m圏内） ※バスの時刻表を掲示または配布
- まち愛スポット：バス停留所まで歩くときに休憩できる施設（概ね500m圏内） ※ベンチや椅子を設置



【事業8】バス停の待合環境の改善

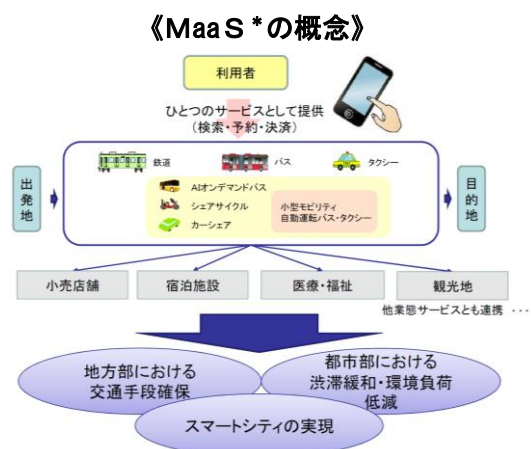
【事例】三郷市立ピアラシティ交流センター「バスまちスポット」《最寄りバス停：交流センター前》



【事業11】MaaS*による「新たな移動」サービスの導入検討

【参考】MaaS*（Mobility as a Service の略）

MaaS*とは出発地から目的地までの移動ニーズに対して最適な移動手段をシームレスに一つのアプリで提供するなど、移動手段を単なる手段としてではなく、利用者にとっての一元的なサービスとして捉える概念。国土交通省では、都市と地方、高齢者・障がいのある人等を含む全ての地域、全ての人が新たなモビリティサービスを利用できる仕組みとして、「日本版MaaS*」の早期実現を目指すため、令和元年度より先行モデル事業として19事業で実証実験を支援。令和2年度は新たなMaaS*の構築を牽引するモデルプロジェクト38事業を選定。



【事業12】運転免許自主返納等のため高齢者の移動支援の充実

【事例】埼玉県警察・シルバーサポーター制度

シルバーサポーター制度は、運転免許を自主返納した高齢者が、サービス店として登録しているお店や事業所等で「運転経歴証明書」を提示するとさまざまなサービス（料金割引・宅配・休憩など）が受けられるお得な制度。

（八潮市内）

- ・サイクルベースあさひフレスポ八潮店：店舗販売価格10万円（税込）以上の電動アシスト自転車購入時に5,000円の値引き（本人限定）
- ・眼鏡市場八潮西店：メガネ・サングラス・補聴器5%割引。メガネの無料洗浄・調整サービス
- ・タクシー（OK TAXI、潮崎交通株）：タクシー代金の10%割引

【事例】京成バス株・ノーカー・アシスト優待証

70歳以上の運転免許返納者で、交付後1年以内の「運転経歴証明書」を所有し、申し出があった方を対象に、京成グループ全路線で運賃を半額にする制度（有効期間：発行日より2年間）

【事例】東武バス株・ラブリーパス

65歳以上を対象に、東武バスの路線バス全線乗り放題の定期券を販売。1年間31,000円、半年間16,500円。

【事例】京成バス株・ゴールドパス

70歳以上を対象に、東武バスの路線バス全線乗り放題の定期券を販売。1年間31,500円、半年間16,800円。

【事例】朝日自動車株・アクティブシニアパス

70歳以上を対象に、1年定期36,000円、半年定期21,000円を販売。

■埼玉県内自治体（市のみ）の主な運転免許自主返納者への支援策

自治体名	支援策の内容	要件など
朝霞市	<ul style="list-style-type: none"> いずれか1つ選んで交付（1回限り） 市内循環バスの回数券 15,000 円相当（100 枚分） 交通系 IC カード 10,000 円相当 	<ul style="list-style-type: none"> 平成 31 年 4 月 1 日以降に運転免許を自主返納した方
所沢市	<ul style="list-style-type: none"> いずれか1つ選んで交付（1回限りで、有効期限は1年間） ところバス無料乗車定期券（本人のみ利用可） ところバス無料乗車回数券 50 回分（本人及び同一家族のみ利用可） 	<ul style="list-style-type: none"> 65 歳以上の運転免許自主返納者
戸田市	<ul style="list-style-type: none"> 国際興業バス 3,000 円分と戸田市コミュニティバス 2,000 円分、合計 5,000 円分の公共バス回数券を交付 	<ul style="list-style-type: none"> 平成 30 年 1 月 4 日から令和 2 年 12 月 28 日までの間に運転免許を自主返納した方
入間市	<ul style="list-style-type: none"> 入間市コミュニティバス（ていーろーど、ていーワゴン）の乗車回数券 5,500 円を交付 ※70 歳以上の方には 1 回 100 円で乗車可能な特別乗車証を別途交付 	<ul style="list-style-type: none"> 平成 30 年 1 月 30 日以降に 65 歳以上の運転免許返納者
深谷市	<ul style="list-style-type: none"> 深谷市コミュニティバス「くるリン」乗車券 50%割引 	<ul style="list-style-type: none"> 運転免許自主返納者
行田市	<ul style="list-style-type: none"> タクシーの初乗り運賃（上限 730 円）を補助する利用券 1 年度分 24 枚交付 	<ul style="list-style-type: none"> 運転免許自主返納者
久喜市	<ul style="list-style-type: none"> 下記の回数券又は乗車券を組合せて、最大で 6,000 円分を 1 回限り交付 久喜市市内循環バス回数券 1,000 円（100 円×11 枚） 久喜市デマンド交通*回数券 1,500 円（150 円×11 枚） 朝日バス乗車券 3,000 円（100 円×20 枚、50 円×15 枚、10 円×25 枚） 大和観光バス回数券 1,500 円（150 円×11 枚） 中田観光バス回数券 1,550 円（160 円×11 枚） 	<ul style="list-style-type: none"> 令和 2 年 4 月 1 日以降に運転免許を自主返納した方
鴻巣市	<ul style="list-style-type: none"> 1 年間コミュニティバス「フラワー号」の運賃が無料 	<ul style="list-style-type: none"> 平成 31 年 4 月 1 日以降に運転免許を自主返納した方
坂戸市	<ul style="list-style-type: none"> 坂戸市市民バス無料乗車回数券 100 枚又は坂戸市市民バス運転免許自主返納者特別乗車証（1 年間有効）を交付 	<ul style="list-style-type: none"> 運転免許自主返納者
幸手市	<ul style="list-style-type: none"> タクシー利用券（初乗運賃相当額 10 枚分）を交付 	<ul style="list-style-type: none"> 平成 31 年 1 月 1 日以降に運転免許を自主返納した方 運転免許を自主返納した時点で満 70 歳以上の方
白岡市	<ul style="list-style-type: none"> 白岡市のりあい交通の回数乗車券 5 セット分（100 円券×55 枚）を助成 	<ul style="list-style-type: none"> 平成 26 年 10 月 1 日以降に運転免許を自主返納した方
秩父市	<ul style="list-style-type: none"> 秩父鉄道、西武観光バス、秩父タクシー協会所属のタクシー、秩父市営バス、皆野町営バス、小鹿野町営バスを利用できる 6,000 円分の公共交通利用券を 1 回に限り交付 ※秩父定住自立圏事業として秩父市、皆野町、長瀨町、小鹿野町の 1 市 4 町で実施中 	<ul style="list-style-type: none"> 運転免許自主返納者
日高市	<ul style="list-style-type: none"> いずれか1つ選んで交付（1回限り） バス乗車券の購入費補助（上限額 7,300 円） タクシー利用補助券の交付（500 円×15 枚） 	<ul style="list-style-type: none"> 75 歳未満の運転免許を自主返納した方
蕨市	<ul style="list-style-type: none"> バス回数券（7,700 円分）もしくはタクシー券（初乗り 14 回分）を 1 回限り交付 	<ul style="list-style-type: none"> 令和 2 年 4 月 1 日以降に運転免許を自主返納した 65 歳以上の方

■高齢者の運賃割引など支援策（埼玉県内自治体（市のみ））

自治体名	概要	要件など
朝霞市	<ul style="list-style-type: none"> カード交付 3,000 円分（カード発行手数料 500 円含む）のカード 1 枚交付 チャージ料の補助 2,000 円 	<ul style="list-style-type: none"> カードの交付対象は 70 歳以上の方、チャージ料の補助対象は 70 歳以上の方
日高市	<ul style="list-style-type: none"> いずれか 1 つ選んで交付（1 回限り） バス乗車券の購入費補助（上限額 7,300 円） タクシー利用補助券の交付（500 円×15 枚） 	<ul style="list-style-type: none"> 75 歳以上の方、75 歳未満の運転免許を自主返納した方

【事業 13】 バスの乗り方教室の開催

【事例】 三郷市・小学校乗り方教室

平成 30 年度から小学校を対象に、バスの乗降方法、乗車マナーやルール、交通安全（死角など）などの体験型学習として、「バスの乗り方教室」を開催。



【事例】 千葉県袖ヶ浦市・市民会館まつりに合わせたバスの乗り方教室

日東交通㈱と袖ヶ浦市が連携し、市民会館まつりの開催に合わせて、バスの乗り方教室を開催。バスの乗車体験、バスガイドや運転手の制服の試着体験、バスの塗り絵コーナーを設置。



【事業 16】 運転手の確保策の実施

【事例】 埼玉県三郷市合同企業説明会の開催

三郷市では、合同企業説明会を開催しており、バス事業者にも参加の呼び掛けを行い、運転手の採用に繋がっている。



【事例】 中部バス協会・バス運転士に特化した就職博の開催

中部バス協会では、中部地方で初となるバス運転士に特化した就職博「中部地区バス運転士合同説明会 From どらなび」が開催した。

【事例】 中部運輸局・女性運転士セミナーの開催

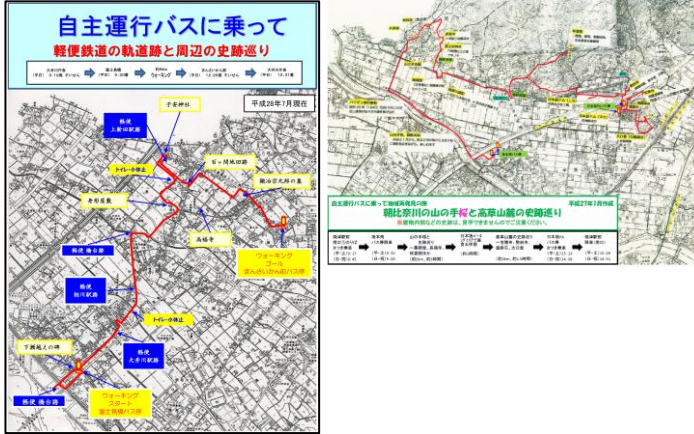
中部運輸局では、運転士を志望する女性を増やし、公共交通の活性化に繋げるため、平成 28 年 10 月 1 日に「地域バス交通活性化セミナー：発見!!女性運転士の魅力～あなたの気遣いも活かせる新たな公共交通～」を開催した。



【事業17】 商業施設等と連携した公共交通の利用促進

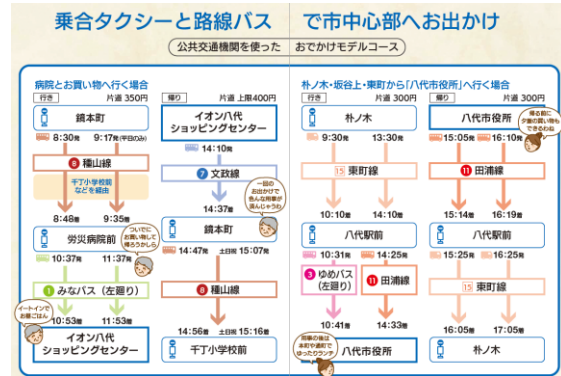
**【事例】 おでかけモデルプラン
《静岡県焼津市》**

自主運行バスの利用促進を図るため、市ホームページ上で「軽便鉄道の軌道跡と周辺の史跡巡り」などテーマごとにルートやダイヤ等を整理したプランを掲載。



《熊本県八代市》

公共交通マップや公共交通の使い方について地域ごとに「おでかけモデルコース」を市ホームページ上に掲載。



付録

付録 1 八潮市地域公共交通協議会

八潮市では、活性化再生法に基づき、市民、交通事業者、学識経験者及び関係機関などで構成する八潮市地域公共交通協議会を設置し、地域公共交通計画の作成及び実施に関し必要な事項を協議している。

(1) 八潮市地域公共交通協議会の開催概要

		日時	主な議題
令和元年度	第1回	令和元年9月6日(金) 午前10時00分～	<ul style="list-style-type: none">・地域公共交通網形成計画について・令和元年度のスケジュール及び内容について・ニーズ調査の内容について
	第2回	令和元年11月26日(火) 午前10時00分～	<ul style="list-style-type: none">・現状報告について・ニーズ調査の結果報告について・公共交通に対する問題点・課題(案)について
	第3回	令和2年2月27日(木) 午前10時00分～	<ul style="list-style-type: none">・ニーズ調査の取りまとめについて・公共交通の問題点・課題の整理の修正について・計画策定に向けた方向性について
令和2年度	第1回	令和2年10月7日(水) 午後2時00分～	<ul style="list-style-type: none">・令和2年度のスケジュール及び内容について・八潮市地域公共交通網形成計画(素案)について
	第2回	令和3年3月26日(金) 午後2時00分～	<ul style="list-style-type: none">・八潮市地域公共交通計画(案)について
令和3年度	第1回	書面開催	<ul style="list-style-type: none">・八潮市地域公共交通計画(案)について

八潮市地域公共交通協議会委員名簿

令和3年4月1日現在

区分	所属・団体名	氏名
1号委員	日本大学工学部教授	○ 轟 朝 幸
2号委員	東武バスセントラル株式会社	深 津 光 市
	京成バス株式会社	三 浦 裕 樹
	朝日自動車株式会社	富 川 浩 光
	八潮市タクシー協会会長	織 田 隆 志
	首都圏新都市鉄道株式会社	松 村 善 範
	東武鉄道株式会社	小 瀧 正 和
3号委員	東武バスセントラル株式会社 八潮営業所労働組合八潮分会	土 居 佳 博
4号委員	八潮市商工会会長	古 庄 正 登
	八潮市町会自治会連合会	金 子 政 雄
	八潮市老人クラブ連合会	萩 原 秉
	八潮市東部地域包括支援センター やしお苑	今 野 美 佐
	社会福祉法人八潮市社会福祉協議会	寺 嶋 勝 紀
5号委員	市民公募	荒 船 ま さ 子
	市民公募	高 波 幸 雄
6号委員	国土交通省関東運輸局埼玉運輸支局	小 川 ゆ か り
	埼玉県企画財政部交通政策課	根 岸 甚 高
	埼玉県越谷県土整備事務所	河 内 克 己
	埼玉県草加警察署交通課	高 津 善 太
7号委員	八潮市建設部長	荒 川 俊
	八潮市生活安全部長	武 内 清 和

○会長

付録 2 用語集

	用語	説明
数字	250mメッシュ	緯度・経度に基づき、地域を隙間なく 250m四方の網の目（メッシュ）の区域に分け、その区域の人口（本計画中では平成 27 年 10 月 1 現在の国勢調査結果）を区分ごとに色分けしたもの。
あ行	ウィズコロナ	ワクチンをはじめとする特效薬が開発され、新型コロナウイルスを封じ込めるツールが手に入った状態で、新型コロナウイルスと共存した生活様式。
	SDGs	2015 年 9 月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に記載された、2030 年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。17 のゴール・169 のターゲットから構成され、地球上の「唯一人取り残さない」ことを誓っている。
	OD調査	人や車あるいは物資の移動の起点（origin）と終点（destination）を把握するために実施する調査で、起終点調査とも呼ばれる。
か行	グリーンスローモビリティ	時速 20km 未満で公道を走ることが可能な 4 人乗り以上の電動パブリックモビリティ。
	国勢調査	国の最も基本的で重要な統計調査であり、「日本に居住している全ての人及び世帯」を対象に、5 年に 1 度、統計法に基づき実施している。国勢調査では国内の人口、世帯、産業構造などについて調査が行われている。
	コミュニティサイクル	相互利用可能な複数のサイクルポートからなる、自転車による面的な都市交通システム。都市内に高密度にポートを配置し、いつでもどのポートでも自転車の貸出し・返却が可能であり、短時間・短距離の移動を目的とした公共交通を補完する新しい交通手段。
	コミュニティバス	一般的に、交通事業者以外の市町村や自治会などが主体となり、地域住民の利便性向上などのため一定地域内を運行するバスで、車両使用、運賃、ダイヤ、バス停位置などを工夫したバス。法令で明確に定義されている運行形態ではなく、民営の路線バス（乗合バス）と同様、道路運送法などの規定に従う。
さ行	サイクル&バスライド	自宅から自転車でバス停に行き、バス停付近に設置された駐輪場に駐車して、バスに乗り換えて目的地に向かう一連のシステム。
	時差通勤	朝の通勤ラッシュなどの混雑を避けるために、通勤する時間帯をずらす働き方のこと。
	ゼロカーボンシティ	2050 年に温室効果ガスの排出量又は二酸化炭素を実質ゼロにすることを目指す旨を首長自らが又は地方自治体として公表された地方自治体。
た行	デマンド交通	正式には DRT（Demand Responsive Transport: 需要応答型交通システム）と呼ばれ、事前予約により運行する。路線バスのように固定のダイヤ、固定の経路を予約があった時だけ運行する形態や、タクシーのように利用者を迎えに行き、目的地まで輸送する運行形態など、方式やダイヤ設定、さらには発着地の自由度の組み合わせにより、多様な運行方式が存在する。
	ドア・ツー・ドア	戸口（ドア）から（戸口）ドアへと直接にアクセスできること。
	土地区画整理事業	都市計画区域内の土地について公共施設の整備改善及び宅地の利用の増進を図るために行われる、土地の区画形質の変更及び公共施設の新設又は変更に関する事業。

	用語	説明
な行	乗合タクシー	一般的に 11 人未満の車両で、個人又は団体が車両を貸しきって利用する一般的なタクシー（乗用旅客自動車運送事業）と異なり、運行する時間と経路をあらかじめ定め、不特定多数の人を輸送する運行形態（乗合旅客自動車運送事業。バスと同じ事業区分）。運行時間、経路の定め方には、定時定路線型（バスと同じ）、区域運行・デマンド型（定められた地域内で事前予約した人に応じて時間、経路を決定）などの形態がある。
	ノンステップバス	床面を低くして、乗降ステップをなくし、高齢者や子どもにも乗り降りが容易なバス。補助スロープやニーリング装置（床面を更に下げる装置）により、車いすに乗ったままでの乗降できる。
は行	バリアフリー	高齢者・障がいのある人などが社会生活を営む上での物理的、社会的、制度的、心理的及び情報面での障害を除去するという考え方。公共交通機関のバリアフリーとは、高齢者・障がいのある人などが公共交通機関を円滑に利用できるようにすること。
	P D C A サイクル	事業活動における生産管理や品質管理などの管理業務を円滑に進める手法の 1 つ。Plan（計画）→Do（実行）→Check（評価）→Action（改善）の 4 段階を繰り返すことによって、業務を継続的に改善する仕組み。
	ポストコロナ	新型コロナウイルスが収束した後の状態。
ま行	Maa S	出発地から目的地までの移動ニーズに対して最適な移動手段をシームレスに一つのアプリで提供するなど、移動手段を単なる手段としてではなく、利用者にとっての一元的なサービスとして捉える概念。
	モビリティマネジメント	地域や都市を「過度に自動車に頼る状態」から、「公共交通や徒歩などを含めた多様な交通手段を適度に（＝かしこく）利用する状態」へと少しずつ変えていく一連の取組。 環境や健康などに配慮した交通行動を、大規模、かつ、個別的に呼びかけていくコミュニケーション施策を中心として、住民や職場組織などに働きかけ、自発的な行動の転換を促していく点が特徴。
や行	ユニバーサルデザインタクシー (UDタクシー)	健康な方はもちろん、足腰の弱い高齢者、車いす使用者、ベビーカー利用の親子連れ、妊娠中の方など、誰もが利用しやすい新しいタクシー車両。ユニバーサル (Universal) デザイン (Design) の頭文字をとって、UDタクシーとも標記される。

八潮市地域公共交通計画

まちのコミュニティをつなぐ公共交通網の未来

令和3年10月

発行 八潮市
〒340-8588 埼玉県八潮市中央一丁目2番地1
TEL：048-996-2111（代表）
FAX：048-995-7367

編集 八潮市 生活安全部 交通防犯課
E-mail kotsubohan@city.yashio.lg.jp

